

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る
事後調査報告書
(平成24年8月分①)

大 阪 市 港 湾 局
大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 13
3. 調査結果の概要	I - 14

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 大気質（廃棄物搬入施設関連）	II - 16
4. 交通量（廃棄物搬入施設関連）	II - 25
5. 悪臭（廃棄物搬入施設関連）	II - 30

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 24 年 8 月の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 24 年 8 月）

埋立地周辺における調査

(1)大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	8月1日～31日	通年連続

(2)水質

①一般項目 表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	8月8日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

②埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(1) 表-1(3)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	8月1日~31日	連続測定※
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点 内水 1点	8月7,17,21,28日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	8月7日	1回/月
全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数		8月7日	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	8月8日	4回/年 (5月、8月、11月、2月)

※8月10日朝~11日朝 凝集沈殿槽排水作業のため放流停止
8月11日朝~12日昼 発電機工事で発電停止のため放流停止

②-1 放流水、内水及び護岸外周(2) 表-1(4)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<p>●健康項目等</p> <p>カドミウム</p> <p>全シアン</p> <p>鉛</p> <p>六価クロム</p> <p>砒素</p> <p>総水銀</p> <p>アルキル水銀</p> <p>PCB</p> <p>ジクロロメタン</p> <p>四塩化炭素</p> <p>1,2-ジクロロエタン</p> <p>1,1-ジクロロエチレン</p> <p>シス-1,2-ジクロロエチレン</p> <p>1,1,1-トリクロロエタン</p> <p>1,1,2-トリクロロエタン</p> <p>トリクロロエチレン</p> <p>テトラクロロエチレン</p> <p>1,3-ジクロロプロペン</p> <p>チウラム</p> <p>シマジン</p> <p>チオベンカルブ</p> <p>ベンゼン</p> <p>セレン</p> <p>フェノール類</p> <p>銅</p> <p>亜鉛</p> <p>溶解性鉄</p> <p>溶解性マンガン</p> <p>全クロム</p> <p>陰イオン界面活性剤</p> <p>有機燐</p> <p>ほう素</p> <p>ふっ素</p> <p>アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)</p> <p>1,4-ジオキサン</p>	<p>放流水 1点</p> <p>内水 1点</p> <p>(処理原水)</p> <p>護岸外周 3点×2層</p> <p>(護岸から30m)</p> <p>【19, 20, 21】</p> <p>上層:海面下1m</p> <p>下層:海底面上2m</p>	<p>放流水、内水</p> <p>8月7日</p> <p>護岸外周</p> <p>8月8日</p>	<p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p>
<p>ダイオキシン類</p>	<p>1,4-ジオキサンは護岸外周のみ調査</p> <p>ダイオキシン類は上層のみ調査</p>	<p>放流水</p> <p>8月7日</p> <p>内水</p> <p>8月7日</p> <p>護岸外周</p> <p>8月8日</p>	<p>放流水 4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>内水 2回/年</p> <p>(8月、2月)</p> <p>護岸外周 1回/年</p> <p>(8月)</p>

②-2 処分場周辺 表-1(5)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m) 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	8月8日	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機磷 1,4-ジオキサン		8月8日	2回/年 (8月、2月)

(3)底質

①一般項目 表-1(6)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	8月8日	2回／年 (8月、2月)

②廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺) 表-1(7)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<ul style="list-style-type: none"> ●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位 	1点(表層土) 【15】	8月8日	2回/年 (8月、2月)
<ul style="list-style-type: none"> ●有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル バナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 			

(4)騒音・低周波空気振動 表-1(8)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回/年 (4月、10月)
低周波空気振動音圧レベル			

(5)悪臭 表-1(9)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	8月21日	2回/年 (8月、9月)

(6)陸域生態系(鳥類) 表-1(10)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 [a、b、c、d]	実施年に該当せず	4回/年(2年おきに実施) (5月、6月、8月、2月)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設 表-1(11)

調査項目		調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道		1週間×4回/年 (5月、8月、11月、2月)
		大阪基地 :2点 【No.2、3】	8月3日～9日	
		堺基地 :2点 【No.1、2】 泉大津基地 :2点 【No.A、B】	8月19日～25日 8月19日～25日	
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 :2点 【No.2、3】 堺基地 :2点 【No.1、2】 泉大津基地 :2点 【No.A、B】	—	2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 :2点 【No.2、3】 堺基地 :2点 【No.1、2】 泉大津基地 :2点 【No.A、B】	—	2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量	廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 :3点 【No.1、2、4】 堺基地 :4点 【No.1、2、3、4】 泉大津基地 :3点 【No.A、B、C】	8月6日 8月22日 8月22日	4回/年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭	臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 :2点(風上、風下) 【No.5、6】 堺基地 :2点(風上、風下) 【No.5、6】 泉大津基地 :2点(風上、風下) 【No.D1、D2】	8月6日 8月21日 8月20日	2回/年 (6月、8月)

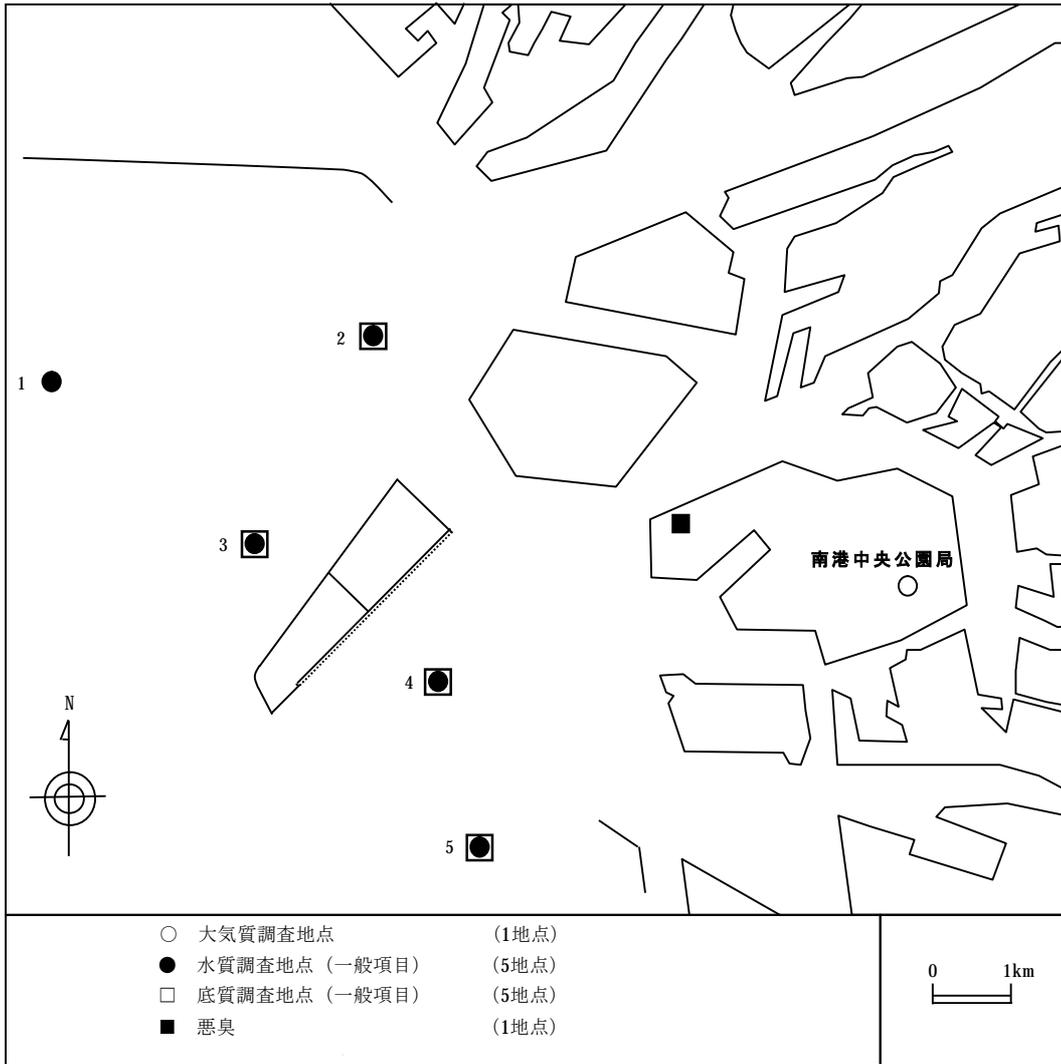


図-1(1) 大気質、水質・底質(一般項目)、悪臭の調査地点(平成 24 年 8 月)

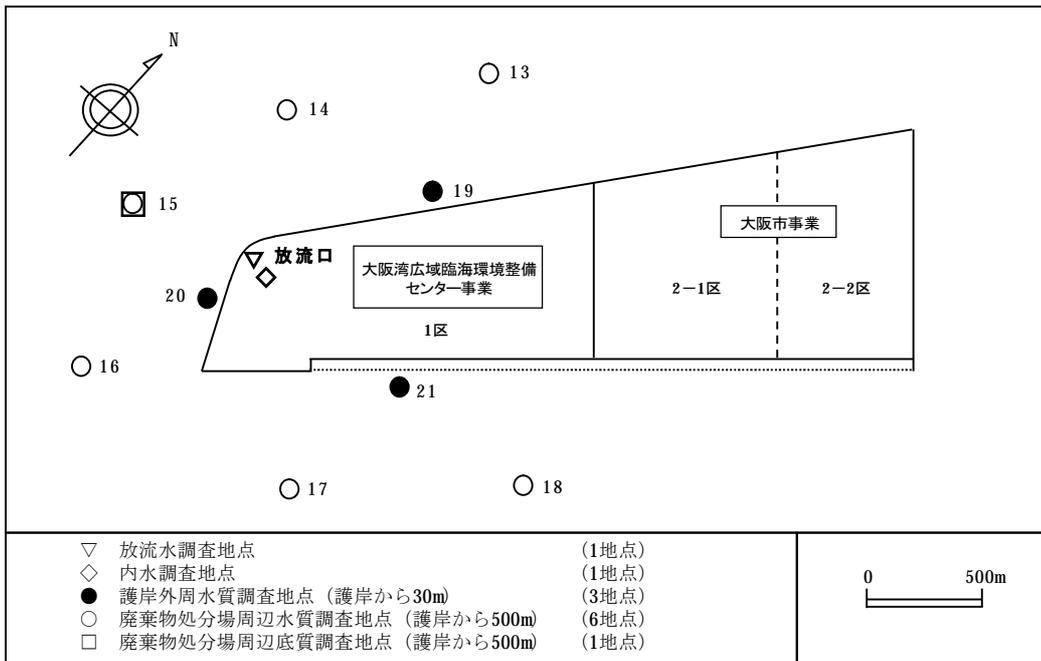
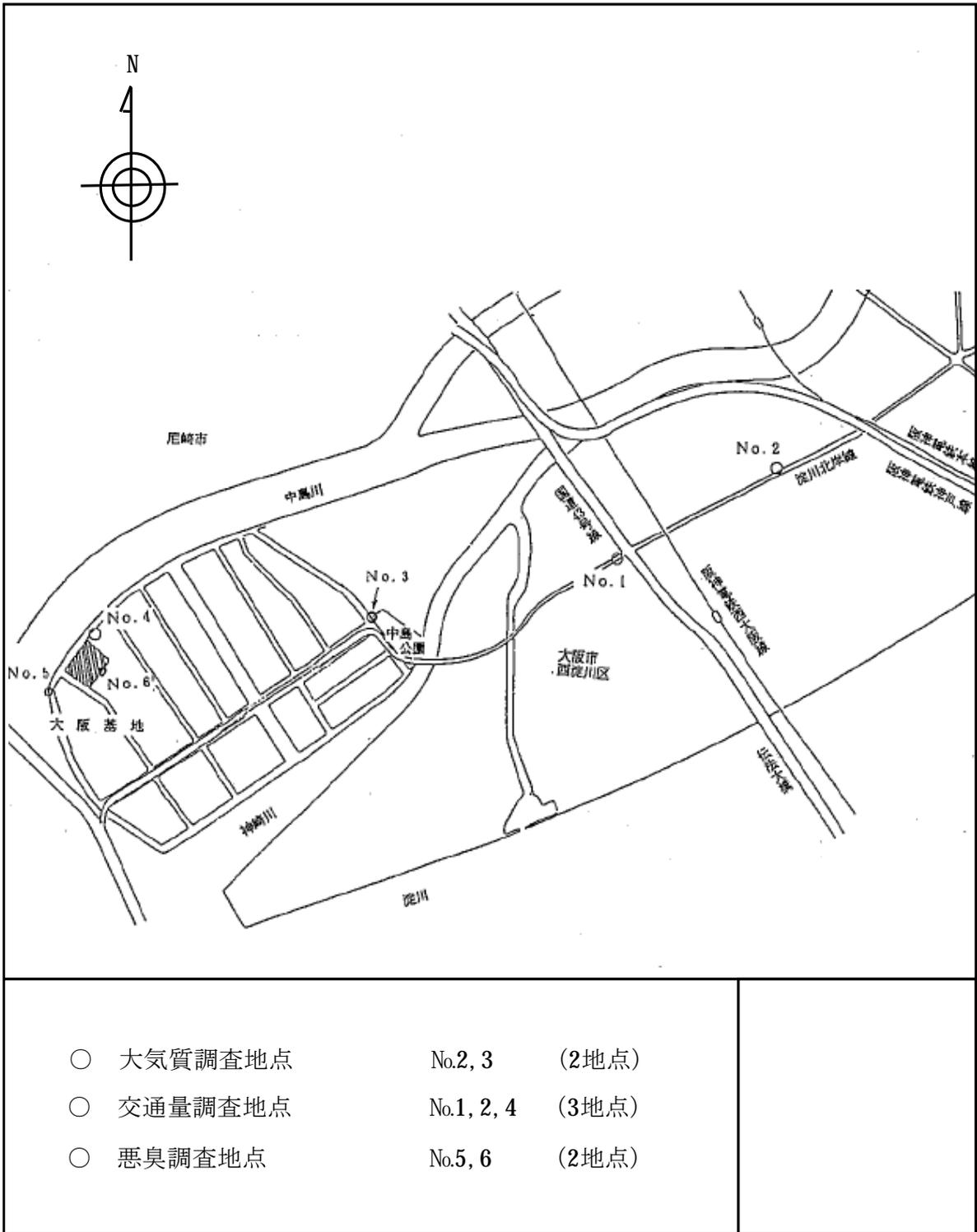


図-1(2) 水質(埋立中:放流水、内水、護岸外周及び処分場周辺)、底質の調査地点(平成 24 年 8 月)



図一(3) 廃棄物搬入施設に係る調査地点(大阪基地) (平成 24 年 8 月)

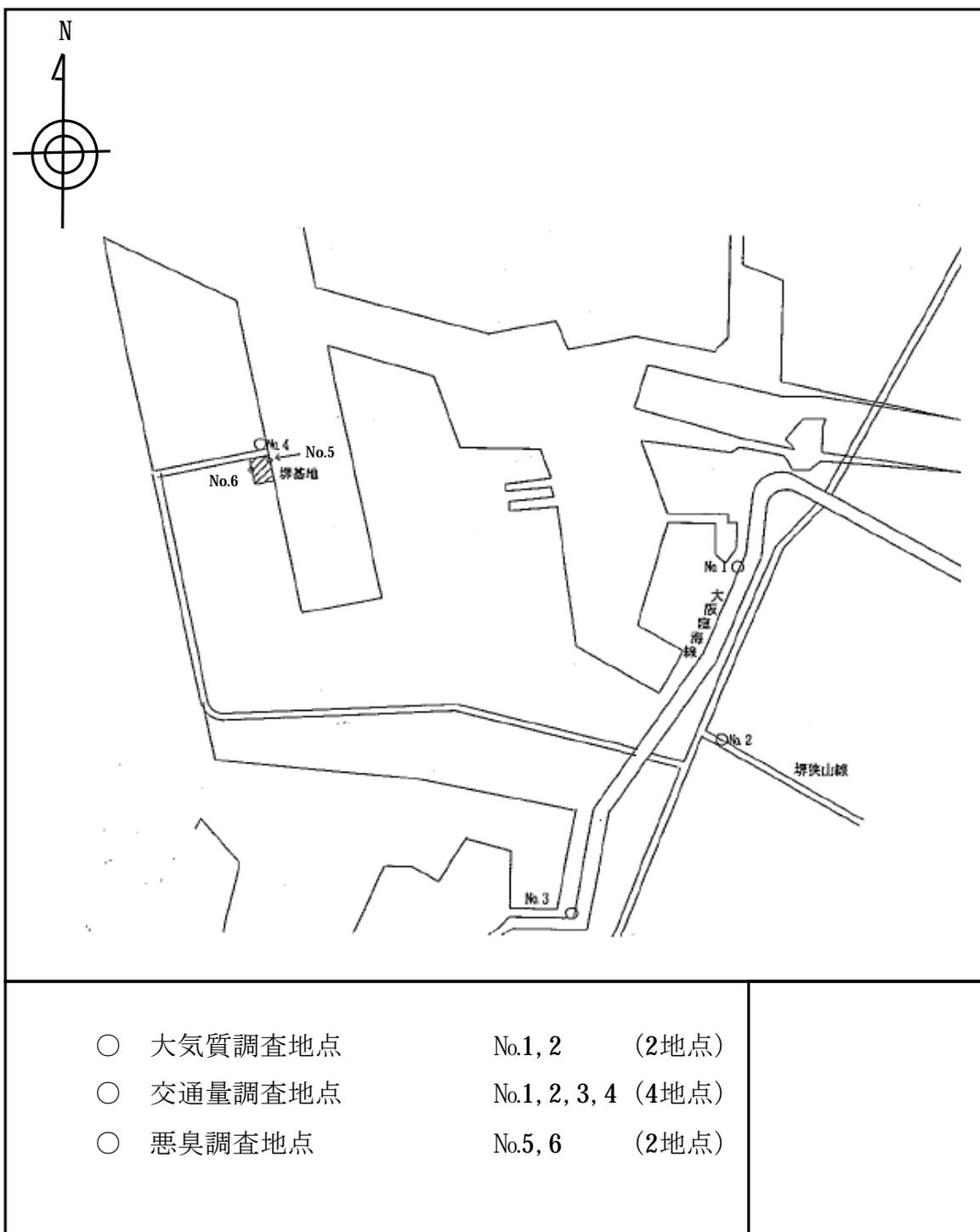
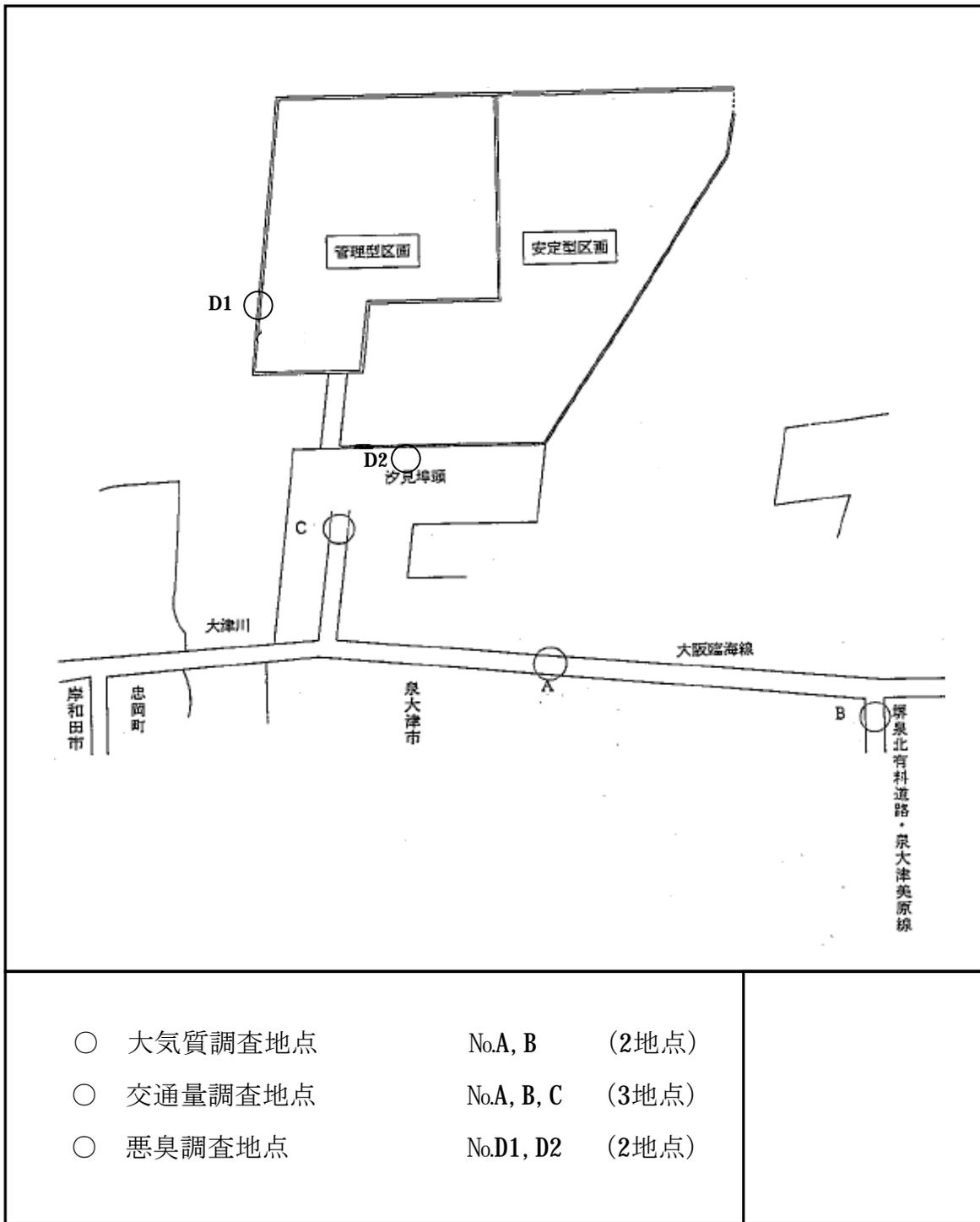


図-1(4) 廃棄物搬入施設に係る調査地点(堺基地) (平成 24 年 8 月)

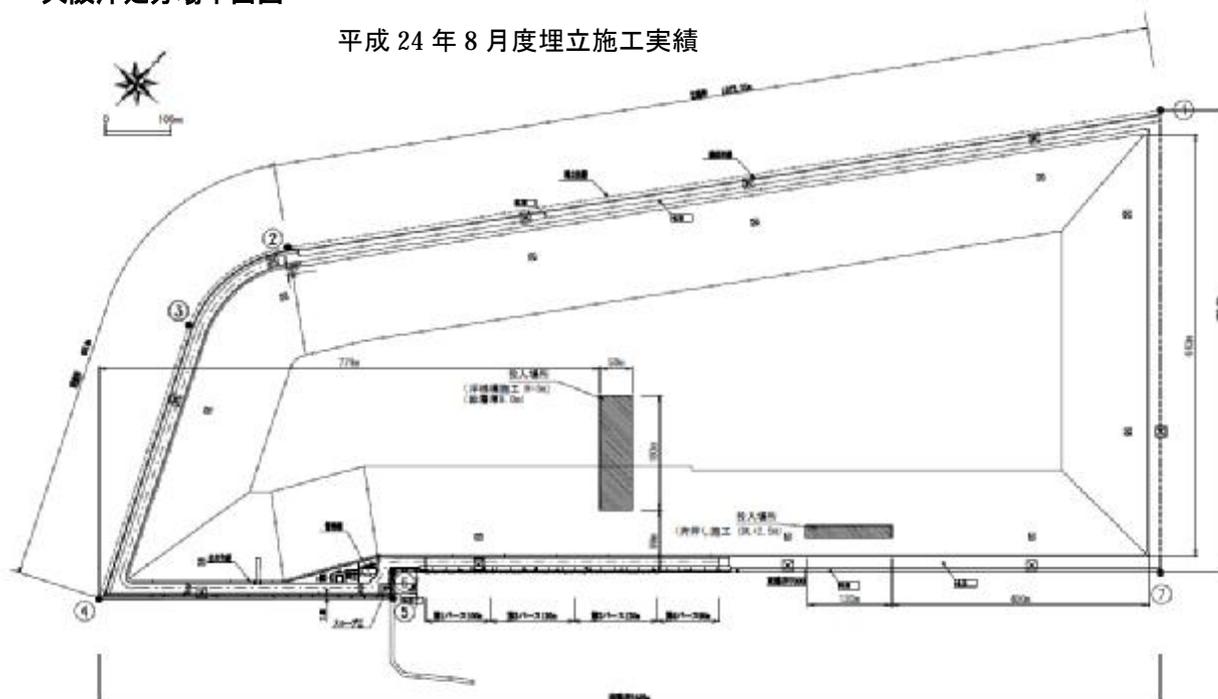


図一(5) 廃棄物搬入施設に係る調査地点(泉大津基地) (平成 24 年 8 月)

2. 工事の実施状況

平成 24 年 8 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量(m ³)	進捗率(%)
1,822,585	13.0

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 24 年 8 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.009ppm、1時間値の最高値は 0.017ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.016ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.028ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.028mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.051mg/m³、1時間値の最高値は 0.099mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注) 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】
水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.3～8.6、下層で 7.7～7.9 であり、上層では調査地点 1、2 及び 5 において環境基準値の上限値を上回っており、下層では調査地点 5 において環境基準値の下限値を下回っていた。
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (8.5)、調査地点 2 (8.6)、調査地点 5 (8.4) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、上層で 7.7～8.6 であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。
また、下層においては調査地点 5 (7.7) が環境基準値の下限値を下回った。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は下層で 7.8～8.3 であり、この範囲内を僅かに下回ったものの概ね同程度であることや、調査地点 5 より処分場に近い場所に位置する調査地点 4 が 7.9 であることから、本事業の影響によるものではないと考えられる。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 4.0～5.6mg/L、下層で 2.2～2.8mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (4.1mg/L)、調査地点 2 (5.6mg/L)、調査地点 3 (4.0mg/L)、調査地点 4 (4.6mg/L)、調査地点 5 (4.9mg/L) であったが、実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 1.6~4.9mg/L であり、調査地点 2 はこの範囲を上回っていたが、概ね同程度であり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値 : 5mg /L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 8.7~10 mg/L、下層で 3.4~5.2mg/L の範囲にあり、上層は全ての調査地点で環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点 1、2、4 及び 5 において環境基準値を下回っていた

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 1 (3.4mg/L)、調査地点 2 (3.5mg/L)、調査地点 4 (4.1mg/L)、調査地点 5 (4.0mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、下層で 0.6~11mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.66~1.2mg/L、下層で 0.34~0.55mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.66mg/L)、調査地点 2 (1.2mg/L)、調査地点 3 (0.72mg/L)、調査地点 4 (0.82mg/L)、調査地点 5 (0.86mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、0.46~2.1mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.092~0.15g/L、下層で 0.068~0.12mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.092mg/L)、調査地点 2 (0.15mg/L)、調査地点 3 (0.10mg/L)、調査地点 4 (0.11mg/L)、調査地点 5 (0.12mg/L)、下層における調査地点 1 (0.098mg/L)、調査地点 2 (0.12mg/L)、調査地点 3 (0.068mg/L)、調査地点 4 (0.073mg/L)、調査地点 5 (0.11mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 2~6 度(カリン)、下層で 1~4 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 4~10mg/L、下層で 1~4mg/L の範囲であった。

8) カロフィル a

カロフィル a は上層で **32~58 $\mu\text{g/L}$** 、下層でいずれも報告下限値未満 (<1) であった。

②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第 6~10、12 号]

1) 放流水 (連続測定)

濁度は、**0.2~0.8 度(カリン)** (平均値 **0.3 度(カリン)**) の範囲であった。

水温は、**28.4~30.0 $^{\circ}\text{C}$** (平均値 **29.1 $^{\circ}\text{C}$**) の範囲であった。

pH は、**7.5~8.4** の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (**5.0** 以上 **9.0** 以下) の範囲内であった。

COD は、**3.6~4.2mg/L** (平均値 **3.9mg/L**) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (**90mg/L**) 及び管理目標値 (**40mg/L**) を下回っていた。

DO は、**4.9~8.3mg/L** (平均値 **6.8mg/L**) であった。

2) 放流水、内水

・放流水

SS は、報告下限値未満 (<1mg/L) ~**3.6mg/L** (平均値 **1.9mg/L**) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (**60mg/L**) 及び管理目標値 (**50mg/L**) を下回っていた。

FSS は、報告下限値未満 (<1mg/L) ~**1.9mg/L** (平均値 **1.2mg/L**) の範囲にあった。

pH は、**7.7** であり、放流水の基準値及び管理目標値 (**5.0** 以上 **9.0** 以下) の範囲内であった。

COD は、**11mg/L** であり、放流水の基準値 (**90mg/L**) 及び管理目標値 (**40mg/L**) を下回っていた。

T-N は、**2.5mg/L** であり、放流水の基準値 (**120mg/L**、日間平均 **60mg/L**) 及び管理目標値 (**30mg/L**) を下回っていた。

T-P は、**0.19mg/L** であり、放流水の基準値 (**16mg/L**、日間平均 **8mg/L**) 及び管理目標値 (**4mg/L**) を下回っていた。

n-ヘキサン抽出物質は、<**0.5mg/L** であり、放流水の基準値及び管理目標値(鉱油類含有量 **5mg/L**、動植物油脂類含有量 **30mg/L**) を下回っていた。

大腸菌群数は、**4 個/cm³** であり、放流水の基準値及び管理目標値 (日間平均 **3000 個/cm³** 以下) を下回っていた。

健康項目等については、事後調査報告書 (平成 **24** 年 **8** 月分②) で報告する。

・内水

SS は、**3.7~4.8mg/L** (平均値 **4.2mg/L**) の範囲であった。

FSS は、**1.2~2.0mg/L** (平均値 **1.6mg/L**) の範囲であった。

pH は **8.6**、COD は **15mg/L**、T-N は **2.8mg/L**、T-P は **0.20mg/L**、n-ヘキサン抽出物質は報告下限値未満 (<**0.5mg/L**)、大腸菌群数は **10 個/cm³** であった。

健康項目等については、事後調査報告書 (平成 **24** 年 **8** 月分②) で報告する。

3) 護岸外周

ア) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 2~5mg/L、下層で 1~3mg/L の範囲であった。

イ) 不揮発性浮遊物質 (FSS)

不揮発性浮遊物質(FSS)は上層で 1~2mg/L、下層で 1~2mg/L の範囲であった。

ウ) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値 : 7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.2~8.3、下層でいずれも 7.8 であり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。

エ) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値 : 3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.4~5.3mg/L、下層で 2.1~2.3mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 19 (4.6mg/L)、調査地点 20 (3.4mg/L)、調査地点 21 (5.3mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13~18) の調査結果は、上層で 2.1~8.1mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

オ) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値 : 5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.3~9.3 mg/L、下層で 3.4~3.7mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値を満たしていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 19 (3.7mg/L)、調査地点 20 (3.4mg/L)、調査地点 21 (3.6mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13~18) の調査結果は、下層で 1.9~9.5mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

カ) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.47~0.90mg/L、下層で 0.46~0.49mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 19 及び 21 において環境基準値を上回っており、下層では全ての地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 19 (0.74mg/L)、調査地点 21 (0.90mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13~18) の調査結果は、上層で 0.40~1.4mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

キ) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.075～0.11mg/L、下層で 0.084～0.097mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 19 (0.097mg/L)、調査地点 20 (0.075mg/L)、調査地点 21 (0.11mg/L)、下層における調査地点 19 (0.092mg/L)、調査地点 20 (0.084mg/L)、調査地点 21 (0.097mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13～18) の調査結果は、上層で 0.033～0.18mg/L、下層で 0.014～0.16mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

ク) n-ヘキサン抽出物質 【環境基準値：検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は全ての調査地点で報告下限値未満 (<0.5mg/L) であり、環境基準値を満たしていた。

ケ) 大腸菌群数

大腸菌群数は $7.9 \times 10^2 \sim 2.4 \times 10^3$ MPN/100mL の範囲であった。

健康項目等については、事後調査報告書 (平成 24 年 8 月分②) で報告する。

②-2 処分場周辺 [水質様式第 16 号]

1) 濁度

濁度は上層で 1～3 度(カリン)、下層で 1～4 度(カリン)の範囲であった。

2) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2～5mg/L、下層で 1～3mg/L の範囲であった。

3) 不揮発性浮遊物質量 (FSS)

不揮発性浮遊物質量(FSS)は上層で 1～2mg/L、下層で報告下限値未満 (<1) ～2mg/L の範囲であった。

4) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.2～8.3、下層でいずれも 7.8～7.9 であり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。

5) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 2.7～5.1mg/L、下層で 2.0～3.0mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 13、14、15、17 及び 18 において環境基準値を上回っており、下層では全

ての調査地点で環境基準値以下であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 13 (4.7mg/L)、調査地点 14 (4.3mg/L)、調査地点 15 (3.4mg/L)、調査地点 17 (5.1mg/L)、調査地点 18 (4.8mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13~18) の調査結果は、上層で 2.1~8.1mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.9~10 mg/L、下層で 3.3~4.2mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値を満たしていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 13 (4.1mg/L)、調査地点 14 (4.2mg/L)、調査地点 15 (4.0mg/L)、調査地点 16 (3.3mg/L)、調査地点 17 (3.3mg/L)、調査地点 18 (3.5mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13~18) の調査結果は、下層で 1.9~9.5mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

7) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.43~0.99mg/L、下層で 0.37~0.60mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 13、14、17 及び 18 において環境基準値を上回っており、下層では全ての地点において環境基準値以下であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 13 (0.94mg/L)、調査地点 14 (0.83mg/L)、調査地点 17 (0.79mg/L)、調査地点 18 (0.99mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13~18) の調査結果は、上層で 0.40~1.4mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

8) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.078~0.12mg/L、下層で 0.075~0.095mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 13 (0.11mg/L)、調査地点 14 (0.11mg/L)、調査地点 15 (0.087mg/L)、調査地点 16 (0.078mg/L)、調査地点 17 (0.11mg/L)、調査地点 18 (0.12mg/L)、下層における調査地点 13 (0.075mg/L)、調査地点 14 (0.078mg/L)、調査地点 15 (0.077mg/L)、調査地点 16 (0.091mg/L)、調査地点 17 (0.095mg/L)、調査地点 18 (0.090mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域の調査結果は、上層で 0.033~0.18mg/L、下層で 0.014~0.16 mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

9) 7αコロフィル a

7αコロフィル a は上層で 21~44 μg/L、下層で報告下限値未満 (<1 μg/L) ~2 μg/L の範囲であ

った。

10) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値：検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は全ての調査地点で報告下限値未満 (<0.5mg/L) であり、環境基準値を満たしていた。

11) 大腸菌群数

大腸菌群数は $7.9 \times 10^2 \sim 2.2 \times 10^3$ MPN/100mL の範囲であった。

12) カドミウム等

事後調査報告書（平成 24 年 8 月分②）で報告する。

(3) 底質

事後調査報告書（平成 24 年 8 月分②）で報告する。

(4) 騒音・低周波空気振動

8 月は実施せず。

(5) 悪臭

事後調査報告書（平成 24 年 8 月分②）で報告する。

(6) 陸域生態系（鳥類）

平成 24 年度は実施せず。

(1) 大気質 [大気質様式第9～16号]

1) 大阪基地

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は **2.6m/sec** であった。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は **1.5m/sec** であった。

2) 堺基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東南東であり、平均風速は **0.8m/sec** であった。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は **1.7m/sec** であった。

3) 泉大津基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は **2.8m/sec** であった。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東であり、平均風速は **1.5m/sec** であった。

(2) 騒音・振動

8月は実施せず。

(3) 交通量 [交通量様式第1～2号]

1) 大阪基地

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は 986～1,591 台、廃棄物車の時間交通量は 0～9 台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 29 台/10hr で、総交通量(12,701 台/10hr)に占める割合は 0.2%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は 1,188～1,652 台、廃棄物車の時間交通量は 0～3 台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 12 台/10hr で、総交通量(14,124 台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No.4)

時間交通量は 111～218 台、廃棄物車の時間交通量は 0～52 台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 206 台/10hr で、総交通量(1,514 台/10hr)に占める割合は 13.6%であった。

2) 堺基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は 1,977～3,366 台、廃棄物車の時間交通量は 0～29 台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 107 台/10hr で、総交通量(27,035 台/10hr)に占める割合は 0.4%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は 1,448～1,765 台、廃棄物車の時間交通量は 0～3 台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 12 台/10hr で、総交通量(15,786 台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.3)

時間交通量は 1,792～3,360 台、廃棄物車の時間交通量は 0～21 台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 110 台/10hr で、総交通量(22,904 台/10hr)に占める割合は 0.5%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点 (No.4)

時間交通量は 15～82 台、廃棄物車の時間交通量は 3～74 台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 320 台/9hr で、総交通量(416 台/9hr)に占める割合は 76.9%であった。

3) 泉大津基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

時間交通量は 1,867～2,782 台、廃棄物車の時間交通量は 0～30 台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 167 台/10hr で、総交通量(23,513 台/10hr)に占める割合は 0.7%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

時間交通量は 774～1,090 台、廃棄物車の時間交通量は 0～18 台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 74 台/10hr で、総交通量(8,924 台/10hr)に占める割合は 0.8%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 泉大津基地近傍の測定点 (No. C)

時間交通量は 127～406 台、廃棄物車の時間交通量は 0～34 台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 205 台/10hr で、総交通量(2,317 台/10hr)に占める割合は 8.8%であった。

(4) 悪臭 [悪臭様式第2号]

1) 大阪基地

臭気指数は No. 5 (風上)、No. 6 (風下) とともに<10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

2) 堺基地

臭気指数は No. 5 (風下)、No. 6 (風上) とともに<10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

3) 泉大津基地

臭気指数は D1 (風上)、D2 (風下) とともに<10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項 目	基 準 値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項 目	基 準 値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
公共用水域における環境基準(BOD又はCOD)の評価方法について（昭和52年環水管52号）
- (1) 環境基準の水域累計を指定する際の水質測定結果の評価方法について
環境基準の水域累計をあてはめるための水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類計の基準値を満たしているデータ数の占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さい者から順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値とする。（0.75×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。）
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点をもつ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 規制基準等

(1) 水質

①水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L 以下
	窒素含有量 (T-N)	120mg/L (日間平均60mg/L) 以下	30mg/L 以下
	リン含有量 (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L) 以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000個/cm ³ 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋。
2. 管理目標値は、事後調査計画書における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

(2) 悪臭

項目	基準値
臭気指数	敷地境界線における規制基準：10 規制地域：大阪市の区域 ^{注1)} 、堺市の区域 ^{注2)} (泉大津市については、指導指針値 ^{注3)} の取り扱いである。)

注1：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；大阪市（平成18年1月告示）

注2：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；堺市（平成19年11月告示）

注3：泉大津市悪臭公害防止指導要綱；泉大津市（昭和59年3月公布）

※ なお、大阪府の大気環境に関する環境保全目標では、悪臭については「大部分の地域住民が日常生活において感知しない程度」となっている。

3. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75値の最小～最大を示す。

4. 廃棄物等受入前調査結果（平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月・水質（処分場周辺））

項目	区分	廃棄物等受入前調査 (平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月) 処分場周辺 (調査地点 13~18)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	8.0 ~ 8.7 (19/36)	—
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/36)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	2.1 ~ 8.1 (26/36)	4.3 ~ 5.8 (6/6)
	下層	1.5 ~ 3.3 (3/36)	2.4 ~ 3.0 (0/6)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	7.5 ~ 12 (0/36)	9.1 ~ 9.8
	下層	1.9 ~ 9.5 (9/36)	5.8 ~ 7.0
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	上層	<0.5 ~ <0.5 (0/36)	<0.5 ~ <0.5
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.40 ~ 1.4	0.65 ~ 0.92 (6/6)
	下層	0.18 ~ 0.79	0.32 ~ 0.44 (0/6)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.033 ~ 0.18	0.067 ~ 0.097 (6/6)
	下層	0.014 ~ 0.16	0.034 ~ 0.075 (4/6)

注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 13~18 におけるそれぞれ全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m: 環境基準を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における期間平均値の最小~最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表[平成24年8月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果[平成24年8月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (水)	0.004	0.006	
	2 (木)	0.004	0.006	
	3 (金)	0.005	0.009	
	4 (土)	0.003	0.003	
	5 (日)	0.003	0.006	
	6 (月)	0.006	0.011	
	7 (火)	0.005	0.010	
	8 (水)	0.004	0.007	
	9 (木)	0.006	0.011	
	10 (金)	0.005	0.009	
	別	11 (土)	0.004	0.007
		12 (日)	0.005	0.010
		13 (月)	0.004	0.009
		14 (火)	0.004	0.008
		15 (水)	0.003	0.007
16 (木)		0.004	0.006	
17 (金)		0.006	0.013	
18 (土)		0.004	0.005	
19 (日)		0.008	0.013	
20 (月)		0.009	0.013	
値	21 (火)	0.009	0.014	
	22 (水)	0.009	0.017	
	23 (木)	0.007	0.012	
	24 (金)	0.003	0.005	
	25 (土)	0.003	0.006	
	26 (日)	0.005	0.014	
	27 (月)	0.004	0.008	
	28 (火)	0.004	0.007	
	29 (水)	0.003	0.004	
	30 (木)	0.003	0.004	
	31 (金)	0.003	0.006	
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		740		
月平均値 (ppm)		0.005		
日平均値の最高値 (ppm)		0.009		
1時間値の最高値 (ppm)		0.017		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果[平成24年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (水)	0.008	0.014
	2 (木)	0.009	0.020
	3 (金)	0.006	0.026
	4 (土)	0.003	0.007
	5 (日)	0.002	0.013
	6 (月)	0.011	0.032
	7 (火)	0.007	0.023
	8 (水)	0.002	0.005
	9 (木)	0.004	0.017
	10 (金)	0.002	0.012
別	11 (土)	0.003	0.009
	12 (日)	0.002	0.005
	13 (月)	0.003	0.014
	14 (火)	0.006	0.023
	15 (水)	0.009	0.037
	16 (木)	0.009	0.029
	17 (金)	0.007	0.032
	18 (土)	0.002	0.010
	19 (日)	0.002	0.008
	20 (月)	0.008	0.035
値	21 (火)	0.008	0.027
	22 (水)	0.012	0.045
	23 (木)	0.010	0.033
	24 (金)	0.007	0.035
	25 (土)	0.003	0.016
	26 (日)	0.002	0.007
	27 (月)	0.006	0.017
	28 (火)	0.007	0.022
	29 (水)	0.007	0.024
	30 (木)	0.008	0.031
	31 (金)	0.007	0.040
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		739	
月 平 均 値 (ppm)		0.006	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.012	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.045	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果[平成24年8月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (水)	0.012	0.015	
	2 (木)	0.018	0.029	
	3 (金)	0.017	0.024	
	4 (土)	0.009	0.015	
	5 (日)	0.008	0.020	
	別	6 (月)	0.024	0.041
		7 (火)	0.020	0.041
		8 (水)	0.017	0.035
		9 (木)	0.028	0.044
		10 (金)	0.025	0.047
		11 (土)	0.015	0.026
		12 (日)	0.013	0.024
		13 (月)	0.010	0.019
		14 (火)	0.016	0.025
		15 (水)	0.010	0.017
値	16 (木)	0.011	0.016	
	17 (金)	0.017	0.032	
	18 (土)	0.021	0.034	
	19 (日)	0.017	0.029	
	20 (月)	0.021	0.035	
	21 (火)	0.019	0.025	
	22 (水)	0.020	0.034	
	23 (木)	0.016	0.032	
	24 (金)	0.018	0.034	
	25 (土)	0.012	0.019	
	26 (日)	0.009	0.017	
	27 (月)	0.016	0.030	
	28 (火)	0.016	0.022	
	29 (水)	0.012	0.025	
	30 (木)	0.013	0.023	
	31 (金)	0.015	0.026	
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		739		
月平均値 (ppm)		0.016		
日平均値の最高値 (ppm)		0.028		
1時間値の最高値 (ppm)		0.047		
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0		
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0		
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0		
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果[平成24年8月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ng/m^3)	1時間値の 最高値 (ng/m^3)
日	1 (水)	0.023	0.040
	2 (木)	0.027	0.041
	3 (金)	0.029	0.058
	4 (土)	0.020	0.031
	5 (日)	0.019	0.032
	6 (月)	0.024	0.033
	7 (火)	0.026	0.041
	8 (水)	0.025	0.055
	9 (木)	0.026	0.042
	10 (金)	0.043	0.077
別	11 (土)	0.034	0.062
	12 (日)	0.033	0.065
	13 (月)	0.051	0.099
	14 (火)	0.035	0.060
	15 (水)	0.024	0.085
	16 (木)	0.022	0.033
	17 (金)	0.031	0.047
	18 (土)	0.034	0.060
	19 (日)	0.027	0.042
	20 (月)	0.033	0.048
値	21 (火)	0.034	0.048
	22 (水)	0.038	0.048
	23 (木)	0.034	0.046
	24 (金)	0.023	0.038
	25 (土)	0.021	0.037
	26 (日)	0.020	0.035
	27 (月)	0.022	0.037
	28 (火)	0.019	0.032
	29 (水)	0.017	0.026
	30 (木)	0.023	0.041
	31 (金)	0.019	0.028
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (ng/m^3)		0.028	
日平均値の最高値 (ng/m^3)		0.051	
1時間値の最高値 (ng/m^3)		0.099	
1時間値が $0.20\text{ng}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が $0.10\text{ng}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成24年8月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (水)	2.9	4.2	E	E
	2 (木)	1.5	2.8	WSW	WSW
	3 (金)	1.8	4.0	ESE	E
	4 (土)	2.7	3.8	E	E
	5 (日)	1.8	3.1	E	E
	6 (月)	1.1	3.0	W	W
	7 (火)	1.0	1.9	N	W, N
	8 (水)	1.3	2.0	NNW	NNW
	9 (木)	1.0	2.2	W	W
	10 (金)	1.2	3.1	WSW	W
別	11 (土)	0.9	2.6	WSW	WWW, CALM
	12 (日)	1.1	3.1	WSW	ESE, WSW, W
	13 (月)	1.3	2.5	SW	SW
	14 (火)	0.8	2.4	SW	W
	15 (水)	1.0	3.0	SSW	W
	16 (木)	1.1	2.1	W	W
	17 (金)	1.0	2.5	WSW	WSW
	18 (土)	1.0	3.8	ESE	CALM
	19 (日)	0.9	2.4	WSW	W
	20 (月)	1.1	2.6	WSW	ESE, WSW, WWW
値	21 (火)	1.2	2.8	WSW	W
	22 (水)	1.2	3.2	W	W
	23 (木)	1.1	3.2	W	WWW
	24 (金)	1.0	2.3	W	W
	25 (土)	1.0	2.3	SW	ENE
	26 (日)	1.5	2.3	SW	E
	27 (月)	1.4	2.7	W	ESE
	28 (火)	1.6	3.1	ESE	ESE
	29 (水)	1.1	2.1	SSW	WSW, W
	30 (木)	1.0	1.9	W, S	W
	31 (金)	1.2	2.5	ESE	ESE, WWW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		1.3			
月最大風速 (m/s)		4.2			
月最多風向 (16方位)		W			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成24年8月分]

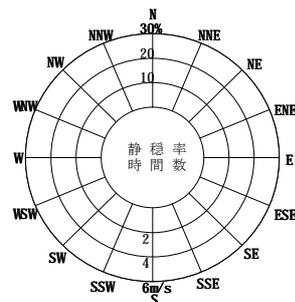
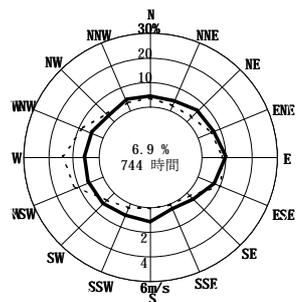
項目	方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WWW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数		18	23	47	68	82	19	10	9	19	38	96	114	70	34	26	26	45	744
頻度 (%)		2.4	3.1	6.3	9.1	11.0	2.6	1.3	1.2	2.6	5.1	12.9	15.3	9.4	4.6	3.5	3.5	6.0	-
平均風速(m/s)		0.9	1.3	1.5	2.1	1.6	0.9	0.6	1.3	1.2	1.4	1.4	1.3	1.1	0.7	1.0	0.9	0.3	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m

凡例



—— 平均風速
 - - - - 出現頻度

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成24年8月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成24年8月分]
調査日：平成24年8月8日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	10:15	9:45	10:35	11:30	11:00	—	—	
透明度 [m]	1.5	1.4	1.5	1.3	1.4	1.3 ~ 1.5	1.4	
水温 [°C]	27.2	27.3	26.7	27.0	27.5	26.7 ~ 27.5	27.1	
	24.0	23.6	24.2	24.3	24.2	23.6 ~ 24.3	24.1	
塩分 [—]	27.2	24.7	26.9	27.3	27.5	24.7 ~ 27.5	26.7	
	31.3	31.1	31.2	31.2	31.3	31.1 ~ 31.3	31.2	
濁度 [度(カリン)]	2	4	2	6	2	2 ~ 6	3	
	3	4	3	1	2	1 ~ 4	3	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	4	8	5	10	5	4 ~ 10	6	
	2	4	3	1	3	1 ~ 4	3	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.5	8.6	8.3	8.3	8.4	8.3 ~ 8.6	-	
	7.8	7.8	7.9	7.9	7.7	7.7 ~ 7.9	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.1	5.6	4.0	4.6	4.9	4.0 ~ 5.6	4.6	
	2.5	2.5	2.2	2.2	2.8	2.2 ~ 2.8	2.4	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	10	10	9.0	9.0	8.7	8.7 ~ 10	9.3
	飽和度 [%]	3.4	3.5	5.2	4.1	4.0	3.4 ~ 5.2	4.0
全窒素 (T-N) [mg/L]	147	145	131	132	129	129 ~ 147	137	
	48	49	74	59	57	48 ~ 74	57	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.66	1.2	0.72	0.82	0.86	0.66 ~ 1.2	0.85	
	0.45	0.55	0.34	0.38	0.54	0.34 ~ 0.55	0.45	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.092	0.15	0.10	0.11	0.12	0.092 ~ 0.15	0.11	
	0.098	0.12	0.068	0.073	0.11	0.068 ~ 0.12	0.094	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	35	58	38	32	54	32 ~ 58	43	
	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ~ <1	<1	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成 24年 8 月分]

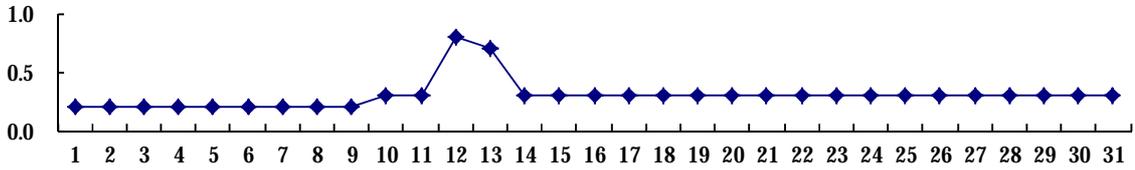
項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(カリン)]	0.2	～	0.8	0.3
水温	[°C]	28.4	～	30.0	29.1
pH	[－]	7.5	～	8.4	7.9
COD	[mg/L]	3.6	～	4.2	3.9
DO	[mg/L]	4.9	～	8.3	6.8
特記事項					

水質様式第7号

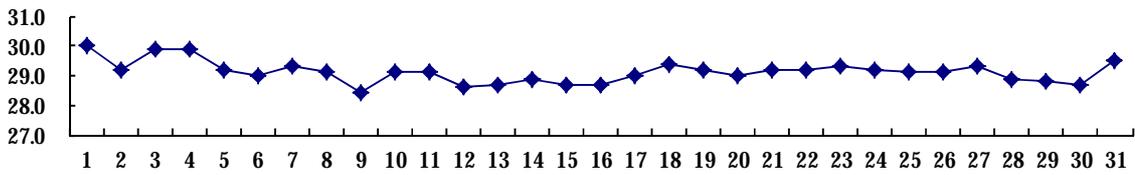
水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成 24 年 8 月分]

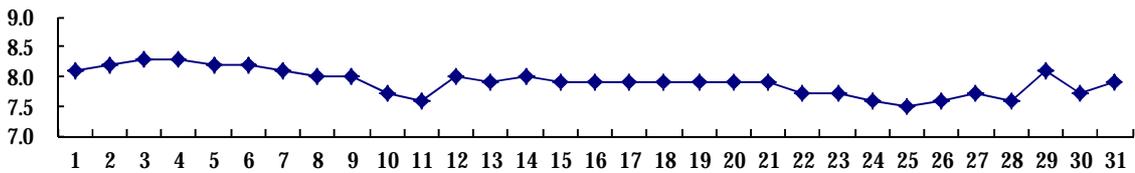
濁度[度(カリン)]



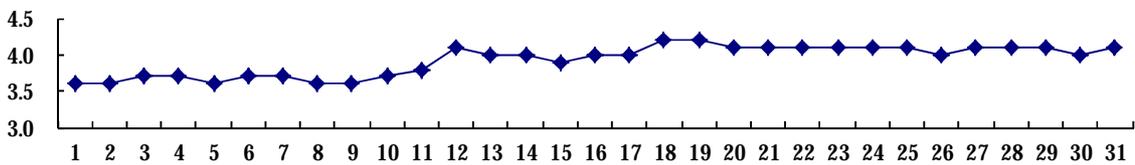
水温[°C]



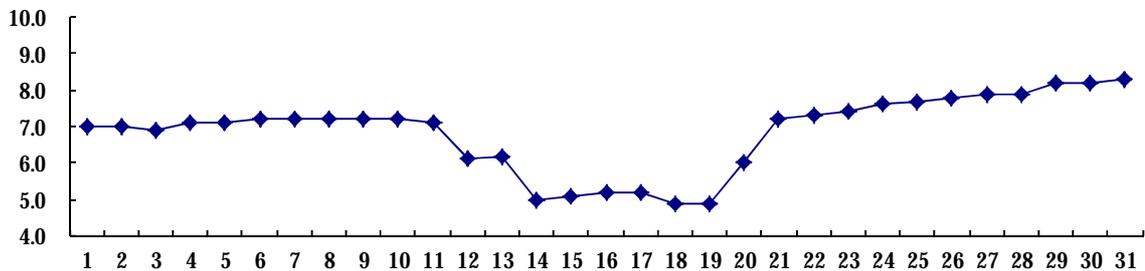
水素イオン濃度(pH)[-]



化学的酸素要求量(COD)[mg/L]



溶存酸素量(DO)[mg/L]



※ 8月10日朝～11日朝 凝集沈殿槽抜水作業のため放流停止
8月11日朝～12日昼前 発電機工事で発電停止のため放流停止

水質様式第 8 号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水①） [平成24年8月分]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
	8/7 (火)	11:00	3.6	1.9	10:40	4.3
8/17 (金)	10:00	1.1	< 1	9:45	3.7	1.2
8/21 (火)	10:10	< 1	< 1	10:25	4.0	1.3
8/28 (火)	9:55	1.7	< 1	10:10	4.8	1.8
平均値	—	1.9	1.2	—	4.2	1.6
最小値	—	< 1	< 1	—	3.7	1.2
最大値	—	3.6	1.9	—	4.8	2.0

特記事項

水質様式第 9 号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成24年8月分]

調査日：平成24年8月7日

区分 項目	放流水	内水
	時刻	11:00
pH[—]	7.7(24℃)	8.6(24℃)
COD[ng/L]	11	15
T-N[ng/L]	2.5	2.8

特記事項

水質様式第10号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成24年8月分]

調査日：平成24年8月7日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	11:00	10:40
T-P[ng/L]	0.19	0.20
n-ヘキサン抽出物質[mg/L]	< 0.5	< 0.5
大腸菌群数[個/cm ³]	4	10

特記事項

項目	調査点			最小値	～	最大値	平均値	
	19	20	21					
時刻	10:10	10:40	11:35	—			—	
透明度 [m]	2.3	3.0	1.8	1.8	～	3.0	2.4	
水温 [°C]	26.4	26.6	26.7	26.4	～	26.7	26.6	
	24.1	23.9	24.0	23.9	～	24.1	24.0	
塩分 [-]	26.9	28.9	28.3	26.9	～	28.9	28.0	
	31.1	31.3	31.1	31.1	～	31.3	31.2	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	4	2	5	2	～	5	4	
	3	2	1	1	～	3	2	
不揮発性浮遊物質 (FSS) [mg/L]	1	1	2	1	～	2	1	
	2	1	1	1	～	2	1	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.3	8.3	8.2	8.2	～	8.3	-	
	7.8	7.8	7.8	7.8	～	7.8	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.6	3.4	5.3	3.4	～	5.3	4.4	
	2.2	2.3	2.1	2.1	～	2.3	2.2	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	8.6	7.3	9.3	7.3	～	9.3	8.4
		3.7	3.4	3.6	3.4	～	3.7	3.6
	飽和度 [%]	125	107	136	107	～	136	123
		53	48	51	48	～	53	51
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.74	0.47	0.90	0.47	～	0.90	0.70	
	0.46	0.49	0.46	0.46	～	0.49	0.47	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.097	0.075	0.11	0.075	～	0.11	0.094	
	0.092	0.084	0.097	0.084	～	0.097	0.091	
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	
大腸菌群数 [MPN/100mL]	2.4×10^3	7.9×10^2	1.3×10^3	7.9×10^2	～	2.4×10^3	1.5×10^3	

注) 上段：上層（海面下1m）

下段：下層（海底面上2m）

但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項

項目	調査点						最小値 ~ 最大値	平均値	
	13	14	15	16	17	18			
時刻	9:45	10:30	11:50	11:00	11:20	11:55	—	—	
透明度 [m]	1.5	1.8	1.9	1.8	1.5	1.5	1.5 ~ 1.9	1.7	
水温 [°C]	26.4	26.7	27.4	26.6	27.0	27.1	26.4 ~ 27.4	26.9	
	24.5	24.3	24.4	23.8	23.9	24.0	23.8 ~ 24.5	24.2	
塩分 [—]	25.8	26.0	27.8	29.0	27.4	26.8	25.8 ~ 29.0	27.1	
	31.2	31.2	31.1	31.2	31.1	31.0	31.0 ~ 31.2	31.1	
濁度 [度(カリン)]	2	2	2	1	2	3	1 ~ 3	2	
	2	2	2	4	3	1	1 ~ 4	2	
浮遊物質量 (SS) [ng/L]	5	4	3	2	5	5	2 ~ 5	4	
	3	2	1	2	2	2	1 ~ 3	2	
不揮発性浮遊物質量 (FSS) [ng/L]	2	2	2	1	2	2	1 ~ 2	2	
	2	1	1	1	1	<1	<1 ~ 2	1	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.2	8.2 ~ 8.3	-	
	7.9	7.9	7.9	7.8	7.8	7.8	7.8 ~ 7.9	-	
化学的酸素要求量 (COD) [ng/L]	4.7	4.3	3.4	2.7	5.1	4.8	2.7 ~ 5.1	4.2	
	3.0	2.0	2.3	2.3	2.1	2.0	2.0 ~ 3.0	2.3	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [ng/L]	9.7	8.9	10	7.9	10	9.1	7.9 ~ 10	9.3
	飽和度 [%]	4.1	4.2	4.0	3.3	3.3	3.5	3.3 ~ 4.2	3.7
全窒素 (T-N) [ng/L]	140	129	148	116	147	133	116 ~ 148	136	
	59	60	57	47	47	50	47 ~ 60	53	
全窒素 (T-N) [ng/L]	0.94	0.83	0.57	0.43	0.79	0.99	0.43 ~ 0.99	0.76	
	0.60	0.39	0.37	0.42	0.41	0.44	0.37 ~ 0.60	0.44	
全磷 (T-P) [ng/L]	0.11	0.11	0.087	0.078	0.11	0.12	0.078 ~ 0.12	0.10	
	0.075	0.078	0.077	0.091	0.095	0.090	0.075 ~ 0.095	0.084	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	43	43	38	21	44	42	21 ~ 44	39	
	1	<1	1	<1	1	2	<1 ~ 2	1	
n-ヘキサン抽出物質 [ng/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5 ~ <0.5	<0.5	
大腸菌群数 [MPN/100mL]	1.1×10^3	1.7×10^3	1.3×10^3	7.9×10^2	1.7×10^3	2.2×10^3	$7.9 \times 10^2 \sim 2.2 \times 10^3$	1.5×10^3	

注) 上段：上層（海面下1m）
 下段：下層（海底面上2m）
 但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項

大気質様式第9号（廃棄物搬入施設関連）

大気質測定結果総括表(大阪基地)[平成24年8月分]

項 目		測 定 点	
		No.2	No.3
二酸化硫黄	有効測定日数(日)	7	7
	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0	0
	測定時間数(時間)	168	168
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数(時間)	0	0
二酸化窒素	有効測定日数(日)	7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	0	0
	測定時間数(時間)	168	168
浮遊粒子状物質	有効測定日数(日)	7	7
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数(日)	0	0
	測定時間数(時間)	168	168
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数(時間)	0	0
備 考			

大気質測定結果総括表(堺基地)[平成24年8月分]

項 目		測 定 点	
		No.1	No.2
二酸化硫黄	有効測定日数(日)	7	7
	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0	0
	測定時間数(時間)	168	168
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数(時間)	0	0
二酸化窒素	有効測定日数(日)	7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	0	0
	測定時間数(時間)	168	168
浮遊粒子状物質	有効測定日数(日)	7	7
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数(日)	0	0
	測定時間数(時間)	168	168
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数(時間)	0	0
備 考			

大気質測定結果総括表(泉大津基地)[平成24年8月分]

項 目		測 定 点	
		A	B
二酸化硫黄	有効測定日数(日)	7	7
	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0	0
	測定時間数(時間)	168	168
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数(時間)	0	0
二酸化窒素	有効測定日数(日)	7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	0	0
	測定時間数(時間)	168	168
浮遊粒子状物質	有効測定日数(日)	7	7
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数(日)	0	0
	測定時間数(時間)	168	168
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数(時間)	0	0
備 考			

二酸化硫黄測定結果(大阪基地)[平成24年8月分]

測定点		No. 2		No. 3		
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 別 値	3 (金)	0.008	0.011	0.005	0.007	
	4 (土)	0.005	0.007	0.004	0.005	
	5 (日)	0.005	0.006	0.005	0.008	
	6 (月)	0.006	0.011	0.005	0.011	
	7 (火)	0.005	0.007	0.004	0.008	
	8 (水)	0.005	0.007	0.004	0.005	
	9 (木)	0.007	0.013	0.006	0.014	
	有効測定日数 (日)		7		7	
	測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.006		0.005		
日平均値の最高値 (ppm)		0.008		0.006		
1時間値の最高値 (ppm)		0.013		0.014		
1時間値が0.1ppmを 超えた時間数 (時間)		0		0		
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)		0		0		

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化硫黄測定結果(堺基地)[平成24年8月分]

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	19 (日)	0.006	0.009	0.005	0.008
	20 (月)	0.010	0.021	0.009	0.026
	21 (火)	0.005	0.008	0.006	0.009
	22 (水)	0.004	0.006	0.006	0.010
	23 (木)	0.006	0.009	0.006	0.009
	24 (金)	0.005	0.009	0.006	0.012
	25 (土)	0.005	0.009	0.009	0.028
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.006		0.007	
日平均値の最高値 (ppm)		0.010		0.009	
1時間値の最高値 (ppm)		0.021		0.028	
1時間値が0.1ppmを 超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化硫黄測定結果(泉大津基地)[平成24年8月分]

測定点		A		B	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	19 (日)	0.006	0.010	0.004	0.008
	20 (月)	0.007	0.013	0.005	0.009
	21 (火)	0.006	0.011	0.004	0.006
	22 (水)	0.006	0.009	0.005	0.008
	23 (木)	0.006	0.010	0.004	0.007
	24 (金)	0.006	0.009	0.005	0.008
	25 (土)	0.006	0.008	0.004	0.006
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.006		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.007		0.005	
1時間値の最高値 (ppm)		0.013		0.009	
1時間値が0.1ppmを 超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果(大阪基地)[平成24年8月分]

測定点		No. 2		No. 3		
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 別 値	3 (金)	0.021	0.043	0.011	0.019	
	4 (土)	0.014	0.033	0.007	0.011	
	5 (日)	0.008	0.017	0.009	0.034	
	6 (月)	0.017	0.060	0.021	0.045	
	7 (火)	0.009	0.031	0.022	0.059	
	8 (水)	0.003	0.005	0.009	0.018	
	9 (木)	0.010	0.034	0.018	0.034	
	有効測定日数 (日)		7		7	
	測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.012		0.014		
日平均値の最高値 (ppm)		0.021		0.022		
1時間値の最高値 (ppm)		0.060		0.059		

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果(堺基地)[平成24年8月分]

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	19 (日)	0.005	0.008	0.009	0.019
	20 (月)	0.019	0.077	0.023	0.054
	21 (火)	0.018	0.042	0.023	0.060
	22 (水)	0.018	0.048	0.027	0.048
	23 (木)	0.012	0.026	0.022	0.050
	24 (金)	0.013	0.027	0.025	0.056
	25 (土)	0.006	0.010	0.015	0.034
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.013		0.021	
日平均値の最高値 (ppm)		0.019		0.027	
1時間値の最高値 (ppm)		0.077		0.060	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果(泉大津基地)[平成24年8月分]

測定点		A		B	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	19 (日)	0.006	0.024	0.006	0.015
	20 (月)	0.020	0.067	0.016	0.048
	21 (火)	0.022	0.092	0.019	0.083
	22 (水)	0.024	0.086	0.021	0.076
	23 (木)	0.026	0.092	0.021	0.063
	24 (金)	0.022	0.077	0.018	0.060
	25 (土)	0.014	0.049	0.011	0.035
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.019		0.016	
日平均値の最高値 (ppm)		0.026		0.021	
1時間値の最高値 (ppm)		0.092		0.083	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第12号（廃棄物搬入施設関連）

二酸化窒素測定結果（大阪基地）〔平成24年8月分〕

測定点		No.2		No.3	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	3 (金)	0.014	0.021	0.008	0.012
	4 (土)	0.010	0.016	0.005	0.007
	5 (日)	0.007	0.014	0.006	0.020
	6 (月)	0.016	0.027	0.019	0.052
	7 (火)	0.010	0.018	0.015	0.034
	8 (水)	0.006	0.011	0.008	0.022
	9 (木)	0.018	0.029	0.023	0.044
	有効測定日数 (日)	7		7	
	測定時間 (時間)	168		168	
期間平均値 (ppm)	0.012		0.012		
日平均値の最高値 (ppm)	0.018		0.023		
1時間値の最高値 (ppm)	0.029		0.052		
1時間値が0.2ppmを 超えた時間数 (時間)	0		0		
1時間値が0.1ppm以上 0.2ppm以下の時間数 (時間)	0		0		
日平均値が0.06ppmを 超えた日数 (日)	0		0		
日平均値が0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 (日)	0		0		

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化窒素測定結果（堺基地）〔平成24年8月分〕

測定点		No.1		No.2	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	19 (日)	0.010	0.014	0.011	0.017
	20 (月)	0.020	0.056	0.020	0.057
	21 (火)	0.018	0.040	0.017	0.036
	22 (水)	0.018	0.039	0.017	0.040
	23 (木)	0.017	0.041	0.016	0.039
	24 (金)	0.021	0.039	0.019	0.040
	25 (土)	0.017	0.033	0.016	0.030
	有効測定日数 (日)	7		7	
	測定時間 (時間)	168		168	
期間平均値 (ppm)	0.017		0.017		
日平均値の最高値 (ppm)	0.021		0.020		
1時間値の最高値 (ppm)	0.056		0.057		
1時間値が0.2ppmを 超えた時間数 (時間)	0		0		
1時間値が0.1ppm以上 0.2ppm以下の時間数 (時間)	0		0		
日平均値が0.06ppmを 超えた日数 (日)	0		0		
日平均値が0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 (日)	0		0		

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化窒素測定結果（泉大津基地）〔平成24年8月分〕

測定点		A		B	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	19 (日)	0.010	0.021	0.007	0.015
	20 (月)	0.019	0.050	0.014	0.042
	21 (火)	0.017	0.042	0.014	0.035
	22 (水)	0.019	0.049	0.016	0.048
	23 (木)	0.019	0.048	0.014	0.034
	24 (金)	0.020	0.045	0.014	0.035
	25 (土)	0.016	0.033	0.012	0.022
	有効測定日数 (日)	7		7	
	測定時間 (時間)	168		168	
期間平均値 (ppm)	0.017		0.013		
日平均値の最高値 (ppm)	0.020		0.016		
1時間値の最高値 (ppm)	0.050		0.048		
1時間値が0.2ppmを 超えた時間数 (時間)	0		0		
1時間値が0.1ppm以上 0.2ppm以下の時間数 (時間)	0		0		
日平均値が0.06ppmを 超えた日数 (日)	0		0		
日平均値が0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 (日)	0		0		

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第13号 (廃棄物搬入施設関連)

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(大阪基地)[平成24年8月分]

測定点		No.2			No.3			
		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		
日 別 値	3 (金)	0.035	40.0	0.056	0.019	42.1	0.027	
	4 (土)	0.024	41.7	0.047	0.012	41.7	0.016	
	5 (日)	0.015	46.7	0.031	0.015	40.0	0.054	
	6 (月)	0.033	48.5	0.076	0.040	47.5	0.092	
	7 (火)	0.019	52.6	0.048	0.036	41.7	0.078	
	8 (水)	0.009	66.7	0.016	0.017	47.1	0.040	
	9 (木)	0.028	64.3	0.062	0.041	56.1	0.070	
	有効測定日数 (日)		7			7		
	測定時間 (時間)		168			168		
期間平均値 (ppm)		0.023			0.026			
日平均値の最高値 (ppm)		0.035			0.041			
1時間値の最高値 (ppm)		0.076			0.092			
期間平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		52.2			46.2			

注: 1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂/(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

日(期間)平均値NO₂/(NO+NO₂)

= (NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(期間)間にわたる総和) / (NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(堺基地)[平成24年8月分]

測定点		No.1			No.2			
		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		
日 別 値	19 (日)	0.015	66.7	0.022	0.020	55.0	0.031	
	20 (月)	0.038	52.6	0.096	0.043	46.5	0.111	
	21 (火)	0.036	50.0	0.073	0.040	42.5	0.096	
	22 (水)	0.036	50.0	0.084	0.044	38.6	0.088	
	23 (木)	0.030	56.7	0.066	0.039	41.0	0.084	
	24 (金)	0.034	61.8	0.066	0.044	43.2	0.096	
	25 (土)	0.023	73.9	0.043	0.032	50.0	0.064	
	有効測定日数 (日)		7			7		
	測定時間 (時間)		168			168		
期間平均値 (ppm)		0.030			0.037			
日平均値の最高値 (ppm)		0.038			0.044			
1時間値の最高値 (ppm)		0.096			0.111			
期間平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		56.7			45.9			

注: 1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂/(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

日(期間)平均値NO₂/(NO+NO₂)

= (NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(期間)間にわたる総和) / (NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(泉大津基地)[平成24年8月分]

測定点		A			B			
		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		
日 別 値	19 (日)	0.016	62.5	0.045	0.013	53.8	0.030	
	20 (月)	0.038	50.0	0.115	0.029	48.3	0.090	
	21 (火)	0.040	42.5	0.130	0.032	43.8	0.118	
	22 (水)	0.043	44.2	0.133	0.037	43.2	0.118	
	23 (木)	0.045	42.2	0.140	0.035	40.0	0.082	
	24 (金)	0.042	47.6	0.115	0.032	43.8	0.089	
	25 (土)	0.030	53.3	0.081	0.023	52.2	0.051	
	有効測定日数 (日)		7			7		
	測定時間 (時間)		168			168		
期間平均値 (ppm)		0.036			0.029			
日平均値の最高値 (ppm)		0.045			0.037			
1時間値の最高値 (ppm)		0.140			0.118			
期間平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		47.2			44.8			

注: 1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂/(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

日(期間)平均値NO₂/(NO+NO₂)

= (NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(期間)間にわたる総和) / (NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

大気質様式第14号（廃棄物搬入施設関連）

浮遊粒子状物質測定結果(大阪基地)[平成24年8月分]

測定点		No.2		No.3		
項目		日平均値 (ng/m^3)	1時間値の 最高値 (ng/m^3)	日平均値 (ng/m^3)	1時間値の 最高値 (ng/m^3)	
日 別 値	3 (金)	0.016	0.031	0.014	0.038	
	4 (土)	0.013	0.025	0.008	0.023	
	5 (日)	0.011	0.037	0.010	0.017	
	6 (月)	0.013	0.033	0.017	0.038	
	7 (火)	0.011	0.021	0.015	0.028	
	8 (水)	0.009	0.025	0.011	0.020	
	9 (木)	0.018	0.039	0.018	0.038	
	有効測定日数 (日)		7		7	
	測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ng/m^3)		0.013		0.013		
日平均値の最高値 (ng/m^3)		0.018		0.018		
1時間値の最高値 (ng/m^3)		0.039		0.038		
1時間値が $0.20\text{ng}/\text{m}^3$ を 超えた時間数 (時間)		0		0		
日平均値が $0.10\text{ng}/\text{m}^3$ を 超えた日数 (日)		0		0		

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

浮遊粒子状物質測定結果(堺基地)[平成24年8月分]

測定点		No.1		No.2		
項目		日平均値 (ng/m^3)	1時間値の 最高値 (ng/m^3)	日平均値 (ng/m^3)	1時間値の 最高値 (ng/m^3)	
日 別 値	19 (日)	0.020	0.080	0.011	0.021	
	20 (月)	0.021	0.100	0.016	0.032	
	21 (火)	0.023	0.070	0.016	0.025	
	22 (水)	0.018	0.040	0.017	0.029	
	23 (木)	0.019	0.082	0.013	0.032	
	24 (金)	0.027	0.092	0.015	0.021	
	25 (土)	0.025	0.119	0.014	0.031	
	有効測定日数 (日)		7		7	
	測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ng/m^3)		0.022		0.014		
日平均値の最高値 (ng/m^3)		0.027		0.017		
1時間値の最高値 (ng/m^3)		0.119		0.032		
1時間値が $0.20\text{ng}/\text{m}^3$ を 超えた時間数 (時間)		0		0		
日平均値が $0.10\text{ng}/\text{m}^3$ を 超えた日数 (日)		0		0		

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

浮遊粒子状物質測定結果(泉大津基地)[平成24年8月分]

測定点		A		B		
項目		日平均値 (ng/m^3)	1時間値の 最高値 (ng/m^3)	日平均値 (ng/m^3)	1時間値の 最高値 (ng/m^3)	
日 別 値	19 (日)	0.015	0.030	0.010	0.025	
	20 (月)	0.017	0.036	0.010	0.022	
	21 (火)	0.018	0.031	0.011	0.020	
	22 (水)	0.020	0.044	0.011	0.020	
	23 (木)	0.019	0.046	0.010	0.021	
	24 (金)	0.017	0.033	0.012	0.021	
	25 (土)	0.019	0.037	0.010	0.020	
	有効測定日数 (日)		7		7	
	測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ng/m^3)		0.018		0.010		
日平均値の最高値 (ng/m^3)		0.020		0.012		
1時間値の最高値 (ng/m^3)		0.046		0.025		
1時間値が $0.20\text{ng}/\text{m}^3$ を 超えた時間数 (時間)		0		0		
日平均値が $0.10\text{ng}/\text{m}^3$ を 超えた日数 (日)		0		0		

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

気象観測結果(風向・風速)(大阪基地)[平成24年8月分]

測定点		No. 2				No. 3			
項目		風速			最多 風向 16方位	風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	3 (金)	2.4	3.4	ENE, ESE	ENE	1.5	2.4	NE	E
	4 (土)	3.5	5.1	ENE	ENE	2.2	3.0	E	E
	5 (日)	2.8	4.1	ENE	ENE	1.7	2.5	E	ENE
	6 (月)	2.2	4.2	SW	WSW	1.3	2.4	W	WSW
	7 (火)	2.4	4.5	N	N	1.3	2.3	NNE	NNE
	8 (水)	2.7	4.0	N	N	1.6	2.5	NNE	NNE
	9 (木)	2.1	4.1	WSW	N	1.1	2.3	WSW	NNE
有効測定日数 (日)		7				7			
測定時間 (時間)		168				168			
期間平均風速 (m/s)		2.6				1.5			
期間最大風速 (m/s)		5.1				3.0			
期間最多風向 (16方位)		ENE				ENE			

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

気象観測結果(風向・風速)(堺基地)[平成24年8月分]

測定点		No. 1				No. 2			
項目		風速			最多 風向 16方位	風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	19 (日)	0.8	2.4	SW	ESE	1.4	4.0	W	E
	20 (月)	0.8	1.9	SW	SW	1.7	3.5	W	W
	21 (火)	0.8	1.8	SW	WSW	1.9	4.0	W	E
	22 (水)	0.8	2.3	SW	WSW	1.9	5.0	W	ESE
	23 (木)	1.0	2.0	WSW, SW	ESE	1.7	4.1	W	ESE
	24 (金)	0.8	1.5	SSW	ESE	1.6	2.8	W	W
	25 (土)	0.8	1.6	SW	SW	1.7	3.6	W	W
有効測定日数 (日)		7				7			
測定時間 (時間)		168				168			
期間平均風速 (m/s)		0.8				1.7			
期間最大風速 (m/s)		2.4				5.0			
期間最多風向 (16方位)		ESE				W			

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

気象観測結果(風向・風速)(泉大津基地)[平成24年8月分]

測定点		A				B			
項目		風速			最多 風向 16方位	風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	19 (日)	2.6	6.1	W	E	1.8	4.5	SW	ESE
	20 (月)	2.7	6.1	WSW	E	1.7	2.5	E, NE, WSW	E
	21 (火)	2.7	6.0	W	W	1.5	3.1	SW	E
	22 (水)	2.9	5.6	W	ESE	1.4	2.6	NNW	S
	23 (木)	3.1	6.2	W	ESE	1.5	2.6	SW	E
	24 (金)	2.6	4.5	WSW	W	1.2	1.7	SSW	SSW
	25 (土)	3.2	5.8	W	W	1.3	2.2	SW	E
有効測定日数 (日)		7				7			
測定時間 (時間)		168				168			
期間平均風速 (m/s)		2.8				1.5			
期間最大風速 (m/s)		6.2				4.5			
期間最多風向 (16方位)		W				E			

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第16号（廃棄物搬入施設関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速（大阪基地）[平成24年8月分]

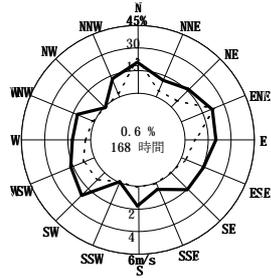
測定点：No.2

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	9	11	41	14	7	1	2	2	—	12	14	7	3	—	5	39	1	168
頻度 (%)	5.4	6.5	24.4	8.3	4.2	0.6	1.2	1.2	—	7.1	8.3	4.2	1.8	—	3.0	23.2	0.6	—
平均風速 (m/s)	1.7	2.3	3.1	2.9	2.3	2.2	0.7	1.8	—	2.9	2.3	1.7	1.7	—	1.8	2.8	0.1	—

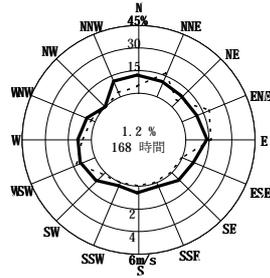
測定点：No.3

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	29	11	35	31	3	1	1	1	1	4	22	10	4	—	5	8	2	168
頻度 (%)	17.3	6.5	20.8	18.5	1.8	0.6	0.6	0.6	0.6	2.4	13.1	6.0	2.4	—	3.0	4.8	1.2	—
平均風速 (m/s)	1.5	1.4	1.6	2.1	1.3	1.1	0.5	0.7	0.4	1.1	1.4	1.2	0.8	—	1.5	1.6	0.2	—

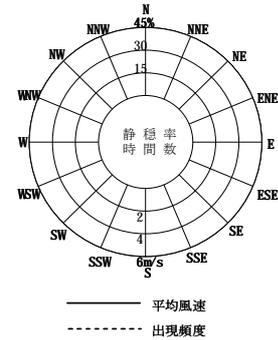
測定点：No.2



測定点：No.3



凡例



風配図（大阪基地）[平成24年8月分]

風向別出現頻度及び風向別平均風速（堺基地）[平成24年8月分]

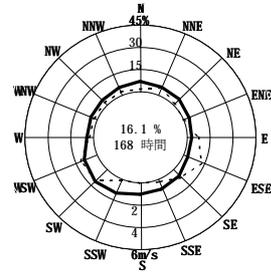
測定点：No.1

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	10	4	2	15	24	14	4	1	2	19	21	6	5	5	5	4	27	168
頻度 (%)	6.0	2.4	1.2	8.9	14.3	8.3	2.4	0.6	1.2	11.3	12.5	3.6	3.0	3.0	3.0	2.4	16.1	—
平均風速 (m/s)	0.9	0.9	0.7	0.6	0.6	0.9	1.0	1.1	1.4	1.6	1.3	0.7	0.7	0.7	0.8	1.0	0.2	—

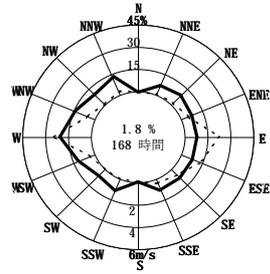
測定点：No.2

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	2	4	10	40	24	10	6	—	1	1	7	43	10	2	5	—	3	168
頻度 (%)	1.2	2.4	6.0	23.8	14.3	6.0	3.6	—	0.6	0.6	4.2	25.6	6.0	1.2	3.0	—	1.8	—
平均風速 (m/s)	1.0	1.3	1.1	1.2	1.2	1.2	1.1	—	1.2	0.9	1.7	2.9	2.0	1.4	1.8	—	0.3	—

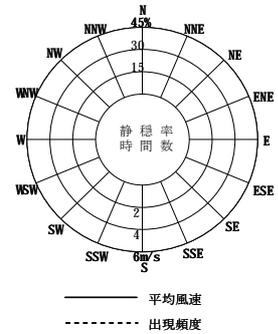
測定点：No.1



測定点：No.2



凡例



風配図（堺基地）[平成24年8月分]

風向別出現頻度及び風向別平均風速(泉大津基地)[平成24年8月分]

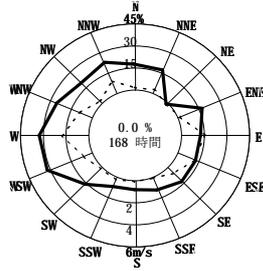
測定点:A

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	6	—	5	29	22	11	2	2	4	3	12	31	16	5	16	4	—	168
頻度 (%)	3.6	—	3.0	17.3	13.1	6.5	1.2	1.2	2.4	1.8	7.1	18.5	9.5	3.0	9.5	2.4	—	—
平均風速(m/s)	2.4	—	2.5	1.9	1.9	1.9	1.3	0.9	1.0	2.2	4.4	4.5	3.5	2.7	3.1	2.4	—	—

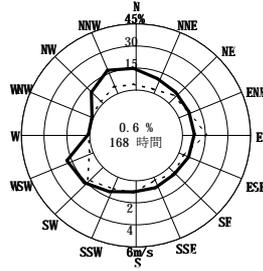
測定点:B

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	5	12	16	31	11	13	7	16	16	22	3	—	—	2	7	6	1	168
頻度 (%)	3.0	7.1	9.5	18.5	6.5	7.7	4.2	9.5	9.5	13.1	1.8	—	—	1.2	4.2	3.6	0.6	—
平均風速(m/s)	1.4	1.3	1.3	1.4	1.3	1.1	1.2	1.2	1.6	2.2	2.4	—	—	1.3	2.2	1.9	0.3	—

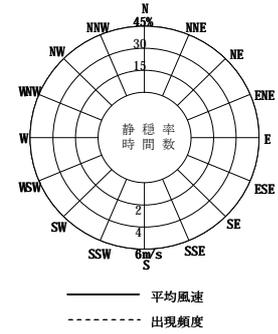
測定点:A



測定点:B



凡例



風配図(泉大津基地)[平成24年8月分]

交通量様式第1号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果総括表（大阪基地） [平成24年8月分]

調査日時：平成24年8月6日 8時～18時

調査地点	総交通量（台）				廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	
No. 1	3,999	8,702	12,701	29	0.2
No. 2	1,767	12,357	14,124	12	0.1
No. 3	—	—	—	—	—
No. 4	514	1,000	1,514	206	13.6

交通量調査結果総括表（堺基地） [平成24年8月分]

調査日時：平成24年8月22日 8時～18時

調査地点	総交通量（台）				廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	
No. 1	9,077	17,958	27,035	107	0.4
No. 2	4,056	11,730	15,786	12	0.1
No. 3	7,140	15,764	22,904	110	0.5
No. 4	276	140	416	320	76.9

交通量調査結果総括表（泉大津基地） [平成24年8月分]

調査日時：平成24年8月22日 8時～18時

調査地点	総交通量（台）				廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	
A	8,461	15,052	23,513	167	0.7
B	3,885	5,039	8,924	74	0.8
C	908	1,409	2,317	205	8.8

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（大阪基地） [平成24年8月分]

調査地点：No.1

調査日時：平成24年8月6日

時刻	中島方面						歌島橋方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	306	751	1,057	1	28.9	0.1	270	264	534	0	50.6	0.0	576	1,015	1,591	1	36.2	0.1
09:00	271	519	790	4	34.3	0.5	134	345	479	5	28.0	1.0	405	864	1,269	9	31.9	0.7
10:00	291	385	676	4	43.0	0.6	157	309	466	4	33.7	0.9	448	694	1,142	8	39.2	0.7
11:00	291	372	663	3	43.9	0.5	127	277	404	2	31.4	0.5	418	649	1,067	5	39.2	0.5
12:00	174	529	703	1	24.8	0.1	145	282	427	1	34.0	0.2	319	811	1,130	2	28.2	0.2
13:00	90	481	571	1	15.8	0.2	157	258	415	1	37.8	0.2	247	739	986	2	25.1	0.2
14:00	276	456	732	0	37.7	0.0	216	318	534	0	40.4	0.0	492	774	1,266	0	38.9	0.0
15:00	241	504	745	1	32.3	0.1	126	630	756	0	16.7	0.0	367	1,134	1,501	1	24.5	0.1
16:00	253	468	721	1	35.1	0.1	144	570	714	0	20.2	0.0	397	1,038	1,435	1	27.7	0.1
17:00	228	366	594	0	38.4	0.0	102	618	720	0	14.2	0.0	330	984	1,314	0	25.1	0.0
8:00～18:00	2,421	4,831	7,252	16	33.4	0.2	1,578	3,871	5,449	13	29.0	0.2	3,999	8,702	12,701	29	31.5	0.2

調査地点：No.2

調査日時：平成24年8月6日

時刻	中島方面						歌島橋方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	150	703	853	1	17.6	0.1	78	540	618	0	12.6	0.0	228	1,243	1,471	1	15.5	0.1
09:00	138	547	685	1	20.1	0.1	67	559	626	2	10.7	0.3	205	1,106	1,311	3	15.6	0.2
10:00	132	684	816	0	16.2	0.0	49	547	596	2	8.2	0.3	181	1,231	1,412	2	12.8	0.1
11:00	108	775	883	1	12.2	0.1	84	685	769	1	10.9	0.1	192	1,460	1,652	2	11.6	0.1
12:00	102	474	576	0	17.7	0.0	79	690	769	1	10.3	0.1	181	1,164	1,345	1	13.5	0.1
13:00	102	498	600	0	17.0	0.0	54	534	588	0	9.2	0.0	156	1,032	1,188	0	13.1	0.0
14:00	132	666	798	0	16.5	0.0	54	540	594	0	9.1	0.0	186	1,206	1,392	0	13.4	0.0
15:00	108	612	720	0	15.0	0.0	84	782	866	2	9.7	0.2	192	1,394	1,586	2	12.1	0.1
16:00	48	540	588	0	8.2	0.0	78	613	691	1	11.3	0.1	126	1,153	1,279	1	9.9	0.1
17:00	78	564	642	0	12.1	0.0	42	804	846	0	5.0	0.0	120	1,368	1,488	0	8.1	0.0
8:00～18:00	1,098	6,063	7,161	3	15.3	0.0	669	6,294	6,963	9	9.6	0.1	1,767	12,357	14,124	12	12.5	0.1

調査地点：No.4

調査日時：平成24年8月6日

時刻	海方面						国道43号方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	36	20	56	8	64.3	14.3	30	132	162	0	18.5	0.0	66	152	218	8	30.3	3.7
09:00	27	40	67	25	40.3	37.3	35	52	87	27	40.2	31.0	62	92	154	52	40.3	33.8
10:00	29	54	83	23	34.9	27.7	33	35	68	20	48.5	29.4	62	89	151	43	41.1	28.5
11:00	39	19	58	10	67.2	17.2	31	46	77	17	40.3	22.1	70	65	135	27	51.9	20.0
12:00	11	62	73	13	15.1	17.8	19	19	38	14	50.0	36.8	30	81	111	27	27.0	24.3
13:00	6	43	49	7	12.2	14.3	17	50	67	7	25.4	10.4	23	93	116	14	19.8	12.1
14:00	22	55	77	11	28.6	14.3	41	43	84	12	48.8	14.3	63	98	161	23	39.1	14.3
15:00	29	36	65	5	44.6	7.7	21	42	63	3	33.3	4.8	50	78	128	8	39.1	6.3
16:00	31	24	55	1	56.4	1.8	33	54	87	3	37.9	3.4	64	78	142	4	45.1	2.8
17:00	12	138	150	0	8.0	0.0	12	36	48	0	25.0	0.0	24	174	198	0	12.1	0.0
8:00～18:00	242	491	733	103	33.0	14.1	272	509	781	103	34.8	13.2	514	1,000	1,514	206	33.9	13.6

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（堺基地） [平成24年8月分]

調査地点：No.1

調査日時：平成24年8月22日

時刻	大阪方面						和歌山方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00	325	1,056	1,381	1	23.5	0.1	170	883	1,053	3	16.1	0.3	495	1,939	2,434	4	20.3	0.2
09:00	710	822	1,532	20	46.3	1.3	258	873	1,131	9	22.8	0.8	968	1,695	2,663	29	36.3	1.1
10:00	825	516	1,341	9	61.5	0.7	372	1,388	1,760	8	21.1	0.5	1,197	1,904	3,101	17	38.6	0.5
11:00	807	618	1,425	3	56.6	0.2	531	1,087	1,618	4	32.8	0.2	1,338	1,705	3,043	7	44.0	0.2
12:00	667	564	1,231	7	54.2	0.6	310	883	1,193	5	26.0	0.4	977	1,447	2,424	12	40.3	0.5
13:00	461	588	1,049	5	43.9	0.5	184	744	928	4	19.8	0.4	645	1,332	1,977	9	32.6	0.5
14:00	667	612	1,279	13	52.2	1.0	250	1,152	1,402	4	17.8	0.3	917	1,764	2,681	17	34.2	0.6
15:00	567	709	1,276	4	44.4	0.3	278	962	1,240	4	22.4	0.3	845	1,671	2,516	8	33.6	0.3
16:00	584	936	1,520	2	38.4	0.1	355	955	1,310	2	27.1	0.2	939	1,891	2,830	4	33.2	0.1
17:00	408	1,488	1,896	0	21.5	0.0	348	1,122	1,470	0	23.7	0.0	756	2,610	3,366	0	22.5	0.0
8:00～ 18:00	6,021	7,909	13,930	64	43.2	0.5	3,056	10,049	13,105	43	23.3	0.3	9,077	17,958	27,035	107	33.6	0.4

調査地点：No.2

調査日時：平成24年8月22日

時刻	国道26号方面						阪神高速方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00	210	408	618	0	34.0	0.0	252	636	888	0	28.4	0.0	462	1,044	1,506	0	30.7	0.0
09:00	204	492	696	0	29.3	0.0	241	648	889	1	27.1	0.1	445	1,140	1,585	1	28.1	0.1
10:00	205	468	673	1	30.5	0.1	240	636	876	0	27.4	0.0	445	1,104	1,549	1	28.7	0.1
11:00	224	528	752	2	29.8	0.3	259	570	829	1	31.2	0.1	483	1,098	1,581	3	30.6	0.2
12:00	152	444	596	2	25.5	0.3	240	612	852	0	28.2	0.0	392	1,056	1,448	2	27.1	0.1
13:00	177	582	759	3	23.3	0.4	216	540	756	0	28.6	0.0	393	1,122	1,515	3	25.9	0.2
14:00	138	690	828	0	16.7	0.0	205	534	739	1	27.7	0.1	343	1,224	1,567	1	21.9	0.1
15:00	258	606	864	0	29.9	0.0	174	540	714	0	24.4	0.0	432	1,146	1,578	0	27.4	0.0
16:00	174	732	906	0	19.2	0.0	187	672	859	1	21.8	0.1	361	1,404	1,765	1	20.5	0.1
17:00	180	822	1,002	0	18.0	0.0	120	570	690	0	17.4	0.0	300	1,392	1,692	0	17.7	0.0
8:00～ 18:00	1,922	5,772	7,694	8	25.0	0.1	2,134	5,958	8,092	4	26.4	0.0	4,056	11,730	15,786	12	25.7	0.1

調査地点：No.3

調査日時：平成24年8月22日

時刻	和歌山方面						大阪方面						合計					
	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	廃棄物輸送車混入率(%)	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	廃棄物輸送車混入率(%)	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	廃棄物輸送車混入率(%)
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	380	834	1,214	2	31.3	0.2	219	1,927	2,146	4	10.2	0.2	599	2,761	3,360	6	17.8	0.2
09:00	547	516	1,063	7	51.5	0.7	345	1,081	1,426	10	24.2	0.7	892	1,597	2,489	17	35.8	0.7
10:00	547	445	992	8	55.1	0.8	367	667	1,034	8	35.5	0.8	914	1,112	2,026	16	45.1	0.8
11:00	431	632	1,063	13	40.5	1.2	342	488	830	8	41.2	1.0	773	1,120	1,893	21	40.8	1.1
12:00	361	560	921	3	39.2	0.3	482	480	962	2	50.1	0.2	843	1,040	1,883	5	44.8	0.3
13:00	214	691	905	5	23.6	0.6	407	480	887	5	45.9	0.6	621	1,171	1,792	10	34.7	0.6
14:00	273	678	951	9	28.7	0.9	353	739	1,092	6	32.3	0.5	626	1,417	2,043	15	30.6	0.7
15:00	518	564	1,082	8	47.9	0.7	312	781	1,093	7	28.5	0.6	830	1,345	2,175	15	38.2	0.7
16:00	427	835	1,262	2	33.8	0.2	237	720	957	3	24.8	0.3	664	1,555	2,219	5	29.9	0.2
17:00	294	1,608	1,902	0	15.5	0.0	84	1,038	1,122	0	7.5	0.0	378	2,646	3,024	0	12.5	0.0
8:00~18:00	3,992	7,363	11,355	57	35.2	0.5	3,148	8,401	11,549	53	27.3	0.5	7,140	15,764	22,904	110	31.2	0.5

調査地点：No.4

調査日時：平成24年8月22日

時刻	フェニックス方面						堺方面						合計					
	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	廃棄物輸送車混入率(%)	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	廃棄物輸送車混入率(%)	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	廃棄物輸送車混入率(%)
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	12	14	26	14	46.2	53.8	0	0	0	0	0.0	0.0	12	14	26	14	46.2	53.8
09:00	27	3	30	30	90.0	100	39	5	44	44	88.6	100	66	8	74	74	89.2	100
10:00	22	5	27	21	81.5	77.8	20	5	25	19	80.0	76.0	42	10	52	40	80.8	76.9
11:00	14	5	19	19	73.7	100	11	11	22	16	50.0	72.7	25	16	41	35	61.0	85.4
12:00	20	3	23	23	87.0	100	19	4	23	23	82.6	100	39	7	46	46	84.8	100
13:00	18	23	41	23	43.9	56.1	19	22	41	23	46.3	56.1	37	45	82	46	45.1	56.1
14:00	13	9	22	16	59.1	72.7	12	7	19	13	63.2	68.4	25	16	41	29	61.0	70.7
15:00	12	1	13	13	92.3	100	17	9	26	20	65.4	76.9	29	10	39	33	74.4	84.6
16:00	0	7	7	1	0.0	14.3	1	7	8	2	12.5	25.0	1	14	15	3	6.7	20.0
17:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8:00~18:00	138	70	208	160	66.3	76.9	138	70	208	160	66.3	76.9	276	140	416	320	66.3	76.9

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（泉大津基地）〔平成24年8月分〕

調査地点：A

調査日時：平成24年8月22日

時刻	大阪方面						和歌山方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	283	1,309	1,592	2	17.8	0.1	301	889	1,190	8	25.3	0.7	584	2,198	2,782	10	21.0	0.4
09:00	532	684	1,216	10	43.8	0.8	460	564	1,024	10	44.9	1.0	992	1,248	2,240	20	44.3	0.9
10:00	523	638	1,161	9	45.0	0.8	558	629	1,187	11	47.0	0.9	1,081	1,267	2,348	20	46.0	0.9
11:00	466	597	1,063	13	43.8	1.2	605	720	1,325	17	45.7	1.3	1,071	1,317	2,388	30	44.8	1.3
12:00	433	679	1,112	8	38.9	0.7	386	694	1,080	6	35.7	0.6	819	1,373	2,192	14	37.4	0.6
13:00	416	534	950	8	43.8	0.8	401	516	917	11	43.7	1.2	817	1,050	1,867	19	43.8	1.0
14:00	479	661	1,140	12	42.0	1.1	491	739	1,230	12	39.9	1.0	970	1,400	2,370	24	40.9	1.0
15:00	392	727	1,119	9	35.0	0.8	462	781	1,243	13	37.2	1.0	854	1,508	2,362	22	36.2	0.9
16:00	385	990	1,375	7	28.0	0.5	390	859	1,249	1	31.2	0.1	775	1,849	2,624	8	29.5	0.3
17:00	204	852	1,056	0	19.3	0.0	294	990	1,284	0	22.9	0.0	498	1,842	2,340	0	21.3	0.0
8:00～18:00	4,113	7,671	11,784	78	34.9	0.7	4,348	7,381	11,729	89	37.1	0.8	8,461	15,052	23,513	167	36.0	0.7

調査地点：B

調査日時：平成24年8月22日

時刻	泉北方面						助松JCT方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	162	162	324	0	50.0	0.0	178	588	766	4	23.2	0.5	340	750	1,090	4	31.2	0.4
09:00	153	198	351	3	43.6	0.9	252	253	505	7	49.9	1.4	405	451	856	10	47.3	1.2
10:00	217	230	447	3	48.5	0.7	303	139	442	10	68.6	2.3	520	369	889	13	58.5	1.5
11:00	200	165	365	11	54.8	3.0	330	145	475	7	69.5	1.5	530	310	840	18	63.1	2.1
12:00	176	229	405	3	43.5	0.7	234	222	456	0	51.3	0.0	410	451	861	3	47.6	0.3
13:00	194	240	434	2	44.7	0.5	207	235	442	4	46.8	0.9	401	475	876	6	45.8	0.7
14:00	254	228	482	2	52.7	0.4	191	320	511	7	37.4	1.4	445	548	993	9	44.8	0.9
15:00	151	276	427	1	35.4	0.2	177	260	437	5	40.5	1.1	328	536	864	6	38.0	0.7
16:00	122	273	395	5	30.9	1.3	192	294	486	0	39.5	0.0	314	567	881	5	35.6	0.6
17:00	96	372	468	0	20.5	0.0	96	210	306	0	31.4	0.0	192	582	774	0	24.8	0.0
8:00～18:00	1,725	2,373	4,098	30	42.1	0.7	2,160	2,666	4,826	44	44.8	0.9	3,885	5,039	8,924	74	43.5	0.8

調査地点：C

調査日時：平成24年8月22日

時刻	フェニックス方面						泉大津方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	30	79	109	13	27.5	11.9	6	12	18	0	33.3	0.0	36	91	127	13	28.3	10.2
09:00	18	76	94	10	19.1	10.6	52	28	80	20	65.0	25.0	70	104	174	30	40.2	17.2
10:00	85	176	261	15	32.6	5.7	71	74	145	13	49.0	9.0	156	250	406	28	38.4	6.9
11:00	89	125	214	16	41.6	7.5	56	70	126	18	44.4	14.3	145	195	340	34	42.6	10.0
12:00	57	51	108	6	52.8	5.6	47	69	116	8	40.5	6.9	104	120	224	14	46.4	6.3
13:00	37	81	118	16	31.4	13.6	32	43	75	15	42.7	20.0	69	124	193	31	35.8	16.1
14:00	86	74	160	16	53.8	10.0	60	121	181	13	33.1	7.2	146	195	341	29	42.8	8.5
15:00	56	74	130	10	43.1	7.7	38	45	83	11	45.8	13.3	94	119	213	21	44.1	9.9
16:00	31	24	55	1	56.4	1.8	39	73	112	4	34.8	3.6	70	97	167	5	41.9	3.0
17:00	6	18	24	0	25.0	0.0	12	96	108	0	11.1	0.0	18	114	132	0	13.6	0.0
8:00～18:00	495	778	1,273	103	38.9	8.1	413	631	1,044	102	39.6	9.8	908	1,409	2,317	205	39.2	8.8

悪臭調査結果 (大阪基地) [平成24年8月分]

調査日：平成24年8月6日

調査項目		調査地点	
		No. 5(風上)	No. 6(風下)
気象	天候	晴	晴
	気温(℃)	32.8	32.5
	湿度(%)	64	59
	風向	南西～南南西	南南東～南南西
	風速(m/s)	<0.4	<0.4
臭気強度		0	0
臭気指数		<10	<10
臭質		無臭	無臭

悪臭調査結果 (堺基地) [平成24年8月分]

調査日：平成24年8月21日

調査項目		調査地点	
		No. 5(風下)	No. 6(風上)
気象	天候	晴	晴
	気温(℃)	33.6	35.6
	湿度(%)	54	49
	風向	西～南西	北西～西
	風速(m/s)	1.1	0.4
臭気強度		0	0
臭気指数		<10	<10
臭質		無臭	無臭

悪臭調査結果 (泉大津基地) [平成24年8月分]

調査日：平成24年8月20日

調査項目		調査地点	
		D1(風上)	D2(風下)
気象	天候	晴	晴
	気温(℃)	34.7	34.9
	湿度(%)	52	49
	風向	北西～西	北西～西
	風速(m/s)	1.3	0.7
臭気強度		0	0
臭気指数		<10	<10
臭質		無臭	無臭

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成 24 年 8 月分②)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 7
3. 調査結果の概要	I - 8

II 事後調査結果

1. 水質	II - 1
2. 底質	II - 7
3. 悪臭	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 24 年 8 月の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

埋立地周辺における調査

表-1 (1) 事後調査の概要 (平成 24 年 8 月分②)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(2) 表-1(4)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●健康項目等 カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 ほう素 ふっ素 アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物) 1,4-ジオキサン	放流水 1点 内水 1点 (処理原水) 護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	放流水、内水 8月7日 護岸外周 8月8日	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
ダイオキシン類	1,4-ジオキサンは護岸外周のみ調査 ダイオキシン類は上層のみ調査	放流水 8月7日 内水 8月7日 護岸外周 8月8日	放流水 4回/年 (5月、8月、11月、2月) 内水 2回/年 (8月、2月) 護岸外周 1回/年 (8月)

②-2 処分場周辺 表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m) 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	8月8日	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機磷 1,4-ジオキサン		8月8日	2回/年 (8月、2月)

(3)底質

①一般項目 表-1(3)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	8月8日	2回/年 (8月、2月)

②廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺) 表-1(4)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	1点(表層土) 【15】	8月8日	2回/年 (8月、2月)
●有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル バナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン			

(5) 悪臭 表-1(5)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	8月21日	2回/年 (8月、9月)

(6) 陸域生態系(鳥類) 表-1(6)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 【a、b、c、d】	実施年に該当せず	4回/年(2年おきに実施) (5月、6月、8月、2月)

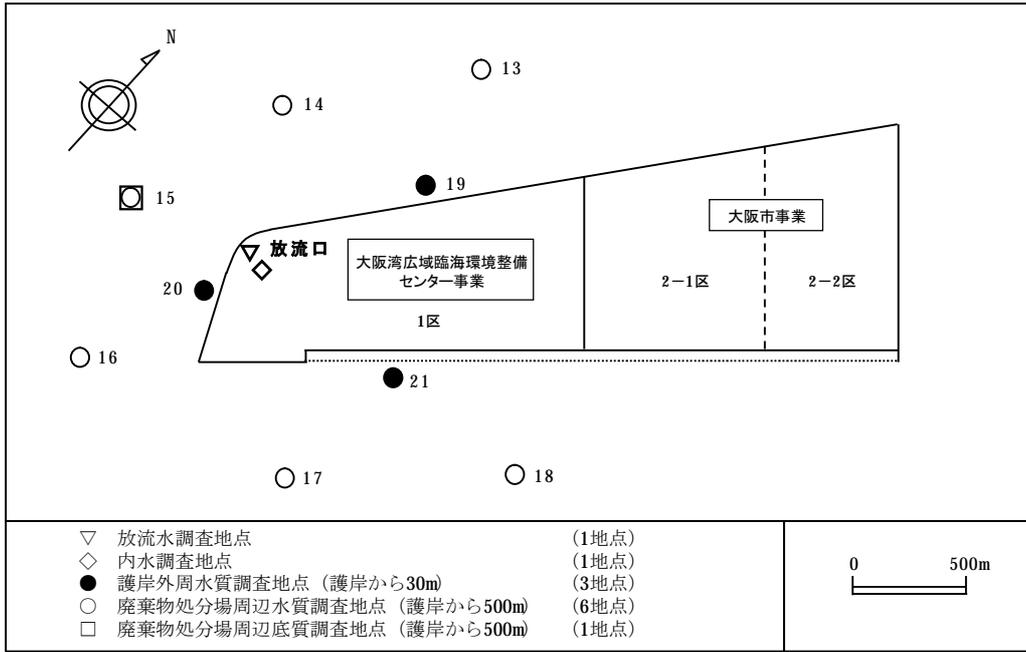


図-1(1) 水質・底質の調査地点(埋立中:放流水、内水及び護岸外周) (平成24年8月分②)

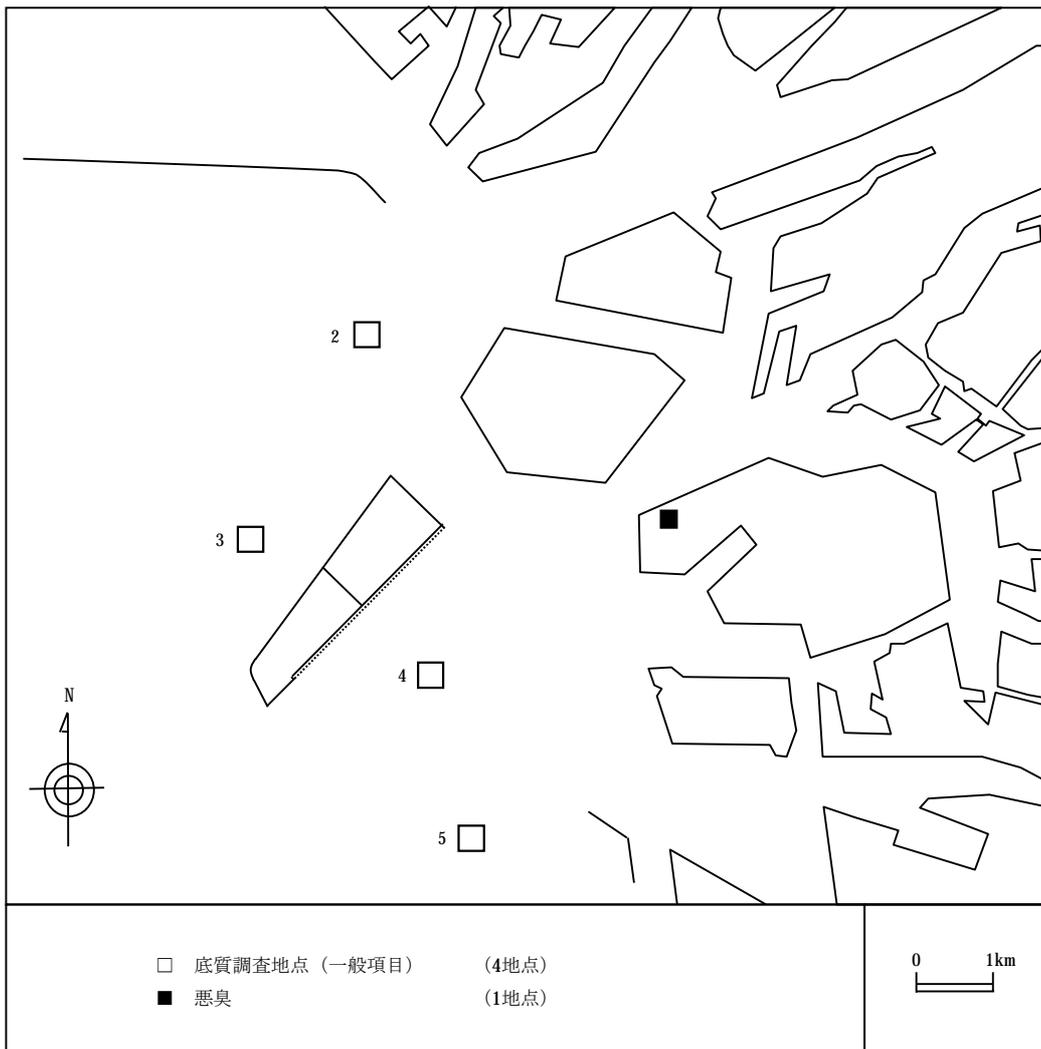
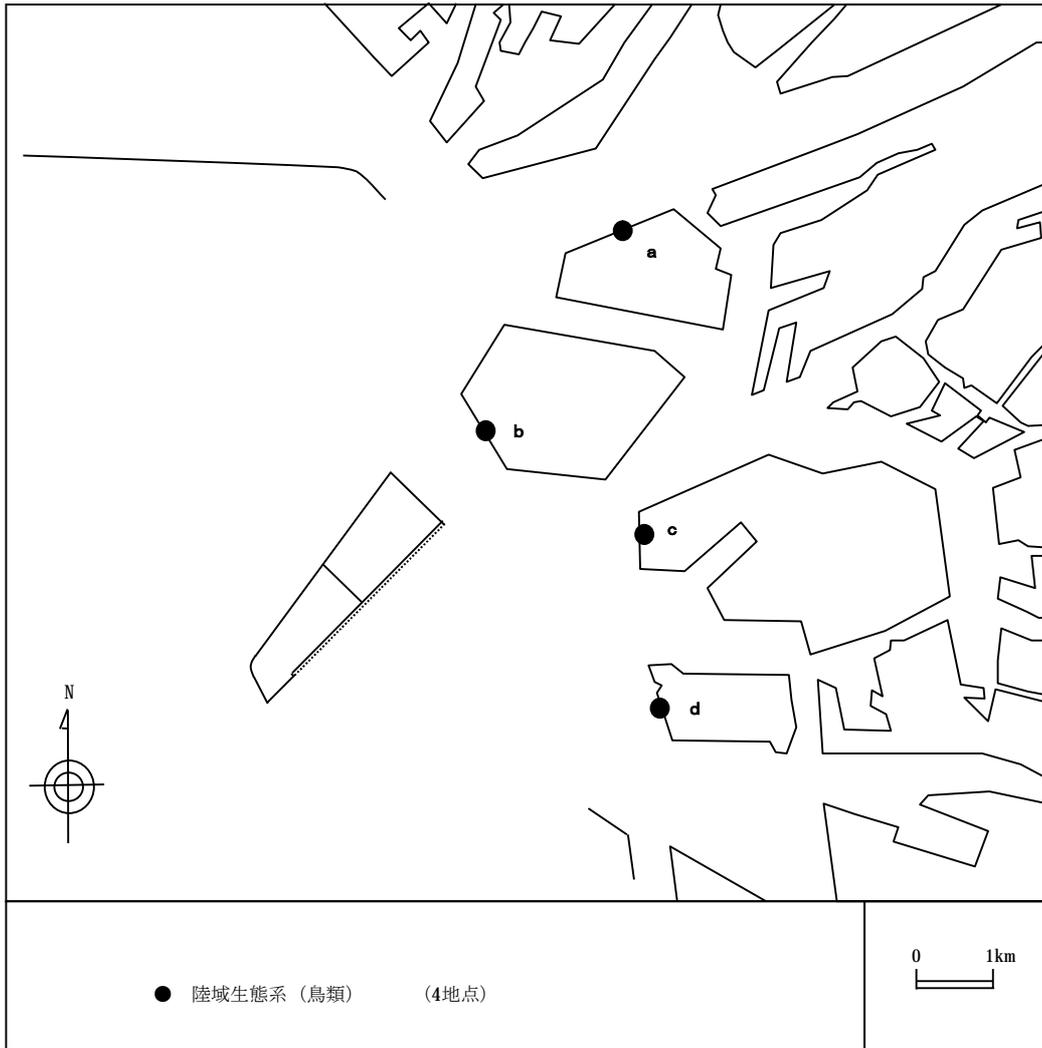


図-1(2) 底質(一般項目)・悪臭の調査地点 (平成24年8月分②)



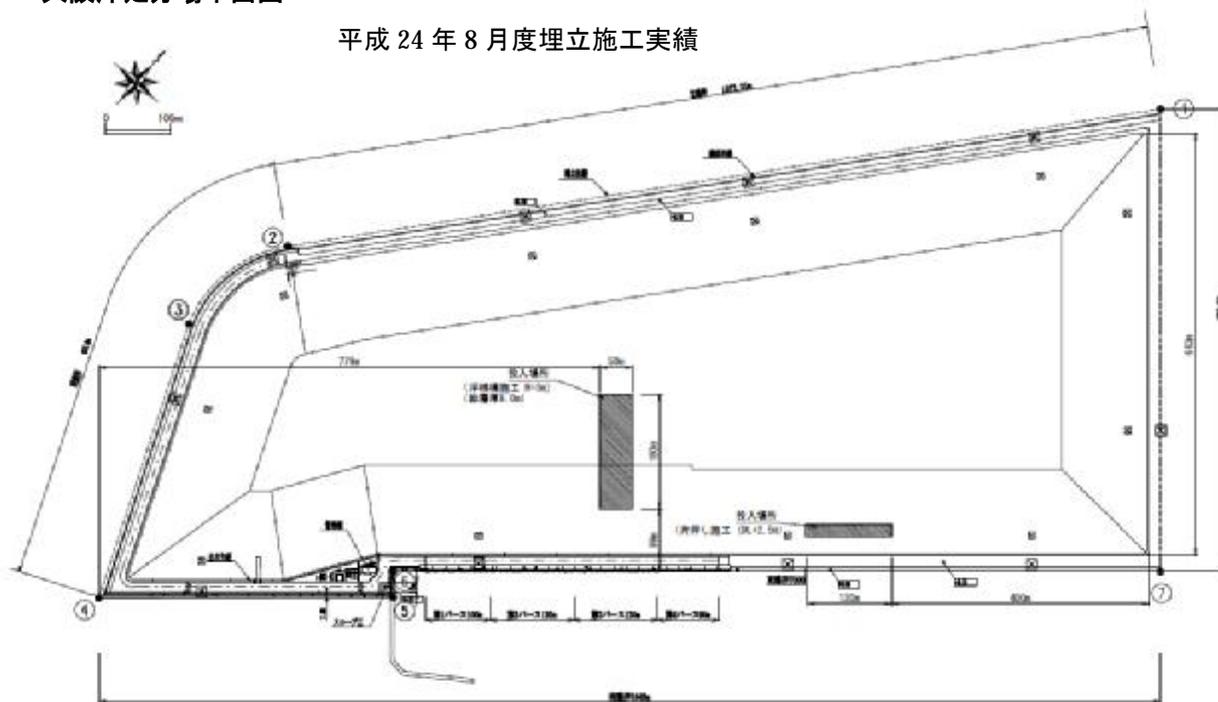
図一(3) 陸域生態系(鳥類)の調査地点 (平成 24 年 8 月分②)

※平成 24 年度は実施年(2 年おきに実施)に該当せず

2. 工事の実施状況

平成 24 年 8 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量(m ³)	進捗率(%)
1,822,585	13.0

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 24 年 8 月)

3. 調査結果の概要

(1) 水質（放流水、内水及び護岸外周） [水質様式第 11、13～15 号]

1)放流水

砒素は **0.008mg/L** であった。

亜鉛は **0.15mg/L** であった。

溶解性鉄は **0.03mg/L** であった。

陰イオン界面活性剤は **0.10mg/L** であった。

ほう素は **12mg/L** であった。

ふっ素は **5.4mg/L** であった。

アンモニア等（アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物）は **1.2mg/L** であった。

ダイオキシン類は **0.00031pg-TEQ/L** であった。

上記以外の調査項目については、いずれも報告下限値未満であった。

放流水の基準値の定められている項目は、いずれも基準値以下であった。

2)内水

砒素は **0.007mg/L** であった。

亜鉛は **0.06mg/L** であった。

陰イオン界面活性剤は **0.11mg/L** であった。

ほう素は **12mg/L** であった。

ふっ素は **5.6mg/L** であった。

アンモニア等（アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物）は **0.4mg/L** であった。

ダイオキシン類は **0.00016pg-TEQ/L** であった。

上記以外の調査項目については、いずれも報告下限値未満であった。

2)護岸外周

砒素は上層で **0.001～0.002mg/L**、下層で **0.001mg/L** の範囲であった。

銅は上層で **0.006～0.009mg/L**、下層で **0.005～0.007mg/L** の範囲であった。

亜鉛は上層で **0.006～0.024mg/L**、下層で **0.006～0.018mg/L** の範囲であった。

ほう素は上層で **2.5～3.1mg/L**、下層で **3.3～3.6mg/L** の範囲であった。

ふっ素は上層で **0.8～0.9mg/L**、下層で **0.9～1.0mg/L** の範囲であった。

アンモニア等（アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物）は上層で **0.09～0.11mg/L**、下層で **0.11～0.14mg/L** の範囲であった。

ダイオキシン類は **0.061～0.085 pg-TEQ/L** であった。

上記以外の調査項目については、いずれも報告下限値未満であった。

環境基準値等の定められている項目は、全調査地点における上層、下層共に、いずれも基準値以下であった。

(2) 水質 (処分場周辺) [水質様式第 17、18 号]

砒素は上層で **0.001mg/L**、下層で **0.001~0.002mg/L** の範囲であった。

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は上層で報告下限値未満 (**<0.08mg/L**) ~**0.16mg/L**、下層で **0.08~0.10mg/L** の範囲であった。

銅は上層で報告下限値未満 (**<0.005mg/L**) ~**0.006mg/L**、下層で報告下限値未満 (**<0.005mg/L**) ~**0.009mg/L** の範囲であった。

亜鉛は上層で **0.006~0.014mg/L**、下層で **0.005~0.013mg/L** の範囲であった。

溶解性マンガンは上層、下層共に報告下限値未満 (**<0.01mg/L**) ~**0.01mg/L** であった。

上記以外の調査項目については、いずれも報告下限値未満であった。

環境基準値等の定められている項目は、全調査地点における上層、下層ともに、いずれも基準値以下であった。

(3) 底質 [底質様式第 1、2 号]

1) 一般項目

化学的酸素要求量(COD)は **23~29mg/g** 乾泥、硫化物はいずれも **0.4mg/g** 乾泥、全窒素(T-N)は **1.9~2.1mg/g** 乾泥、全燐(T-P)は **0.43~0.58mg/g** 乾泥の範囲であった。

2) 処分場周辺

化学的酸素要求量(COD)は **23mg/g** 乾泥、硫化物は **0.6mg/g** 乾泥、全窒素(T-N)は **2.1mg/g** 乾泥、全燐(T-P)は **0.58mg/g** 乾泥であった。

総水銀は **0.91mg/kg** 乾泥、PCB は **0.02mg/kg** 乾泥であり、いずれも環境保全目標値 (総水銀 **25mg/kg** 乾泥、PCB **10mg/kg** 乾泥) を下回っていた。

(4) 悪臭 [悪臭様式第 1 号]

特定悪臭物質はいずれも報告下限値未満であった。

臭気強度は **0** であった。

臭気指数は **10** 未満であり、規制基準値 (**10**) を下回っていた。

臭質は無臭であった。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 水質

①水質（処分場周辺）

調査項目	基準値	環境保全目標値 ^{注)}	報告下限値
カドミウム	0.01mg/L以下		0.001mg/L
全シアン	検出されないこと		0.1mg/L
鉛	0.01mg/L以下		0.002mg/L
六価クロム	0.05mg/L以下		0.01mg/L
砒素	0.01mg/L以下		0.001mg/L
総水銀	0.0005mg/L以下		0.0005mg/L
アルキル水銀	検出されないこと		0.0005mg/L
P C B	検出されないこと		0.0005mg/L
ジクロロメタン	0.02mg/L以下		0.002mg/L
四塩化炭素	0.002mg/L以下		0.0002mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下		0.0004mg/L
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下		0.002mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下		0.004mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下		0.0005mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下		0.0006mg/L
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下		0.002mg/L
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下		0.0005mg/L
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下		0.0002mg/L
チウラム	0.006mg/L以下		0.0006mg/L
シマジン	0.003mg/L以下		0.0003mg/L
チオベンカルブ	0.02mg/L以下		0.002mg/L
ベンゼン	0.01mg/L以下		0.001mg/L
セレン	0.01mg/L以下		0.002mg/L
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下		0.08mg/L
フェノール類	—	0.01mg/L以下	0.005mg/L
銅	—	0.02mg/L以下	0.005mg/L
亜鉛	—	0.1mg/L以下	0.001mg/L
溶解性鉄		—	0.08mg/L
溶解性マンガン		—	0.01mg/L
全クロム	—	1.0mg/L以下	0.03mg/L
陰イオン界面活性剤	—	0.1mg/L以下	0.01mg/L
有機燐		—	0.1mg/L
1,4-ジオキサン		0.05mg/L以下	0.005mg/L

注) 環境保全目標値は、「大阪湾の水質等に係る環境保全目標（大阪府）」を示す。

2. 規制基準等

(1) 水質

①水質（健康項目・放流水）

調査項目	基準値 ^{注1)}	管理目標値 ^{注2)}	報告下限値
カドミウム	0.1mg/L以下		0.005mg/L
全シアン	1mg/L以下		0.025mg/L
鉛	0.1mg/L以下		0.01mg/L
六価クロム	0.5mg/L以下		0.02mg/L
砒素	0.1mg/L以下		0.005mg/L
総水銀	0.005mg/L以下		0.0005mg/L
アルキル水銀	検出されないこと		0.0005mg/L
P C B	0.003mg/L以下		0.0005mg/L
ジクロロメタン	0.2mg/L以下		0.002mg/L
四塩化炭素	0.02mg/L以下		0.002mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.04mg/L以下		0.002mg/L
1,1-ジクロロエチレン	0.2mg/L以下		0.002mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/L以下		0.002mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	3mg/L以下		0.002mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/L以下		0.002mg/L
トリクロロエチレン	0.3mg/L以下		0.002mg/L
テトラクロロエチレン	0.1mg/L以下		0.002mg/L
1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/L以下		0.002mg/L
チウラム	0.06mg/L以下		0.006mg/L
シマジン	0.03mg/L以下		0.003mg/L
チオベンカルブ	0.2mg/L以下		0.02mg/L
ベンゼン	0.1mg/L以下		0.002mg/L
セレン	0.1mg/L以下		0.005mg/L
フェノール類	5mg/L以下		0.025mg/L
銅	3mg/L以下		0.02mg/L
亜鉛	2mg/L以下		0.02mg/L
溶解性鉄	10mg/L以下		0.02mg/L
溶解性マンガン	10mg/L以下		0.01mg/L
全クロム	2mg/L以下		0.02mg/L
陰イオン界面活性剤		—	0.01mg/L
有機燐	1mg/L以下		0.05mg/L
ほう素	230mg/L以下		0.01mg/L
ふっ素	15mg/L以下		0.1mg/L
アンモニア等 ^{注3)}	200mg/L以下	100mg/L以下	0.3mg/L
ダイオキシン類	10pg-TEQ/L以下		JIS K 0312による。

注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一（ダイオキシン類については、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則別表第二）より抜粋。

2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

3. 「アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸性化合物及び硝酸化合物」を示す。

排水基準値は、アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量が200mg/L以下であることを示す。なお、各測定値のいずれもが報告下限値未満（<0.1mg/L）の場合、合計値は報告下限値未満（<0.3mg/L）とする。各測定値のいずれかが報告下限値以上の場合は、報告下限値未満の測定値については、報告下限値を測定値として合算を行う。

②水質（護岸外周）

調査項目	基準値 ^{注1)}	環境保全目標値 ^{注2)}	報告下限値
カドミウム (Cd)	0.01mg/L以下		0.001mg/L
全シアン (CN)	検出されないこと		0.1mg/L
鉛 (Pb)	0.01mg/L以下		0.002mg/L
六価クロム (Cr6+)	0.05mg/L以下		0.01mg/L
砒素 (As)	0.01mg/L以下		0.001mg/L
総水銀 (T-Hg)	0.0005mg/L以下		0.0005mg/L
アルキル水銀	検出されないこと		0.0005mg/L
P C B	検出されないこと		0.0005mg/L
ジクロロメタン	0.02mg/L以下		0.002mg/L
四塩化炭素	0.002mg/L以下		0.0002mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下		0.0004mg/L
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下		0.002mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下		0.004mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下		0.0005mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下		0.0006mg/L
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下		0.002mg/L
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下		0.0005mg/L
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下		0.0002mg/L
チウラム	0.006mg/L以下		0.0006mg/L
シマジン	0.003mg/L以下		0.0003mg/L
チオベンカルブ	0.02mg/L以下		0.002mg/L
ベンゼン	0.01mg/L以下		0.001mg/L
セレン (Se)	0.01mg/L以下		0.002mg/L
フェノール類	—	0.01mg/L以下	0.005mg/L
銅 (Cu)	—	0.02mg/L以下	0.005mg/L
亜鉛 (Zn)	—	0.1mg/L以下	0.001mg/L
溶解性鉄 (sol-Fe)		—	0.08mg/L
溶解性マンガン (sol-Mn)		—	0.01mg/L
全クロム (T-Cr)	—	1.0mg/L以下	0.03mg/L
陰イオン界面活性剤 (MBAS)	—	0.1mg/L以下	0.01mg/L
有機リン		—	0.1mg/L
ほう素	海域については基準値は適用しない		0.1mg/L
ふっ素 (F)	海域については基準値は適用しない		0.1mg/L
アンモニア等 ^{注3)}		—	0.09mg/L
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下		0.005mg/L
ダイオキシン類	1pg-TEQ/L以下		JIS K 0312による

注) 1. 護岸外周の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第二（ほう素、ふっ素、1,4-ジオキサン及びダイオキシン類については環境基準）より抜粋。

2. 環境保全目標値は、「大阪湾の水質等に係る環境保全目標（大阪府）」を示す。

3. 「アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸性化合物及び硝酸化合物」を示す。

測定結果は、アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量とし、各測定値のいずれもが報告下限値未満（アンモニア性窒素：<0.01mg/L、亜硝酸性窒素：<0.04mg/L、硝酸性窒素：<0.04mg/L）の場合、合計値は報告下限値未満（<0.09mg/L）とする。各測定値のいずれかが報告下限値以上の場合、報告下限値未満の測定値については、報告下限値を測定値として合算を行う。

(2) 底質

調査項目	環境保全目標値 ^{注)1}	報告下限値
総水銀	(25mg/kg乾泥) ^{注)2}	0.01mg/kg乾泥
PCB	10mg/kg乾泥	0.01mg/kg乾泥

注) 1. 大阪湾の水質等に係る環境保全目標；大阪府

2. 大阪府では、「底質の暫定除去基準について」（昭和50年10月28日環水管第119号水質保全局長通知）に定める基準に該当しないこととしており、本通知に定められている水銀を含む底質の暫定除去基準等は、海域においては次式により算出した値（C）以上とし、河川及び湖沼においては25ppm以上とされているが、ここでは、河川及び湖沼の値25ppmを準用することとする。

$$C = 0.18 \times \frac{\Delta H}{J} \times \frac{1}{S} \text{ (ppm)} \quad \left\{ \begin{array}{l} \Delta H = \text{平均潮差 (m)} \\ J = \text{溶出率} \\ S = \text{安全率} \end{array} \right.$$

(3) 悪臭

項目	基準値
臭気指数	敷地境界線における規制基準：10 規制地域：大阪市の区域 ^{注1)} 、堺市の区域 ^{注2)} (泉大津市については、指導指針値 ^{注3)} の取り扱いである。)

注1：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；大阪市（平成18年1月告示）

注2：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；堺市（平成19年11月告示）

注3：泉大津市悪臭公害防止指導要綱；泉大津市（昭和59年3月公布）

※ なお、大阪府の大气環境に関する環境保全目標では、悪臭については「大部分の地域住民が日常生活において感知しない程度」となっている。

II 事後調查結果

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水④） [平成24年8月分]

調査日：平成24年8月7日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	11:00	10:40
カドミウム [mg/L]	<0.005	<0.005
全シアン [mg/L]	<0.025	<0.025
鉛 [mg/L]	<0.01	<0.01
六価クロム [mg/L]	<0.02	<0.02
砒素 [mg/L]	0.008	0.007
総水銀 [mg/L]	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 [mg/L]	<0.0005	<0.0005
PCB [mg/L]	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン [mg/L]	<0.002	<0.002
四塩化炭素 [mg/L]	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,1-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,1,1-トリクロロエタン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,1,2-トリクロロエタン [mg/L]	<0.002	<0.002
トリクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,3-ジクロロプロペン [mg/L]	<0.002	<0.002
チウラム [mg/L]	<0.006	<0.006
シマジン [mg/L]	<0.003	<0.003
チオベンカルブ [mg/L]	<0.02	<0.02
ベンゼン [mg/L]	<0.002	<0.002
セレン [mg/L]	<0.005	<0.005

項目	区分	
	放流水	内水
フェノール類 [mg/L]	<0.025	<0.025
銅 [mg/L]	<0.02	<0.02
亜鉛 [mg/L]	0.15	0.06
溶解性鉄 [mg/L]	0.03	<0.02
溶解性マンガン [mg/L]	<0.01	<0.01
全クロム [mg/L]	<0.02	<0.02
陰イオン界面活性剤 [mg/L]	0.10	0.11
有機燐 [mg/L]	<0.05	<0.05
ほう素 [mg/L]	12	12
ふっ素 [mg/L]	5.4	5.6
アンモニウム、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	1.2	0.4
アンモニア性窒素×0.4 [mg/L]	<0.02	0.16
亜硝酸性窒素 [mg/L]	<0.01	0.01
硝酸性窒素 [mg/L]	1.2	0.21
ダイキシン類 [pg-TEQ/L]	0.00031	0.00016

特記事項

水質調査結果（埋立中の濁り等監視－廃棄物処分場護岸外周②） [平成24年8月分]

調査日：平成24年8月8日

項目	調査点			最小値	～	最大値	平均値
	19	20	21				
時刻	10: 10	10: 40	11: 35	—			—
カドミウム [mg/L]	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	～	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001
全シアン [mg/L]	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	～	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1
鉛 [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
六価クロム [mg/L]	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	～	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01
砒素 [mg/L]	0.002 0.001	0.001 0.001	0.001 0.001	0.001 0.001	～	0.002 0.001	0.001 0.001
総水銀 [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	～	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005
アルキル水銀 [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	～	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005
PCB [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	～	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005
ジクロロメタン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
四塩化炭素 [mg/L]	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	～	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002
1,2-ジクロロエタン [mg/L]	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	～	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004
1,1-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	～	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004
1,1,1-トリクロロエタン [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	～	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005
1,1,2-トリクロロエタン [mg/L]	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	～	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006
トリクロロエチレン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
テトラクロロエチレン [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	～	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005
1,3-ジクロロプロペン [mg/L]	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	～	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002
チウラム [mg/L]	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	～	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006
シマジン [mg/L]	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	～	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003
チオヘンカルブ [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
ベンゼン [mg/L]	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	～	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001
セレン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

項目	調査点			最小値	～	最大値	平均値
	19	20	21				
時刻	10:10	10:40	11:35		—		—
フェノール類 [mg/L]	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	～	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005
銅 [mg/L]	0.007 0.005	0.009 0.007	0.006 0.005	0.006 0.005	～	0.009 0.007	0.007 0.006
亜鉛 [mg/L]	0.024 0.018	0.018 0.017	0.006 0.006	0.006 0.006	～	0.024 0.018	0.016 0.014
溶解性鉄 [mg/L]	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	～	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08
溶解性マンガン [mg/L]	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	～	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01
全クロム [mg/L]	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	～	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03
陰イオン界面活性剤 [mg/L]	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	～	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01
有機燐 [mg/L]	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	～	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1
ほう素 [mg/L]	2.9 3.4	2.5 3.3	3.1 3.6	2.5 3.3	～	3.1 3.6	2.8 3.4
ふっ素 [mg/L]	0.8 0.9	0.9 1.0	0.9 0.9	0.8 0.9	～	0.9 1.0	0.9 0.9
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	0.11 0.14	0.09 0.11	0.09 0.12	0.09 0.11	～	0.11 0.14	0.10 0.12
アンモニア性窒素×0.4 [mg/L]	0.01 0.04	0.01 0.03	0.01 0.04	0.01 0.03	～	0.01 0.04	0.01 0.04
亜硝酸性窒素 [mg/L]	<0.04 0.05	<0.04 0.04	<0.04 <0.04	<0.04 <0.04	～	<0.04 0.05	<0.04 0.04
硝酸性窒素 [mg/L]	0.06 0.05	<0.04 0.04	<0.04 <0.04	<0.04 <0.04	～	0.06 0.05	0.05 0.04
1,4-ジ°オキサン [mg/L]	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	～	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

水質調査結果（埋立中の濁り等監視－廃棄物処分場護岸外周④） [平成24年8月分]

調査日：平成24年8月8日

項目	調査点			最小値 ～ 最大値	平均値
	19	20	21		
時刻	10:10	10:40	11:35	—	—
ダイキシン類 [pg-TEQ/L]	0.081	0.061	0.085	0.061 ～ 0.085	0.076

特記事項

水質調査結果（埋立中の濁り等監視一処分場周辺②）

[平成24年8月分]

調査日：平成24年8月8日

項目	調査点							最小値 ~ 最大値	平均値
	13	14	15	16	17	18			
時刻	9: 45	10: 30	11: 50	11: 00	11: 20	11: 55	—	—	
カドミウム [mg/L]	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 ~ <0.001 <0.001 ~ <0.001	<0.001	
全アン [mg/L]	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 ~ <0.1 <0.1 ~ <0.1	<0.1	
鉛 [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 ~ <0.002 <0.002 ~ <0.002	<0.002	
六価クロム [mg/L]	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 ~ <0.01 <0.01 ~ <0.01	<0.01	
砒素 [mg/L]	0.001 0.001	0.001 0.001	0.001 0.001	0.001 0.002	0.001 0.001	0.001 0.001	0.001 ~ 0.001 0.001 ~ 0.002	0.001	
総水銀 [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 ~ <0.0005 <0.0005 ~ <0.0005	<0.0005	
アルキル水銀 [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 ~ <0.0005 <0.0005 ~ <0.0005	<0.0005	
PCB [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 ~ <0.0005 <0.0005 ~ <0.0005	<0.0005	
ジクロロメタン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 ~ <0.002 <0.002 ~ <0.002	<0.002	
四塩化炭素 [mg/L]	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 ~ <0.0002 <0.0002 ~ <0.0002	<0.0002	
1, 2-ジクロロエタン [mg/L]	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	<0.0004 ~ <0.0004 <0.0004 ~ <0.0004	<0.0004	
1, 1-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 ~ <0.002 <0.002 ~ <0.002	<0.002	
シス-1, 2-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	<0.004 ~ <0.004 <0.004 ~ <0.004	<0.004	
1, 1, 1-トリクロロエタン [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 ~ <0.0005 <0.0005 ~ <0.0005	<0.0005	
1, 1, 2-トリクロロエタン [mg/L]	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 ~ <0.0006 <0.0006 ~ <0.0006	<0.0006	
トリクロロエチレン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 ~ <0.002 <0.002 ~ <0.002	<0.002	
テトラクロロエチレン [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 ~ <0.0005 <0.0005 ~ <0.0005	<0.0005	
1, 3-ジクロロプロペン [mg/L]	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 ~ <0.0002 <0.0002 ~ <0.0002	<0.0002	
チウラム [mg/L]	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 ~ <0.0006 <0.0006 ~ <0.0006	<0.0006	
シマジン [mg/L]	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	<0.0003 ~ <0.0003 <0.0003 ~ <0.0003	<0.0003	
チオベンカルブ [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 ~ <0.002 <0.002 ~ <0.002	<0.002	
ベンゼン [mg/L]	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 ~ <0.001 <0.001 ~ <0.001	<0.001	
セレン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 ~ <0.002 <0.002 ~ <0.002	<0.002	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 [mg/L]	0.16 0.10	0.11 0.09	<0.08 0.08	<0.08 0.09	0.08 0.08	0.14 0.08	<0.08 ~ 0.16 0.08 ~ 0.10	0.11 0.09	
亜硝酸性窒素 [mg/L]	<0.04 0.05	<0.04 0.05	<0.04 0.04	<0.04 0.05	0.04 0.04	<0.04 0.04	<0.04 ~ 0.04 0.04 ~ 0.05	0.04 0.05	
硝酸性窒素 [mg/L]	0.12 0.04	0.07 0.04	<0.04 <0.04	<0.04 <0.04	<0.04 <0.04	0.10 <0.04	<0.04 ~ 0.12 <0.04 ~ 0.04	0.07 0.04	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

水質調査結果（埋立中の濁り等監視一処分場周辺③）

[平成24年8月分]

調査日：平成24年8月8日

項目	調査点						最小値 ~ 最大値	平均値
	13	14	15	16	17	18		
時刻	9:45	10:30	11:50	11:00	11:20	11:55	—	—
フェノール類 [mg/L]	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 ~ <0.005 <0.005 ~ <0.005	<0.005
銅 [mg/L]	0.005 <0.005	0.005 0.005	0.006 0.009	<0.005 0.005	0.005 0.005	0.005 0.005	<0.005 ~ 0.006 <0.005 ~ 0.009	0.005 0.006
亜鉛 [mg/L]	0.014 0.013	0.012 0.011	0.008 0.007	0.006 0.005	0.008 0.008	0.008 0.008	0.006 ~ 0.014 0.005 ~ 0.013	0.009 0.009
溶解性鉄 [mg/L]	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	<0.08 ~ <0.08 <0.08 ~ <0.08	<0.08
溶解性マンガン [mg/L]	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 0.01	0.01 0.01	<0.01 ~ 0.01 <0.01 ~ 0.01	0.01 0.01
全クロム [mg/L]	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	<0.03 ~ <0.03 <0.03 ~ <0.03	<0.03
陰イオン界面活性剤 [mg/L]	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 ~ <0.01 <0.01 ~ <0.01	<0.01
有機リン [mg/L]	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 ~ <0.1 <0.1 ~ <0.1	<0.1
1,4-ジオキサン [mg/L]	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 ~ <0.005 <0.005 ~ <0.005	<0.005

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

項目	調査点	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
	採泥時刻		9:45	10:35	11:30	11:00	—		
粒度組成 [%]	粗礫 (19mm以上)	0	0	0	0	0	～	0	0
	中礫 (4.75～19mm)	0	0	0	0	0	～	0	0
	細礫 (2.00～4.75mm)	0	0	0	0.0	0	～	0.0	0.0
	粗砂 (0.850～2.00mm)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	～	0.0	0.0
	中砂 (0.250～0.850mm)	0.5	0.4	2.0	2.0	0.4	～	2.0	1.2
	細砂 (0.075～0.250mm)	1.9	2.5	1.9	2.2	1.9	～	2.5	2.1
	シルト (0.005～0.075mm)	49.2	61.4	60.5	61.4	49.2	～	61.4	58.1
	粘土 (0.005mm以下)	48.4	35.7	35.6	34.4	34.4	～	48.4	38.5
含水率 [%]	50.0	51.1	51.0	54.0	50.0	～	54.0	51.5	
強熱減量 [%]	15.9	17.1	15.6	16.0	16	～	17	16	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/g乾泥]	29	24	23	24	23	～	29	25	
硫化物 [mg/g乾泥]	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	～	0.4	0.4	
全窒素 (T-N) [mg/g乾泥]	2.1	2.1	2.0	1.9	1.9	～	2.1	2.0	
全燐 (T-P) [mg/g乾泥]	0.54	0.53	0.58	0.43	0.43	～	0.58	0.52	
酸化還元電位 [mV]	-256	-224	-233	-202	-256	～	-202	-229	

特記事項

調査点		15
項目		
採泥時刻		11:50
粒度組成 [%]	粗礫 (19mm以上)	0
	中礫 (4.75~19mm)	0
	細礫 (2.00~4.75mm)	0
	粗砂 (0.850~2.00mm)	0.0
	中砂 (0.250~0.850mm)	0.4
	細砂 (0.075~0.250mm)	2.1
	シルト (0.005~0.075mm)	59.7
	粘土 (0.005mm以下)	37.8
含水率 [%]		54.6
強熱減量 [%]		16.2
化学的酸素要求量 (COD) [mg/g乾泥]		23
硫化物 [mg/g乾泥]		0.6
全窒素 (T-N) [mg/g乾泥]		2.1
全リン (T-P) [mg/g乾泥]		0.58
酸化還元電位 [mV]		-248

特記事項

調査点		15
項目		
	アルキル水銀 [mg/kg乾泥]	<0.01
	総水銀 [mg/kg乾泥]	0.91
	カドミウム [mg/kg乾泥]	0.48
	鉛 [mg/kg乾泥]	49
	有機磷 [mg/kg乾泥]	<0.1
	六価クロム [mg/kg乾泥]	<2
	砒素 [mg/kg乾泥]	13
	シアン [mg/kg乾泥]	<0.1
	PCB [mg/kg乾泥]	0.02
	銅 [mg/kg乾泥]	53
	亜鉛 [mg/kg乾泥]	220
	ふっ化物 [mg/kg乾泥]	180
	トリクロロエチレン [mg/kg乾泥]	<0.05
	テトラクロロエチレン [mg/kg乾泥]	<0.01
	ベリリウム [mg/kg乾泥]	0.80
	クロム [mg/kg乾泥]	80
	ニッケル [mg/kg乾泥]	34
	バナジウム [mg/kg乾泥]	62
	有機塩素化合物 [mg/kg乾泥]	5
	ジクロロメタン [mg/kg乾泥]	<0.2
	四塩化炭素 [mg/kg乾泥]	<0.02
	1,2-ジクロロエタン [mg/kg乾泥]	<0.04
	1,1-ジクロロエチレン [mg/kg乾泥]	<0.2
	シス-1,2-ジクロロエチレン [mg/kg乾泥]	<0.4
	1,1,1-トリクロロエタン [mg/kg乾泥]	<0.1
	1,1,2-トリクロロエタン [mg/kg乾泥]	<0.06
	1,3-ジクロロプロペン [mg/kg乾泥]	<0.02
	チウラム [mg/kg乾泥]	<0.04
	シマジン [mg/kg乾泥]	<0.03
	チオベンカルブ [mg/kg乾泥]	<0.2
	ベンゼン [mg/kg乾泥]	<0.1
	セレン [mg/kg乾泥]	0.2

悪臭調査結果

[平成24年8月分]

調査日：平成24年8月21日

項目		調査地点
		大阪南港野鳥園
気象	天候	晴
	気温 [°C]	31.8
	湿度 [%]	50
	風向	Calm
	風速 [m/s]	<0.4
特定 悪臭 物質 濃度 [ppm]	アンモニア	<0.1
	メチルメルカプタン	<0.0005
	硫化水素	<0.001
	硫化メチル	<0.001
	二硫化メチル	<0.001
	トリメチルアミン	<0.001
	アセトアルデヒド	<0.005
	プロピオンアルデヒド	<0.005
	ノルマルブチルアルデヒド	<0.0009
	イソブチルアルデヒド	<0.002
	ノルマルヘキシルアルデヒド	<0.0009
	イソヘキシルアルデヒド	<0.0003
	イソブタノール	<0.09
	酢酸エチル	<0.3
	メチルイソブチルケトン	<0.1
	トルエン	<1
	スチレン	<0.04
	キシレン	<0.1
	プロピオン酸	<0.0004
	ノルマル酪酸	<0.0004
ノルマル吉草酸	<0.0004	
イソ吉草酸	<0.0004	
臭気強度		0
臭気指数		10未満
臭質		無臭

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成 24 年 9 月分①)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 10
3. 調査結果の概要	I - 11

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 24 年 9 月の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 24 年 9 月）

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	9月1日～30日	通年連続

(2) 水質

①一般項目 表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	9月4日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

②埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(1) 表-1(3)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	9月1日~30日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点 内水 1点	9月4,11,18,25日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	9月4日	1回/月
全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数		—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(2) 表-1(4)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<p>●健康項目等</p> <p>カドミウム</p> <p>全シアン</p> <p>鉛</p> <p>六価クロム</p> <p>砒素</p> <p>総水銀</p> <p>アルキル水銀</p> <p>PCB</p> <p>ジクロロメタン</p> <p>四塩化炭素</p> <p>1,2-ジクロロエタン</p> <p>1,1-ジクロロエチレン</p> <p>シス-1,2-ジクロロエチレン</p> <p>1,1,1-トリクロロエタン</p> <p>1,1,2-トリクロロエタン</p> <p>トリクロロエチレン</p> <p>テトラクロロエチレン</p> <p>1,3-ジクロロプロペン</p> <p>チウラム</p> <p>シマジン</p> <p>チオベンカルブ</p> <p>ベンゼン</p> <p>セレン</p> <p>フェノール類</p> <p>銅</p> <p>亜鉛</p> <p>溶解性鉄</p> <p>溶解性マンガン</p> <p>全クロム</p> <p>陰イオン界面活性剤</p> <p>有機燐</p> <p>ほう素</p> <p>ふっ素</p> <p>アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)</p> <p>1,4-ジオキサン</p>	<p>放流水 1点</p> <p>内水 1点</p> <p>(処理原水)</p> <p>護岸外周 3点×2層</p> <p>(護岸から30m)</p> <p>【19, 20, 21】</p> <p>上層:海面下1m</p> <p>下層:海底面上2m</p>	<p>—</p>	<p>放流水、内水</p> <p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>護岸外周</p> <p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p>
<p>ダイオキシン類</p>	<p>ダイオキシン類は上層のみ調査</p>	<p>—</p>	<p>放流水 4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>内水 2回/年</p> <p>(8月、2月)</p> <p>護岸外周 1回/年</p> <p>(8月)</p>

②-2 処分場周辺 表-1(5)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機磷 1,4-ジオキサン		—	2回/年 (8月、2月)

(3) 底質

①一般項目 表-1(6)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	—	2回／年 (8月、2月)

②廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺) 表1-(7)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<ul style="list-style-type: none"> ●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位 	1点(表層土) 【15】		2回/年 (8月、2月)
<ul style="list-style-type: none"> ●有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機磷 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル バナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 		—	

(4)騒音・低周波空気振動（図-1(1)参照） 表-1(8)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回／年 (4月、10月)
低周波空気振動音圧レベル			

(5)悪臭 表-1(9)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	9月13日	2回／年 (8月、9月)

(6)陸域生態系(鳥類) 表-1(10)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 【a、b、c、d】	実施年に該当せず	4回／年(2年おきに実施) (5月、6月、8月、2月)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設 表-1(11)

調査項目		調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	1週間×4回/年 (5月、8月、11月、2月)
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量	廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 : 3点 【No.1、2、4】 堺基地 : 4点 【No.1、2、3、4】 泉大津基地 : 3点 【No.A、B、C】	—	4回/年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭	臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 堺基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 泉大津基地 : 2点(風上、風下) 【No.D1、D2】	—	2回/年 (6月、8月)

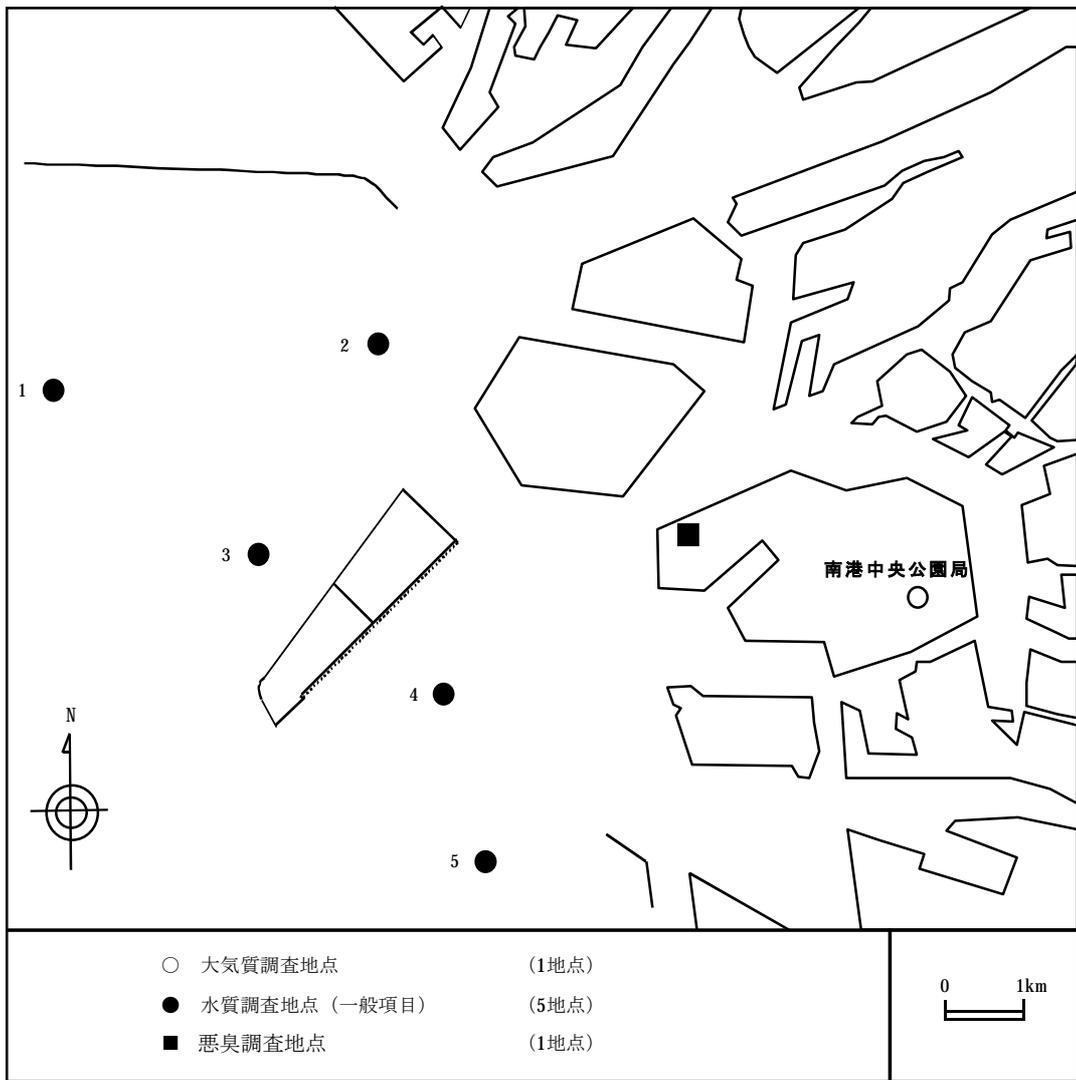


図-1(1) 大気質、水質(一般項目)、悪臭の調査地点(平成24年9月)

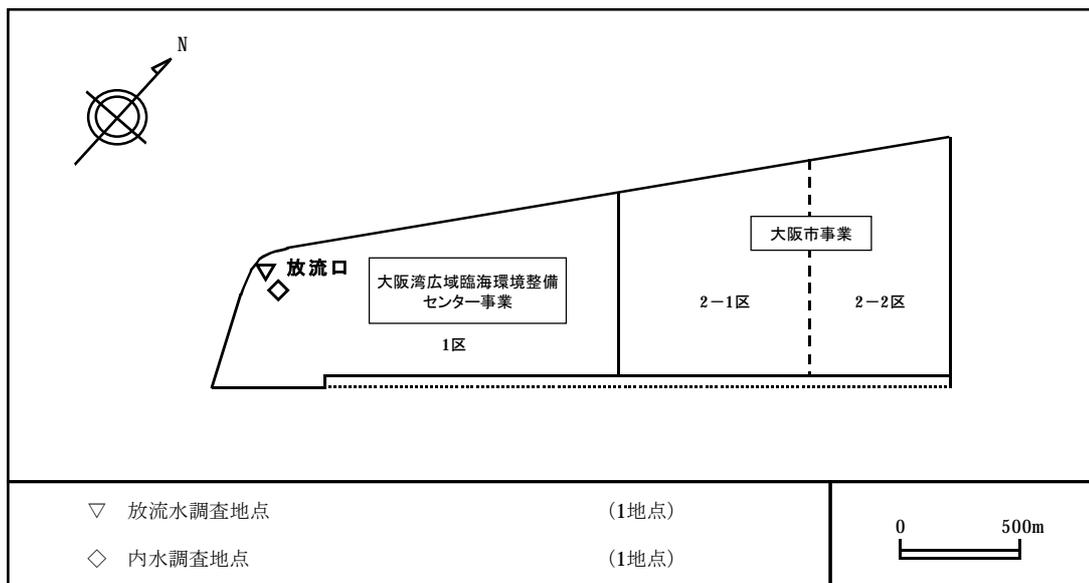
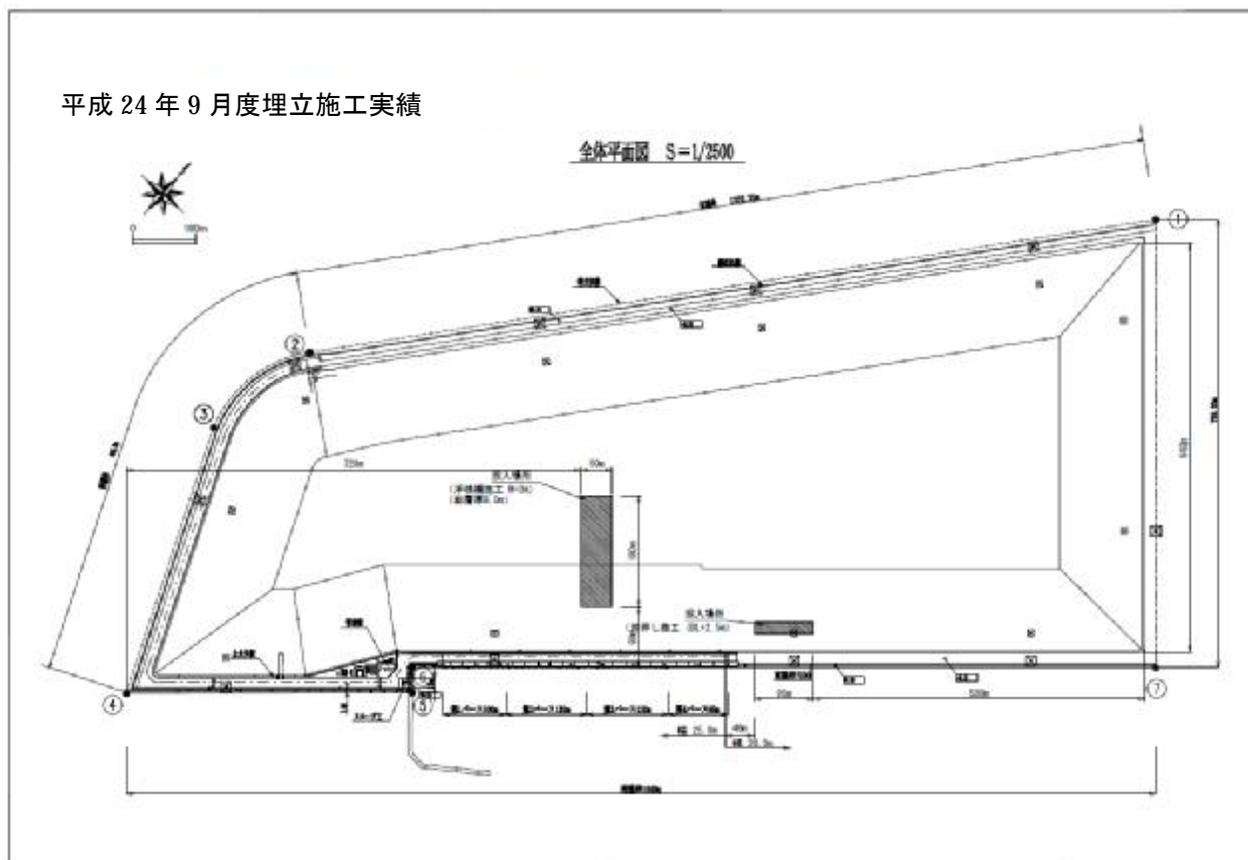


図-1(2) 水質の調査地点(埋立中:放流水、内水)(平成24年9月)

2. 工事の実施状況

平成 24 年 9 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
1,863,324	13.3

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 24 年 9 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.010ppm、1時間値の最高値は 0.019ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.021ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.029ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.027mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.048mg/m³、1時間値の最高値は 0.098mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】
水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.4～8.5、下層で 7.8～8.0 であり、上層では全ての地点において環境基準値の上限値を上回っており、下層では全ての地点において環境基準値の範囲内であった。
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (8.5)、調査地点 2 (8.4)、調査地点 3 (8.5)、調査地点 4 (8.4)、調査地点 5 (8.4) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 7.7～8.6 であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 4.2～5.5mg/L、下層で 1.6～2.1mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (5.5mg/L)、調査地点 2 (5.1mg/L)、調査地点 3 (4.2mg/L)、調査地点 4 (4.8mg/L)、調査地点 5 (4.9mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、調査地点 3、調査地点 4 及び調査地点 5 はこの範囲内にあるため、本事業の影響によ

るものではないと考えられる。また、調査地点 1 及び調査地点 2 ではこの範囲を上回っていたものの概ね同程度であり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.0~9.3mg/L、下層で 2.4~4.7mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では全ての地点で環境基準値を下回った。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 1 (2.5mg/L)、調査地点 2 (3.6mg/L)、調査地点 3 (4.7mg/L)、調査地点 4 (2.4mg/L)、調査地点 5 (3.2mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、下層で 0.6~11mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.50~0.86mg/L、下層で 0.28~0.51mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2 及び 5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.86mg/L)、調査地点 5 (0.63mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、0.46~2.1mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.056~0.095mg/L、下層で 0.051~0.11mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.056mg/L)、調査地点 2 (0.093mg/L)、調査地点 3 (0.065mg/L)、調査地点 4 (0.095mg/L)、調査地点 5 (0.085mg/L) 下層における調査地点 1 (0.11mg/L)、調査地点 2 (0.084mg/L)、調査地点 3 (0.051mg/L)、調査地点 4 (0.094mg/L)、調査地点 5 (0.078mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、上層において 0.021~0.15mg/L、下層において 0.020~0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 2~6 度(カリン)、下層で<1~2 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 3~9mg/L、下層で<1~2mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 23～33 $\mu\text{g/L}$ の範囲であった。下層で <1～2 $\mu\text{g/L}$ であった。

②-1 放流水及び内水 [水質様式第 6～11 号]

1) 放流水 (連続測定)

濁度は、0.3～0.5 度(カリン) (平均値 0.4 度(カリン)) の範囲であった。

水温は、22.8～29.1℃ (平均値 27.1℃) の範囲であった。

pH は、7.6～8.4 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、3.9～4.3mg/L (平均値 4.1mg/L) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

DO は、8.3～10mg/L (平均値 9.1mg/L) であった。

2) 放流水、内水

・放流水

SS は、<1～1.6mg/L (平均値 1.3mg/L) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L) 及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、全て <1mg/L (平均値 <1mg/L) であった。

pH は、7.7 であり、放流水の基準値及び管理目標値の範囲内であった。

COD は、11mg/L であり、放流水の基準値及び管理目標値を下回っていた。

T-N は、2.4mg/L であり、放流水の基準値 (120mg/L、日間平均 60mg/L) 及び管理目標値 (30mg/L) を下回っていた。

・内水

SS は、3.8～5.5mg/L (平均値 4.8mg/L) の範囲であった。

FSS は、1.1～2.0mg/L (平均値 1.7mg/L) の範囲であった。

pH は 8.6、COD は 16mg/L、T-N は 2.5mg/L であった。

②-2 処分場周辺

9 月は実施せず。

(3) 底質

9月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

9月は実施せず。

(5) 悪臭

事後調査報告書（平成24年9月分②）で報告する。

(6) 陸域生態系（鳥類）

今年度は実施せず。

廃棄物搬入施設周辺における調査

9月は実施せず。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2)水質

水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）
- (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75% 水質値**」を用いるものとする。
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 規制基準等

(1) 水質

水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	60mg/L 以上	50mg/L 以下
	全窒素 (T-N)	120mg/L (日間平均 60mg/L) 以下	30mg/L 以下
	全燐 (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L) 以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L 以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L 以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000 個/cm ³ 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋
2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

(2) 悪臭

項目	基準値
臭気指数	敷地境界線における規制基準：10 規制地域：大阪市の区域 ^{注1)} 、堺市の区域 ^{注2)} (泉大津市については、指導指針値 ^{注3)} の取り扱いである。)

注1：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；大阪市（平成18年1月告示）

注2：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；堺市（平成19年11月告示）

注3：泉大津市悪臭公害防止指導要綱；泉大津市（昭和59年3月公布）

※ なお、大阪府の大気環境に関する環境保全目標では、悪臭については「大部分の地域住民が日常生活において感知しない程度」となっている。

3. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m: 環境基準を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小~最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75%値の最小~最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表[平成24年9月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	714
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	708
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	27
	日平均値が0.10ng/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	668
	1時間値が0.20ng/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果[平成24年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (土)	0.003	0.005
	2 (日)	0.005	0.014
	3 (月)	0.004	0.005
	4 (火)	0.005	0.009
	5 (水)	0.004	0.006
	6 (木)	0.006	0.009
	7 (金)	0.010	0.019
	8 (土)	0.009	0.014
	9 (日)	0.007	0.010
	10 (月)	0.005	0.008
別	11 (火)	0.005	0.008
	12 (水)	0.006	0.010
	13 (木)	0.006	0.008
	14 (金)	0.004	0.007
	15 (土)	0.005	0.007
	16 (日)	0.002	0.004
	17 (月)	0.002	0.006
	18 (火)	0.001	0.002
	19 (水)	0.005	0.011
	20 (木)	0.006	0.010
値	21 (金)	0.005	0.007
	22 (土)	0.006	0.010
	23 (日)	0.003	0.008
	24 (月)	0.005	0.008
	25 (火)	0.005	0.010
	26 (水)	0.005	0.009
	27 (木)	0.006	0.014
	28 (金)	0.006	0.011
	29 (土)	0.007	0.012
	30 (日)	0.003	0.004
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		714	
月 平 均 値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.010	
1時間値の最高値 (ppm)		0.019	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果[平成24年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (土)	0.003	0.012
	2 (日)	0.002	0.006
	3 (月)	0.004	0.020
	4 (火)	0.006	0.032
	5 (水)	0.007	0.038
	6 (木)	0.008	0.039
	7 (金)	(0.010)	(0.035)
	8 (土)	0.005	0.029
	9 (日)	0.001	0.004
	10 (月)	0.009	0.039
別	11 (火)	0.012	0.048
	12 (水)	0.003	0.012
	13 (木)	0.005	0.017
	14 (金)	0.016	0.053
	15 (土)	0.008	0.021
	16 (日)	0.001	0.004
	17 (月)	0.002	0.004
	18 (火)	0.020	0.060
	19 (水)	0.004	0.038
	20 (木)	0.004	0.030
値	21 (金)	0.003	0.016
	22 (土)	0.001	0.006
	23 (日)	0.000	0.001
	24 (月)	0.003	0.014
	25 (火)	0.007	0.043
	26 (水)	0.007	0.042
	27 (木)	0.005	0.016
	28 (金)	0.005	0.028
	29 (土)	0.003	0.026
	30 (日)	0.000	0.001
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		708	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.020	
1時間値の最高値 (ppm)		0.060	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果[平成24年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (土)	0.015	0.023
	2 (日)	0.015	0.022
	3 (月)	0.019	0.031
	4 (火)	0.019	0.032
	5 (水)	0.015	0.026
	6 (木)	0.025	0.040
	7 (金)	(0.034)	(0.046)
	8 (土)	0.020	0.035
	9 (日)	0.012	0.023
	10 (月)	0.019	0.034
別	11 (火)	0.022	0.035
	12 (水)	0.027	0.041
	13 (木)	0.026	0.042
	14 (金)	0.028	0.042
	15 (土)	0.026	0.038
	16 (日)	0.008	0.017
	17 (月)	0.009	0.014
	18 (火)	0.023	0.035
	19 (水)	0.020	0.034
	20 (木)	0.029	0.046
値	21 (金)	0.024	0.041
	22 (土)	0.016	0.029
	23 (日)	0.010	0.014
	24 (月)	0.021	0.041
	25 (火)	0.023	0.040
	26 (水)	0.024	0.043
	27 (木)	0.026	0.042
	28 (金)	0.028	0.049
	29 (土)	0.028	0.048
	30 (日)	0.011	0.026
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		708	
月平均値 (ppm)		0.021	
日平均値の最高値 (ppm)		0.029	
1時間値の最高値 (ppm)		0.049	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果[平成24年9月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	N02/ (NO+N02) (%)	
日	1 (土)	0.017	83.3	0.027
	2 (日)	0.016	90.7	0.023
	3 (月)	0.023	82.8	0.047
	4 (火)	0.026	75.4	0.064
	5 (水)	0.022	68.8	0.060
	6 (木)	0.033	75.7	0.069
	7 (金)	(0.044)	-	(0.071)
	8 (土)	0.026	78.9	0.062
	9 (日)	0.012	92.6	0.024
	10 (月)	0.028	66.9	0.072
別	11 (火)	0.034	64.8	0.076
	12 (水)	0.030	89.2	0.050
	13 (木)	0.031	83.6	0.059
	14 (金)	0.044	63.7	0.095
	15 (土)	0.033	77.2	0.049
	16 (日)	0.009	91.7	0.018
	17 (月)	0.011	85.5	0.018
	18 (火)	0.043	53.8	0.095
	19 (水)	0.024	82.5	0.072
	20 (木)	0.033	87.3	0.075
値	21 (金)	0.027	88.8	0.054
	22 (土)	0.017	96.2	0.035
	23 (日)	0.010	98.7	0.014
	24 (月)	0.025	86.8	0.055
	25 (火)	0.030	76.8	0.083
	26 (水)	0.031	76.5	0.083
	27 (木)	0.031	83.6	0.054
	28 (金)	0.033	85.4	0.066
	29 (土)	0.032	89.3	0.067
	30 (日)	0.011	99.2	0.026
有効測定日数 (日)		29		
測定時間 (時間)		708		
月平均値 (ppm)		0.026		
日平均値の最高値 (ppm)		0.044		
1時間値の最高値 (ppm)		0.095		
月平均値 N02/(NO+N02) (%)		79.2		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. N02/(NO+N02)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値N02/(NO+N02)

$$= \frac{\text{(NO及びN02が同時測定されている時間のN02濃度の日(月)間にわたる総和)}}{\text{(NO及びN02が同時測定されている時間のNO+N02濃度の日(月)間にわたる総和)}}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果[平成24年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (mg/m^3)	1時間値の 最高値 (mg/m^3)
日	1 (土)	(0.019)	(0.037)
	2 (日)	0.018	0.030
	3 (月)	(0.016)	(0.018)
	4 (火)	(0.028)	(0.043)
	5 (水)	0.027	0.047
	6 (木)	0.030	0.040
	7 (金)	0.035	0.049
	8 (土)	0.035	0.057
	9 (日)	0.023	0.038
	10 (月)	0.029	0.038
別	11 (火)	0.020	0.032
	12 (水)	0.022	0.039
	13 (木)	0.038	0.050
	14 (金)	0.038	0.049
	15 (土)	0.030	0.043
	16 (日)	0.020	0.033
	17 (月)	0.018	0.025
	18 (火)	0.019	0.030
	19 (水)	0.034	0.050
	20 (木)	0.037	0.060
値	21 (金)	0.034	0.045
	22 (土)	0.032	0.046
	23 (日)	0.024	0.038
	24 (月)	0.017	0.034
	25 (火)	0.015	0.032
	26 (水)	0.009	0.021
	27 (木)	0.020	0.031
	28 (金)	0.026	0.098
	29 (土)	0.048	0.065
	30 (日)	0.032	0.081
有効測定日数 (日)		27	
測定時間 (時間)		668	
月平均値 (mg/m^3)		0.027	
日平均値の最高値 (mg/m^3)		0.048	
1時間値の最高値 (mg/m^3)		0.098	
1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔平成24年9月分〕

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (土)	1.0	1.7	ESE, NNW, WSW	WSW
	2 (日)	1.0	2.5	ENE	E
	3 (月)	1.2	2.5	SW	SW
	4 (火)	1.0	1.6	W	W
	5 (水)	1.4	2.6	WSW	WSW
	6 (木)	0.9	2.0	WSW	WSW
	7 (金)	1.0	2.6	NNW	SE
	8 (土)	1.0	1.7	ESE	ESE
	9 (日)	1.2	2.4	W	ESE
	10 (月)	1.0	2.3	WSW	ESE
別	11 (火)	1.0	2.6	NNW	NNW, N
	12 (水)	1.1	2.5	W	W
	13 (木)	1.1	2.4	WSW	W
	14 (金)	1.0	4.1	SE	ESE
	15 (土)	1.0	3.2	S	NNE
	16 (日)	2.0	3.3	ESE	ESE
	17 (月)	2.1	4.4	SE	E
	18 (火)	0.9	1.9	ESE	ESE
	19 (水)	1.3	2.2	W, W	W
	20 (木)	1.0	2.9	WSW	WSW
値	21 (金)	1.1	2.1	SW, W	ESE, WSW
	22 (土)	0.9	1.9	SW	SW, WSW, NNW
	23 (日)	0.9	1.9	NNW	N
	24 (月)	1.0	2.0	NNW	NNW
	25 (火)	1.2	3.7	NNW	NNW
	26 (水)	1.4	2.5	NNW	ENE, N
	27 (木)	1.1	2.8	NNW	N
	28 (金)	0.9	2.0	WSW, SW	WSW
	29 (土)	0.9	1.3	WSW, W	ESE, W
	30 (日)	2.2	7.6	N	N
測定時間 (時間)		720			
月平均風速 (m/s)		1.2			
月最大風速 (m/s)		7.6			
月最多風向 (16方位)		ESE			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成24年9月分]

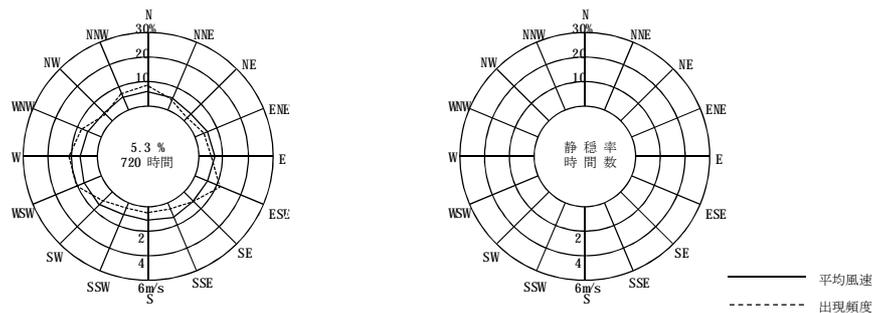
方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	35	17	32	40	82	39	19	17	15	37	73	79	58	27	51	61	38	720
頻度 (%)	4.9	2.4	4.4	5.6	11.4	5.4	2.6	2.4	2.1	5.1	10.1	11.0	8.1	3.8	7.1	8.5	5.3	-
平均風速 (m/s)	1.1	0.9	1.2	1.4	1.2	1.1	1.3	1.1	1.0	1.4	1.4	1.3	1.1	0.8	1.1	1.2	0.3	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成24年9月分]

調査点 項目		調査点					最小値 ~ 最大値	平均値
		1	2	3	4	5		
時刻		9:30	9:05	9:50	10:25	10:10	—	—
透明度	[m]	2.7	1.0	2.0	0.8	1.5	0.8 ~ 2.7	1.6
水温	[°C]	28.1	28.3	28.4	28.3	28.6	28.1 ~ 28.6	28.3
		26.6	27.0	27.5	26.9	27.1	26.6 ~ 27.5	27.0
塩分	[—]	25.8	23.9	26.0	24.5	25.2	23.9 ~ 26.0	25.1
		31.1	31.1	31.1	31.2	31.3	31.1 ~ 31.3	31.2
濁度	[度(カリン)]	2	3	2	6	3	2 ~ 6	3
		2	2	<1	2	1	<1 ~ 2	2
浮遊物質量 (SS)	[mg/L]	4	6	3	9	6	3 ~ 9	6
		2	1	<1	2	1	<1 ~ 2	1
水素イオン濃度 (pH)	[—]	8.5	8.4	8.5	8.4	8.4	8.4 ~ 8.5	-
		7.8	7.9	8.0	7.8	7.9	7.8 ~ 8.0	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	5.5	5.1	4.2	4.8	4.9	4.2 ~ 5.5	4.9
		2.1	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6 ~ 2.1	1.8
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.3	8.0	8.0	7.0	8.5	7.0 ~ 9.3	8.2
	飽和度 [%]	138	118	119	103	126	103 ~ 138	121
全窒素 (T-N)	[mg/L]	0.59	0.86	0.50	0.60	0.63	0.50 ~ 0.86	0.64
		0.51	0.41	0.28	0.44	0.37	0.28 ~ 0.51	0.40
全磷 (T-P)	[mg/L]	0.056	0.093	0.065	0.095	0.085	0.056 ~ 0.095	0.079
		0.11	0.084	0.051	0.094	0.078	0.051 ~ 0.11	0.083
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	26	33	23	26	29	23 ~ 33	27
		1	2	1	1	<1	<1 ~ 2	1

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

水質様式第 6 号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成 24年 9 月分]

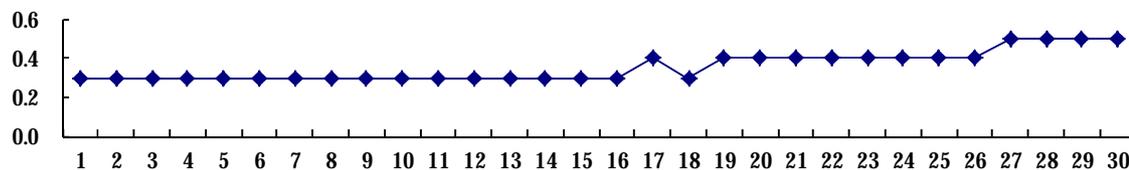
項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(カリン)]	0.3	～	0.5	0.4
水温	[℃]	22.8	～	29.1	27.1
pH	[－]	7.6	～	8.4	7.9
COD	[mg/L]	3.9	～	4.3	4.1
DO	[mg/L]	8.3	～	10	9.1
特記事項					

水質様式第7号

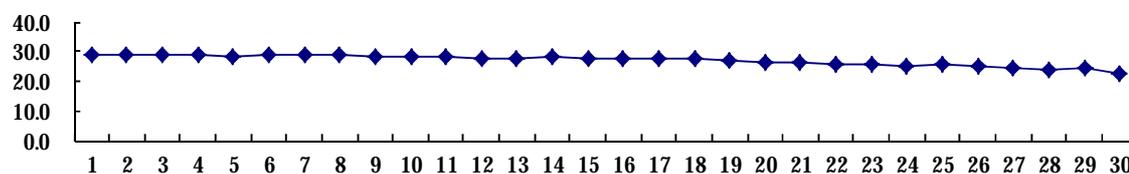
水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成 24 年 9 月分]

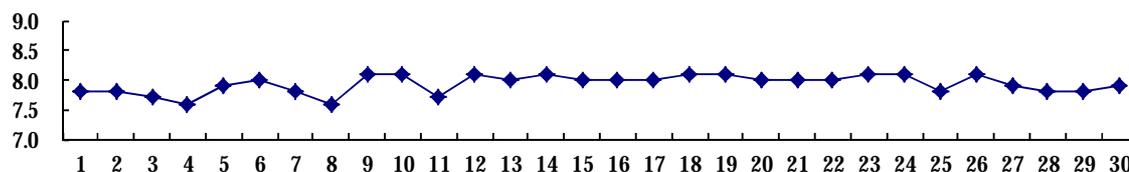
濁度[度(カリン)]



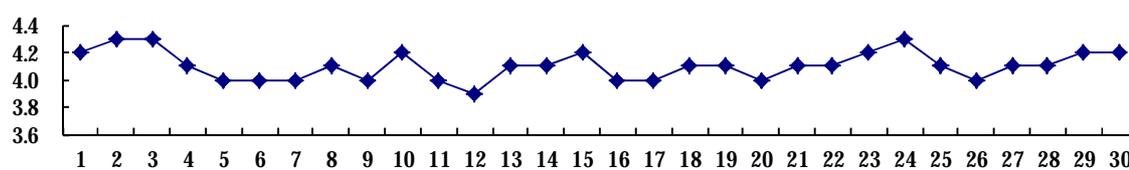
水温[℃]



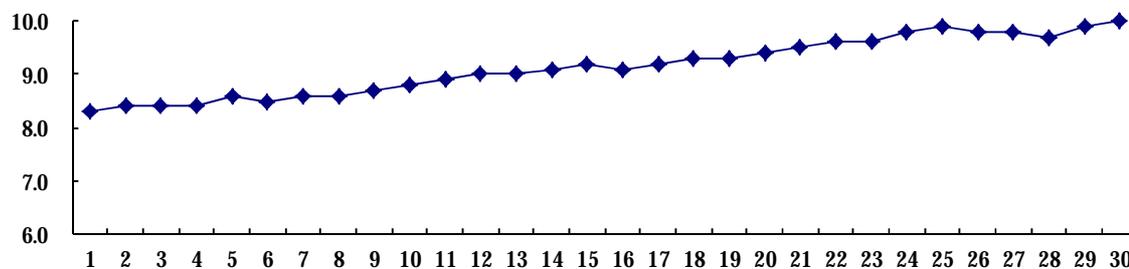
水素イオン濃度(pH)[-]



化学的酸素要求量(COD)[mg/L]



溶存酸素量(DO)[mg/L]



水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水①） [平成24年9月分]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS	FSS	時刻	SS	FSS
		[mg/L]	[mg/L]		[mg/L]	[mg/L]
9/4 (火)	9:50	1.4	< 1	10:05	3.8	1.1
9/11 (火)	10:05	1.6	< 1	9:45	5.5	2.0
9/18 (火)	9:50	< 1	< 1	10:05	5.4	2.0
9/25 (火)	9:55	< 1	< 1	10:05	4.4	1.6
平均値	—	1.3	< 1	—	4.8	1.7
最小値	—	< 1	< 1	—	3.8	1.1
最大値	—	1.6	< 1	—	5.5	2.0

特記事項

水質様式第9号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成24年9月分]

調査日：平成24年9月4日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	9:50	10:05
pH[-]	7.7(26℃)	8.6(26℃)
COD[mg/L]	11	16
T-N[mg/L]	2.4	2.5

特記事項

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成 24 年 9 月分②)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 工事の実施状況 I - 2
- 3. 調査結果の概要 I - 3

II 事後調査結果

- 3. 悪臭 II - 1

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 24 年 9 月の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

埋立地周辺における調査

表-1 (1) 事後調査の概要 (平成 24 年 9 月分②)

(5) 悪臭

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	9月13日	2回/年 (8月、9月)

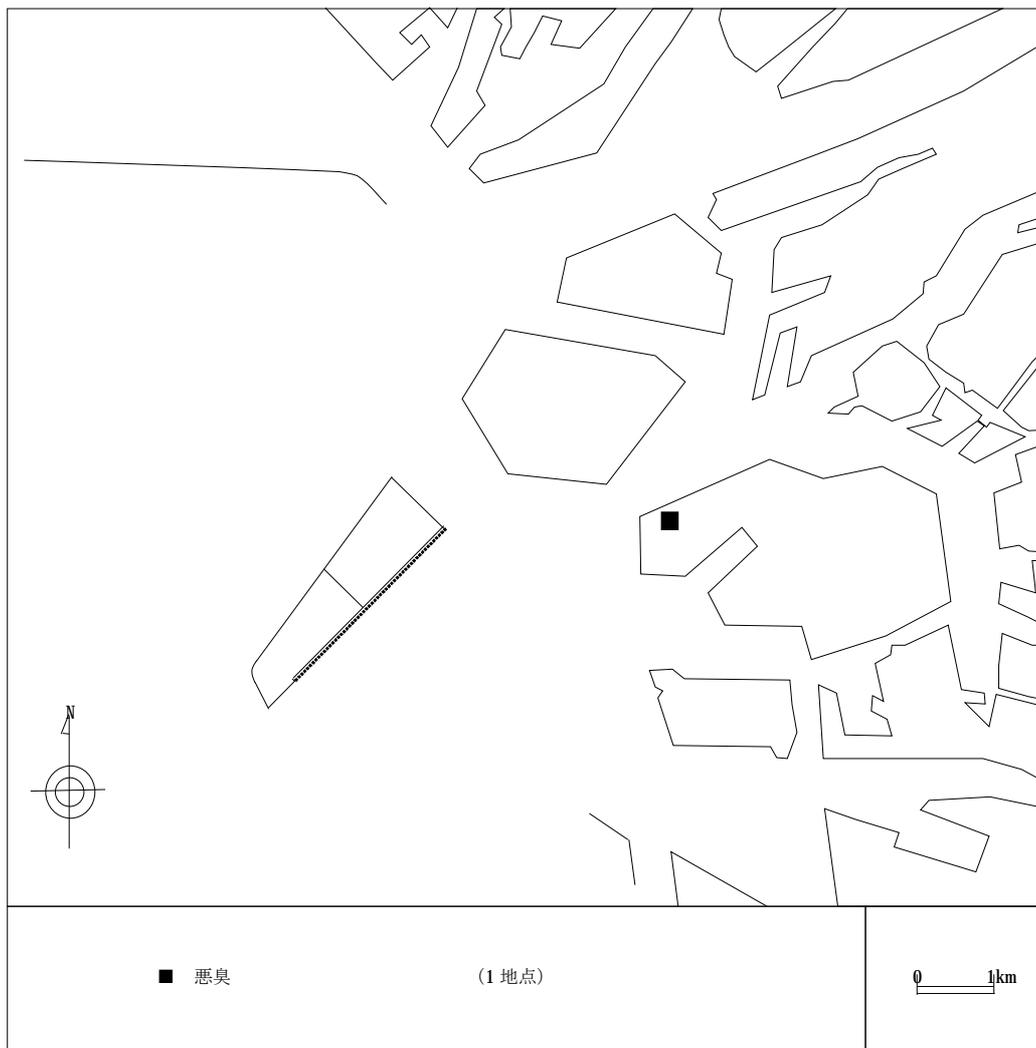
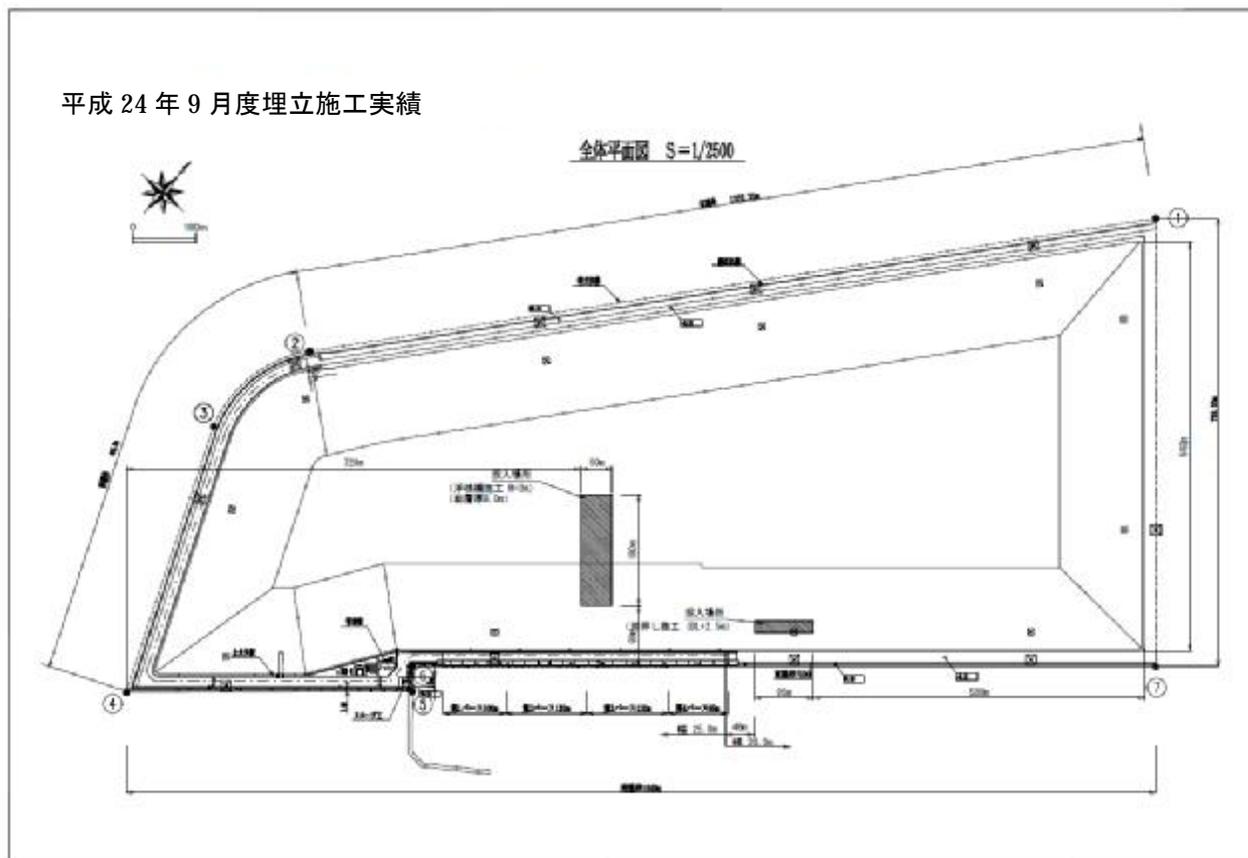


図-1 悪臭の調査地点 (平成 24 年 9 月分②)

2. 工事の実施状況

平成 24 年 9 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
1,863,324	13.3

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 24 年 9 月)

3. 調査結果の概要

(1) 悪臭 [悪臭様式第1号]

特定悪臭物質はいずれも報告下限値未満であった。

臭気強度は**0**であった。

臭気指数は**10**未満であり、規制基準値（**10**）を下回っていた。

臭質は無臭であった。

《 参 考 》 環 境 基 準 等 (本 報 告 関 係 分)

1. 規 制 基 準 等

(1) 悪 臭

項 目	基 準 値
臭 気 指 数	敷地境界線における規制基準：10 規制地域：大阪市の区域 ^{注1)} 、堺市の区域 ^{注2)} (泉大津市については、指導指針値 ^{注3)} の取り扱いである。)

注1：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；大阪市（平成18年1月告示）

注2：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；堺市（平成19年11月告示）

注3：泉大津市悪臭公害防止指導要綱；泉大津市（昭和59年3月公布）

※ なお、大阪府の大気環境に関する環境保全目標では、悪臭については「大部分の地域住民が日常生活において感知しない程度」となっている。

II 事後調查結果

悪臭調査結果

[平成24年9月分]

調査日：平成24年9月13日

調査地点		大阪南港野鳥園
項目		
気象	天候	晴
	気温 [°C]	30.1
	湿度 [%]	53
	風向	北
	風速 [m/s]	0.7
特定 悪臭 物質 濃度 [ppm]	アンモニア	<0.1
	メチルメルカプタン	<0.0005
	硫化水素	<0.001
	硫化メチル	<0.001
	二硫化メチル	<0.001
	トリメチルアミン	<0.001
	アセトアルデヒド	<0.005
	プロピオンアルデヒド	<0.005
	ノルマルブチルアルデヒド	<0.0009
	イソブチルアルデヒド	<0.002
	ノルマルペンタールアルデヒド	<0.0009
	イソペンタールアルデヒド	<0.0003
	イソブタノール	<0.09
	酢酸エチル	<0.3
	メチルイソブチルケトン	<0.1
	トルエン	<1
	スチレン	<0.04
	キシレン	<0.1
	プロピオン酸	<0.0004
	ノルマル酪酸	<0.0004
ノルマル吉草酸	<0.0004	
イソ吉草酸	<0.0004	
臭気強度		0
臭気指数		10未満
臭質		無臭

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成 24 年 10 月分)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 10
3. 調査結果の概要	I - 11

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波空気振動.....	II - 14

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 24 年 10 月（大気質、水質、騒音・低周波空気振動）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 24 年 10 月）

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	10月1日～31日	通年連続

(2) 水質

①一般項目 表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	10月3日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

②埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(1) 表-1(3)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	10月1日~31日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点 内水 1点	10月2,10,16,23,30日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	10月2日	1回/月
全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数		—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(2) 表-1(4)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<p>●健康項目等</p> <p>カドミウム</p> <p>全シアン</p> <p>鉛</p> <p>六価クロム</p> <p>砒素</p> <p>総水銀</p> <p>アルキル水銀</p> <p>PCB</p> <p>ジクロロメタン</p> <p>四塩化炭素</p> <p>1,2-ジクロロエタン</p> <p>1,1-ジクロロエチレン</p> <p>シス-1,2-ジクロロエチレン</p> <p>1,1,1-トリクロロエタン</p> <p>1,1,2-トリクロロエタン</p> <p>トリクロロエチレン</p> <p>テトラクロロエチレン</p> <p>1,3-ジクロロプロペン</p> <p>チウラム</p> <p>シマジン</p> <p>チオベンカルブ</p> <p>ベンゼン</p> <p>セレン</p> <p>フェノール類</p> <p>銅</p> <p>亜鉛</p> <p>溶解性鉄</p> <p>溶解性マンガン</p> <p>全クロム</p> <p>陰イオン界面活性剤</p> <p>有機燐</p> <p>ほう素</p> <p>ふっ素</p> <p>アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)</p> <p>1,4-ジオキサン</p>	<p>放流水 1点</p> <p>内水 1点</p> <p>(処理原水)</p> <p>護岸外周 3点×2層</p> <p>(護岸から30m)</p> <p>【19, 20, 21】</p> <p>上層:海面下1m</p> <p>下層:海底面上2m</p>	<p>—</p>	<p>放流水、内水</p> <p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>護岸外周</p> <p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p>
<p>ダイオキシン類</p>	<p>ダイオキシン類は上層のみ調査</p>		<p>放流水 4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>内水 2回/年</p> <p>(8月、2月)</p> <p>護岸外周 1回/年</p> <p>(8月)</p>

②-2 処分場周辺 表-1(5)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 1,4-ジオキサン		—	2回/年 (8月、2月)

(3) 底質

①一般項目 表-1(6)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	—	2回／年 (8月、2月)

②廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺) 表1-(7)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<ul style="list-style-type: none"> ●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位 	1点(表層土) 【15】		2回/年 (8月、2月)
<ul style="list-style-type: none"> ●有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル バナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 		—	

(4) 騒音・低周波空気振動 表-1(8)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)	10月11~12日	2回/年 (4月、10月)
低周波空気振動音圧レベル			

(5) 悪臭 表-1(9)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回/年 (8月、9月)

(6) 陸域生態系(鳥類) 表-1(10)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 【a、b、c、d】	実施年に該当せず	4回/年(2年おきに実施) (5月、6月、8月、2月)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設 表-1(11)

調査項目		調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	1週間×4回/年 (5月、8月、11月、2月)
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量	廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 : 3点 【No.1、2、4】 堺基地 : 4点 【No.1、2、3、4】 泉大津基地 : 3点 【No.A、B、C】	—	4回/年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭	臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 堺基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 泉大津基地 : 2点(風上、風下) 【No.D1、D2】	—	2回/年 (6月、8月)

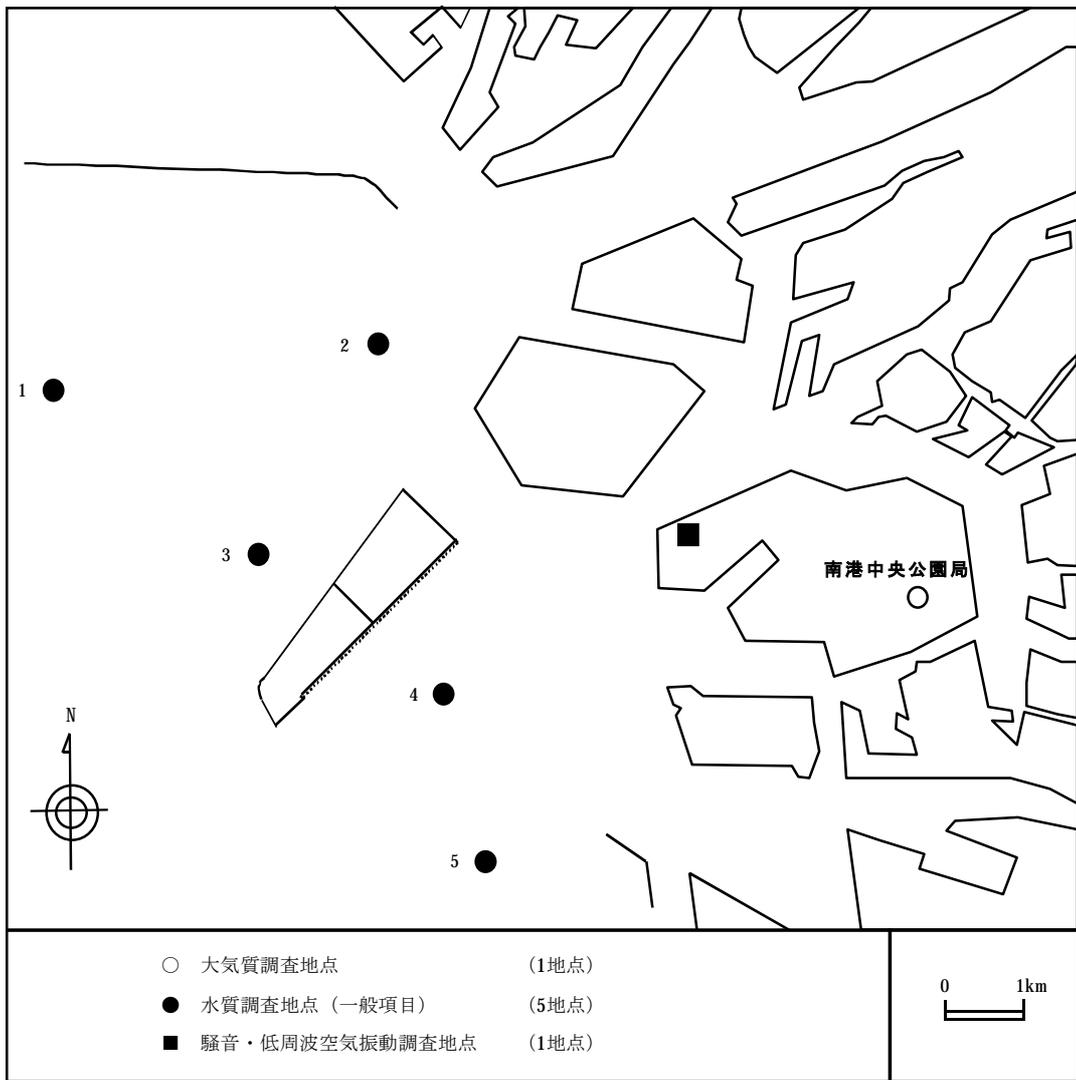


図-1(1) 大気質、水質(一般項目)、騒音・低周波空気振動の調査地点(平成24年10月)

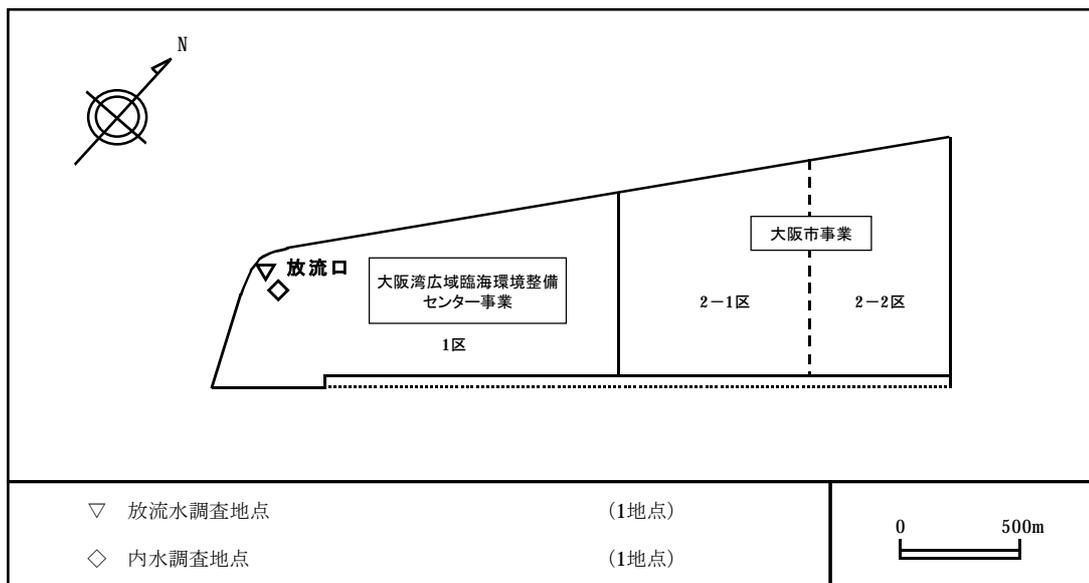
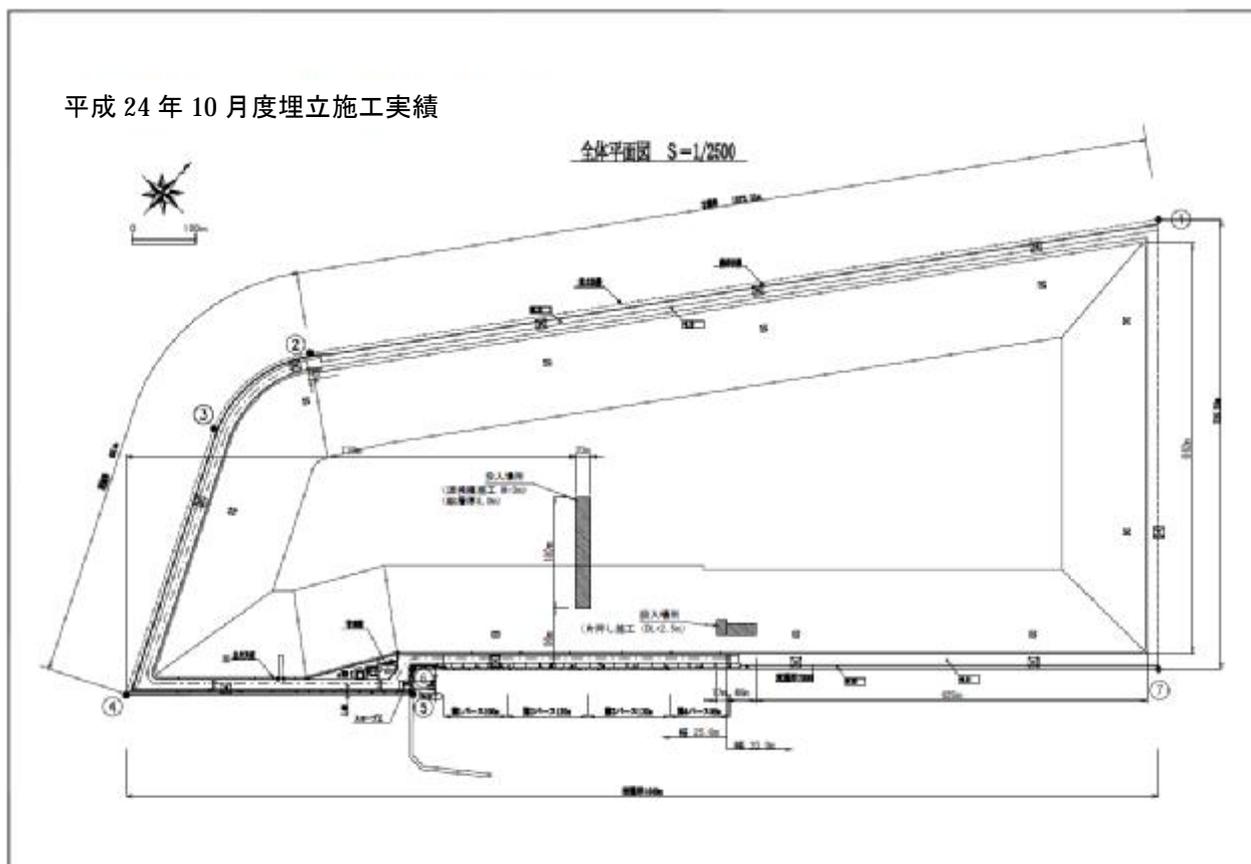


図-1(2) 水質の調査地点(埋立中:放流水、内水)(平成24年10月)

2. 工事の実施状況

平成 24 年 10 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
1,905,746	13.6

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 24 年 10 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.006ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.010ppm、1時間値の最高値は 0.022ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.024ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.039ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.023mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.045mg/m³、1時間値の最高値は 0.065mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】
水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.0～8.1、下層でいずれも 8.1 であり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.5～5.0mg/L、下層で 2.9～3.6mg/L の範囲にあり、上層では全調査地点において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 2 において環境基準値を上回っていた。
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (5.0mg/L)、調査地点 2 (4.1mg/L)、調査地点 3 (3.8mg/L)、調査地点 4 (4.7mg/L)、調査地点 5 (3.5mg/L)、下層における調査地点 2 (3.6mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 1.6～4.9mg/L、下層 1.2～3.6mg/L であり、調査地点 1 でこの範囲を上回っていたが、概ね同程度であり、本事業の影響によるものではないと考えられる。
- 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】
溶存酸素量 (DO) は上層で 5.2～5.9mg/L、下層で 5.0～5.6mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で **0.36~0.73mg/L**、下層で **0.19~0.21mg/L** の範囲にあり、上層では調査地点 1 及び 4 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (**0.73mg/L**)、調査地点 4 (**0.73mg/L**) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、上層で **0.46~2.1mg/L** であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で **0.050~0.077mg/L**、下層で **0.028~0.034mg/L** の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、4 及び 5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (**0.065mg/L**)、調査地点 2 (**0.066mg/L**)、調査地点 4 (**0.077mg/L**)、調査地点 5 (**0.053mg/L**) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、**0.021~0.15mg/L** であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層、下層共に **1~4 度(カリン)**の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で **1~6mg/L**、下層で **1~2mg/L** の範囲であった。

8) カロフィル a

カロフィル a は上層 **1~17 μ g/L** の範囲であった。下層でいずれも **<1 μ g/L** であった。

②-1 放流水及び内水 [水質様式第 6~11 号]

1) 放流水 (連続測定)

濁度は、**0.4~0.9 度(カリン)** (平均値 **0.6 度(カリン)**) の範囲であった。

水温は、**17.9~23.3℃** (平均値 **20.6℃**) の範囲であった。

pH は、**7.4~8.4** の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (**5.0** 以上 **9.0** 以下) の範囲内であった。

COD は、**4.3~4.8mg/L** (平均値 **4.5mg/L**) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (**90mg/L**) 及び管理目標値 (**40mg/L**) を下回っていた。

DO は、**6.7~10.0mg/L** (平均値 **7.8mg/L**) であった。

2) 放流水、内水

・放流水

SS は、**1.3～3.0mg/L**（平均値 **1.8mg/L**）の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値（**60mg/L**）及び管理目標値（**50mg/L**）を下回っていた。

FSS は、**<1～1.4mg/L**（平均値 **1.1mg/L**）の範囲であった。

pH は、**7.7** であり、放流水の基準値及び管理目標値の範囲内であった。

COD は、**12mg/L** であり、放流水の基準値及び管理目標値を下回っていた。

T-N は、**3.5mg/L** であり、放流水の基準値（**120mg/L**、日間平均 **60mg/L**）及び管理目標値（**30mg/L**）を下回っていた。

・内水

SS は、**6.1～8.9mg/L**（平均値 **7.4mg/L**）の範囲であった。

FSS は、**2.8～3.7mg/L**（平均値 **3.3mg/L**）の範囲であった。

pH は **8.4**、COD は **17mg/L**、T-N は **4.1mg/L** であった。

②-2 処分場周辺

10 月は実施せず。

(3) 底質

10 月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

1) 騒音【環境基準値：昼間 **60** デシベル以下、夜間 **50** デシベル以下】

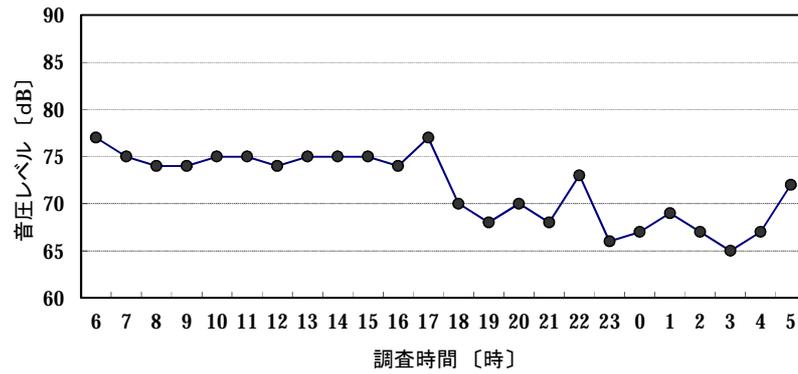
騒音レベル（ L_{eq} ）は、昼間（午前 **6** 時～午後 **10** 時）は平均値 **50** デシベル、夜間（午後 **10** 時～午前 **6** 時）は平均値 **52** デシベルであり、昼間は環境基準値以下であったが、夜間に環境基準値を上回っていた。

なお、夜間を通じて主音源は虫の鳴き声であったことから、夜間において環境基準値を上回ったのは、虫の鳴き声の影響によるものであると考えられる。

2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル（ L_{50} ）は、作業時間帯（午前 **9** 時～午後 **6** 時）において平均値 **75** デシベルであり、環境影響評価時の予測値（**73** デシベル）を上回る値であった。

この時期、揚陸に伴う重機等使用する作業は、8 時過ぎから 13 時半頃までである。最終 16 時頃発の船で全作業員は帰ってくる。他、発電機は 24 時間稼働している。図-3 より作業時間帯以外でも高い傾向が見られることから、本事業の影響によるものではないと考えられる。



図ー 3 低周波空気振動の音圧レベルの時間推移

(5) 悪臭

10月 は実施せず。

(6) 陸域生態系 (鳥類)

今年度は実施せず。

廃棄物搬入施設周辺における調査

10月 は実施せず。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
 公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）
- (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
 なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75% 水質値**」を用いるものとする。
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
 環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
 これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3)騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デジベル以下	50 デジベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前 6 時～午後 10 時 夜間：午後 10 時～午前 6 時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 規制基準等

(1)水質

①水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型 最終処分場	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	60mg/L 以上	50mg/L 以下
	全窒素 (T-N)	120mg/L (日間平均 60mg/L) 以下	30mg/L 以下
	全燐 (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L) 以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質 含有量 (n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L 以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L 以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000 個/cm ³ 以下	同左

注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋

2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

3. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表[平成24年10月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	737
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	737
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果[平成24年10月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (月)	0.005	0.009	
	2 (火)	0.005	0.009	
	3 (水)	0.004	0.007	
	4 (木)	0.004	0.006	
	5 (金)	0.004	0.005	
	6 (土)	0.004	0.008	
	7 (日)	0.004	0.008	
	8 (月)	0.004	0.007	
	9 (火)	0.004	0.007	
	10 (水)	0.007	0.011	
	別	11 (木)	0.005	0.010
		12 (金)	0.005	0.008
		13 (土)	0.005	0.009
		14 (日)	0.007	0.012
		15 (月)	0.008	0.019
16 (火)		0.006	0.011	
17 (水)		0.007	0.016	
18 (木)		0.003	0.004	
19 (金)		0.005	0.008	
20 (土)		0.007	0.013	
値	21 (日)	0.010	0.017	
	22 (月)	0.007	0.013	
	23 (火)	0.004	0.008	
	24 (水)	0.007	0.012	
	25 (木)	0.007	0.011	
	26 (金)	0.007	0.012	
	27 (土)	0.007	0.022	
	28 (日)	0.003	0.006	
	29 (月)	0.004	0.006	
	30 (火)	0.006	0.013	
	31 (水)	0.005	0.010	
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		737		
月平均値 (ppm)		0.006		
日平均値の最高値 (ppm)		0.010		
1時間値の最高値 (ppm)		0.022		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果[平成24年10月分]

測定局		南港中央公園			
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO2/ (NO+NO2) (%)		
日	1 (月)	0.036	69.1	0.107	
	2 (火)	0.026	87.7	0.049	
	3 (水)	0.028	80.1	0.071	
	4 (木)	0.026	82.0	0.050	
	5 (金)	0.025	84.7	0.051	
	6 (土)	0.026	86.2	0.056	
	7 (日)	0.011	95.0	0.035	
	8 (月)	0.016	92.6	0.033	
	9 (火)	0.024	86.4	0.048	
	10 (水)	0.036	78.6	0.087	
	別	11 (木)	0.036	83.2	0.061
		12 (金)	0.019	84.4	0.037
		13 (土)	0.024	80.1	0.062
		14 (日)	0.024	96.0	0.046
		15 (月)	0.042	70.5	0.086
16 (火)		0.032	85.7	0.068	
17 (水)		0.050	67.6	0.105	
18 (木)		0.038	73.1	0.103	
19 (金)		0.021	84.3	0.046	
20 (土)		0.039	70.8	0.098	
値	21 (日)	0.034	88.4	0.053	
	22 (月)	0.039	83.9	0.066	
	23 (火)	0.025	83.2	0.072	
	24 (水)	0.030	78.6	0.058	
	25 (木)	0.063	62.2	0.119	
	26 (金)	0.060	64.5	0.125	
	27 (土)	0.033	83.1	0.074	
	28 (日)	0.018	91.7	0.033	
	29 (月)	0.021	83.1	0.039	
	30 (火)	0.042	59.3	0.140	
	31 (水)	0.031	84.1	0.060	
有効測定日数 (日)		31			
測定時間 (時間)		737			
月平均値 (ppm)		0.031			
日平均値の最高値 (ppm)		0.063			
1時間値の最高値 (ppm)		0.140			
月平均値 NO2/(NO+NO2) (%)		77.9			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO2/(NO+NO2)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO2/(NO+NO2)

$$= \frac{(\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和})}{(\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和)}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果[平成24年10月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ng/m^3)	1時間値の 最高値 (ng/m^3)
日	1 (月)	0.015	0.027
	2 (火)	0.016	0.029
	3 (水)	0.017	0.030
	4 (木)	0.016	0.026
	5 (金)	0.017	0.028
	6 (土)	0.021	0.035
	7 (日)	0.019	0.031
	8 (月)	0.015	0.025
	9 (火)	0.016	0.032
	10 (水)	0.025	0.038
別	11 (木)	0.031	0.046
	12 (金)	0.018	0.030
	13 (土)	0.017	0.031
	14 (日)	0.033	0.062
	15 (月)	0.039	0.050
	16 (火)	0.034	0.053
	17 (水)	0.026	0.042
	18 (木)	0.021	0.033
	19 (金)	0.016	0.029
	20 (土)	0.027	0.042
値	21 (日)	0.045	0.065
	22 (月)	0.037	0.056
	23 (火)	0.019	0.035
	24 (水)	0.017	0.033
	25 (木)	0.027	0.050
	26 (金)	0.033	0.058
	27 (土)	0.030	0.042
	28 (日)	0.017	0.033
	29 (月)	0.016	0.030
	30 (火)	0.024	0.041
	31 (水)	0.018	0.031
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (ng/m^3)		0.023	
日平均値の最高値 (ng/m^3)		0.045	
1時間値の最高値 (ng/m^3)		0.065	
1時間値が $0.20\text{ng}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が $0.10\text{ng}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成24年10月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (月)	1.1	2.6	N	NNW
	2 (火)	1.1	2.2	NNW	N
	3 (水)	1.3	3.0	NNW	N
	4 (木)	1.3	2.2	NNW	NNW
	5 (金)	1.0	1.6	NNW	N
	6 (土)	1.2	2.5	E	N
	7 (日)	1.3	2.6	N	N
	8 (月)	0.9	2.1	N	N
	9 (火)	1.0	2.0	NNW	N
	10 (水)	1.0	1.9	WNW	WNW
別	11 (木)	0.9	1.6	NNW	N
	12 (金)	1.4	2.9	NNW	N
	13 (土)	1.1	1.8	WNW	N
	14 (日)	0.7	1.6	ENE	N
	15 (月)	1.2	2.7	NNW	NNW
	16 (火)	1.3	2.7	ESE	N
	17 (水)	1.4	2.4	NNW	NNE, ENE
	18 (木)	1.3	2.5	NE	NNE
	19 (金)	1.4	2.7	NNW	N
	20 (土)	0.9	1.6	WSW	E, ESE, WNW
値	21 (日)	0.8	1.6	WSW	ENE
	22 (月)	1.0	2.3	SSW	SSW, SW
	23 (火)	1.6	3.4	SSW	SSW
	24 (水)	1.1	1.9	NNW	NNW
	25 (木)	0.7	1.5	SW	E
	26 (金)	0.9	1.5	SW, W	ENE, ESE, NNW
	27 (土)	1.0	2.4	ESE	E
	28 (日)	1.1	1.6	E	E
	29 (月)	1.4	2.7	NNW	NNW
	30 (火)	1.1	2.0	SW, NNW	N
	31 (水)	0.9	1.5	NNW	N
測定時間 (時間)		743			
月平均風速 (m/s)		1.1			
月最大風速 (m/s)		3.4			
月最多風向 (16方位)		N			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成24年10月分]

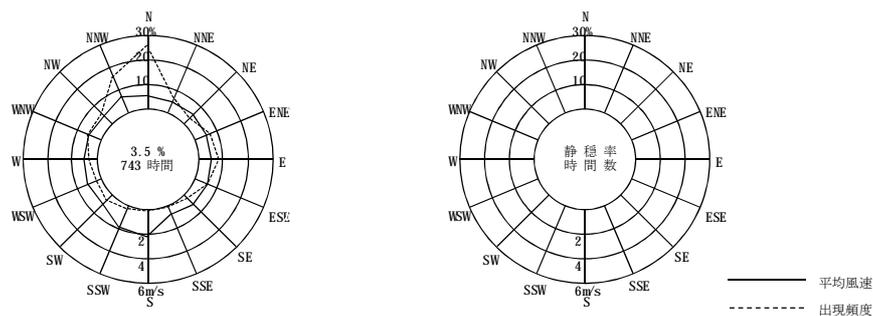
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	53	25	54	62	45	15	7	4	10	20	14	23	39	41	116	189	26	743
頻度 (%)	7.1	3.4	7.3	8.3	6.1	2.0	0.9	0.5	1.3	2.7	1.9	3.1	5.2	5.5	15.6	25.4	3.5	-
平均風速 (m/s)	1.0	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	0.8	2.2	1.8	1.0	1.1	1.0	1.0	0.9	1.4	1.1	0.3	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局: 南港中央公園局

風向風速計高さ: 14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成24年10月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成24年10月分]

調査日：平成24年10月3日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	9:55	9:40	10:20	10:50	10:35	—	—	
透明度 [m]	1.3	0.8	4.4	2.5	4.8	0.8 ~ 4.8	2.8	
水温 [°C]	24.6	24.6	25.2	25.3	25.1	24.6 ~ 25.3	25.0	
	25.7	25.8	25.6	25.5	25.4	25.4 ~ 25.8	25.6	
塩分 [—]	21.9	21.7	29.0	26.9	29.2	21.7 ~ 29.2	25.7	
	32.0	31.6	31.9	31.8	31.9	31.6 ~ 32.0	31.8	
濁度 [度(カリン)]	3	4	1	2	1	1 ~ 4	2	
	4	2	2	1	2	1 ~ 4	2	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	6	5	1	3	1	1 ~ 6	3	
	2	2	2	1	2	1 ~ 2	2	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.0	8.0	8.1	8.1	8.1	8.0 ~ 8.1	-	
	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1 ~ 8.1	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	5.0	4.1	3.8	4.7	3.5	3.5 ~ 5.0	4.2	
	3.0	3.6	2.9	3.0	3.0	2.9 ~ 3.6	3.1	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	5.9	5.2	5.4	5.9	5.9	5.2 ~ 5.9	5.7
	飽和度 [%]	5.1	5.0	5.3	5.6	5.3	5.0 ~ 5.6	5.3
全窒素 (T-N) [mg/L]	80	71	77	84	85	71 ~ 85	79	
	75	74	78	82	78	74 ~ 82	77	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.73	0.36	0.40	0.73	0.42	0.36 ~ 0.73	0.53	
	0.21	0.21	0.19	0.21	0.21	0.19 ~ 0.21	0.21	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.065	0.066	0.050	0.077	0.053	0.050 ~ 0.077	0.062	
	0.034	0.032	0.028	0.031	0.031	0.028 ~ 0.034	0.031	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	3	1	3	17	3	1 ~ 17	5	
	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ~ <1	<1	

注) 上段：上層 (海面下1m)
下段：下層 (海底面上2m)

特記事項
地点No. 1及びNo. 2 の表層では、淀川から流れ込む河川水が原因と考えられる濁りが視認された。

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））
 [平成 24年 10 月分]

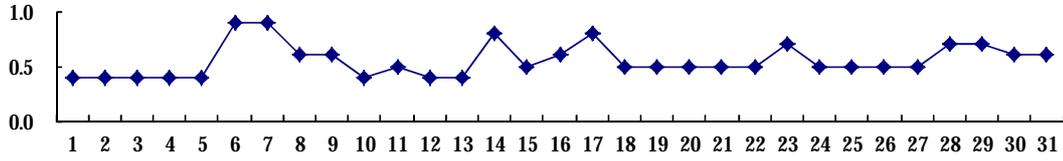
項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(カネツ)]	0.4	～	0.9	0.6
水温	[℃]	17.9	～	23.3	20.6
pH	[－]	7.4	～	8.4	8.1
COD	[mg/L]	4.3	～	4.8	4.5
DO	[mg/L]	6.7	～	10.0	7.8
特記事項					

水質様式第7号

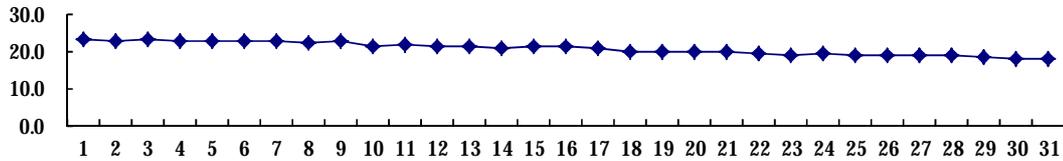
水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成24年10月分]

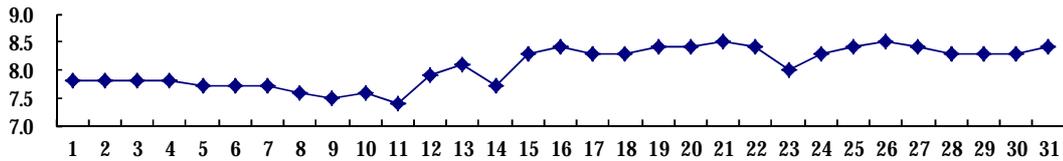
濁度[度(カリン)]



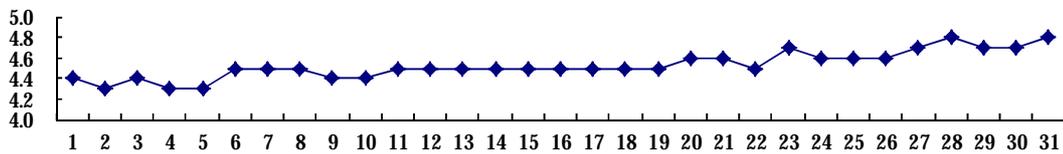
水温[°C]



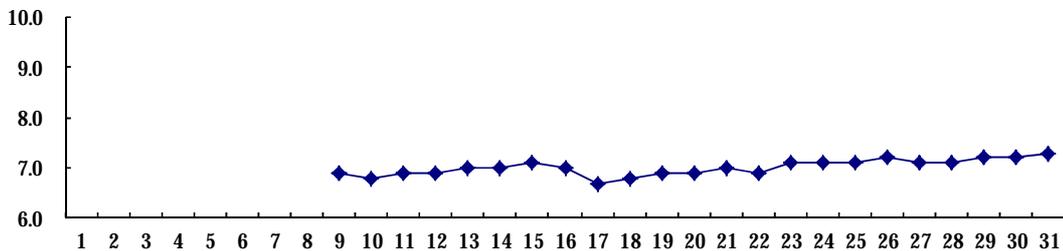
水素イオン濃度(pH) [-]



化学的酸素要求量(COD) [mg/L]



溶存酸素量(DO) [mg/L]



※10月1日～8日 DO計サンプリングポンプ故障のため、測定値不良

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水①） [平成24年10月分]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
	10/2 (火)	9:50	1.3	< 1	10:00	7.9
10/10 (水)	9:50	3.0	1.4	10:05	8.9	3.4
10/16 (火)	10:10	1.6	< 1	10:00	6.1	2.8
10/23 (火)	10:20	1.7	< 1	10:30	7.3	3.4
10/30 (火)	9:45	1.3	< 1	10:00	7.0	3.2
平均値	—	1.8	1.1	—	7.4	3.3
最小値	—	1.3	< 1	—	6.1	2.8
最大値	—	3.0	1.4	—	8.9	3.7

特記事項

水質様式第9号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成24年10月分]

調査日：平成24年10月2日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	9:50	10:00
pH[－]	7.7(25℃)	8.4(25℃)
COD[ng/L]	12	17
T-N[ng/L]	3.5	4.1

特記事項

環境騒音調査結果総括表[平成24年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成24年10月11日午前10時～10月12日午前10時

時間 区分	騒音レベル (デシベル)												主音源
	L ₅			L ₅₀			L ₉₅			L _{eq}			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	53	49	57	48	44	53	46	40	49	50	45	53	虫、港湾作業
夜間	54	52	58	51	50	52	49	48	51	52	50	53	虫、自動車

- 注：1. L₅、L₅₀、L₉₅の平均値は算術平均値、L_{eq}の平均値はパワー平均値である。
 2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。
 3. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

環境騒音調査結果総括表 [平成24年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成24年10月11日～12日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル (デシベル)				主音源
				L ₅	L ₅₀	L ₉₅	L _{eq}	
06:00	昼間	C	60dB(A)	53	50	48	51	虫、鳥、船舶
07:00				52	49	48	50	虫、船舶、鳥
08:00				53	50	48	51	虫、港湾作業、船舶
09:00				54	49	47	51	虫、港湾作業、船舶
10:00				54	48	45	50	虫、港湾作業、船舶
11:00				54	46	43	48	虫、港湾作業、船舶
12:00				49	44	40	45	鳥、虫、船舶
13:00				49	45	43	46	虫、港湾作業、船舶
14:00				51	46	44	47	虫、港湾作業、船舶
15:00				51	46	44	48	虫、港湾作業、船舶
16:00				53	48	46	49	虫、港湾作業、船舶
17:00				57	50	46	52	虫、港湾作業、船舶
18:00				55	53	49	53	虫、港湾作業
19:00				51	49	48	50	虫、港湾作業
20:00				52	49	48	50	虫、近隣工場
21:00	52	50	49	50	虫、近隣工場			
22:00	夜間	C	50dB(A)	54	51	50	52	虫、近隣工場
23:00				55	52	51	53	虫、自動車、近隣工場
00:00				54	51	48	52	虫、自動車、近隣工場
01:00				52	50	48	50	虫、自動車、近隣工場
02:00				53	51	49	51	虫、自動車、近隣工場
03:00				53	51	50	51	虫、自動車、近隣工場
04:00				53	51	49	51	虫、自動車、近隣工場
05:00	58	52	49	53	船舶、鳥、近隣工場			
最小値				49	44	40	45	
最大値				58	53	51	53	
平均値				53	49	47	51	

注：1. L₅、L₅₀、L₉₅の平均値は算術平均値、L_{eq}の平均値はパワー平均値である。
 2. 環境基準はLeqである。

低周波空気振動調査結果総括表 [平成24年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成24年10月11日午前10時～10月12日午前10時

音圧レベル (デシベル)												風速 (m/s)	
L ₅			L ₅₀			L ₉₅			L _{max}				
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大
78	76	79	75	74	77	73	72	75	81	78	83	0.0	3.1

注：1. 平均値は算術平均値である。

2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

低周波空気振動調査結果[平成24年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：平成24年10月11日～12日

調査 時間	音圧レベル (デシベル)				風速 (m/s)	
	L 5	L 50	L 95	L max	最小	最大
06:00	79	77	75	82	0.0	2.9
07:00	78	75	73	81	0.0	2.5
08:00	76	74	72	78	0.0	2.5
09:00	77	74	72	81	0.0	3.1
10:00	78	75	72	82	0.0	2.4
11:00	78	75	72	81	0.3	2.3
12:00	76	74	73	78	0.0	1.9
13:00	78	75	73	81	0.0	1.7
14:00	77	75	73	79	0.0	1.8
15:00	78	75	73	80	0.0	1.4
16:00	78	74	72	83	0.0	1.3
17:00	79	77	75	82	0.2	2.9
18:00	73	70	68	75	0.0	4.0
19:00	70	68	66	72	0.0	3.1
20:00	78	70	67	82	0.0	2.8
21:00	70	68	66	72	0.0	1.6
22:00	77	73	71	79	0.0	0.8
23:00	69	66	63	72	0.2	3.7
00:00	69	67	65	71	0.0	2.3
01:00	71	69	66	73	0.0	2.1
02:00	69	67	65	70	0.0	2.1
03:00	68	65	64	70	0.0	2.0
04:00	69	67	65	70	0.0	2.5
05:00	78	72	67	80	0.0	2.3
最小値	68	65	63	70	0.0	0.8
最大値	79	77	75	83	0.3	4.0
平均値	75	72	70	77	0.0	2.0